

平成
30年度版

まちをもっと元気に！
もっとおもしろく！

あなたの「好き」がまちのチカラに。

中心市街地活性化への歩み

豊田まちづくり株式会社

まちを生き、まちと生きる次代創造カンパニー
豊田まちづくり株式会社

〒471-0026 豊田市若宮町1-57-1
www.tm-toyota.co.jp
平成30年6月編集 (vol.15)



目次

ごあいさつ	1
豊田まちづくり(株)の軌跡	2

会社について

会社概要	4
会社決算推移	6
豊田まちづくり(株)の取組み 主な業務内容	8

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業	10
豊田市中心市街地大型店の連携・共同事業	16
管理事業 プロパティ・マネージメント/警備業/損害保険代理店業	18
駐車場事業	20
フリーパーキング事業	22
おもてなし事業 飲むならパーキング事業/キッズカート共同利用事業/ 有料駐輪場事業/まちなかクリーンアップ活動/ 花飾り事業への参画/フリーパーキング加盟駐車場	24
豊田市中心市街地まちづくり事業	26
広域のまちづくり活動支援事業	27
まちなかコミュニティ施設整備事業 MAMATOCO(ママトコ)	28
平成29年度 地域イベント事業実績	30

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市中心市街地活性化基本計画	32
豊田市中心市街地活性化協議会・TCCMの運営	38
豊田市中心市街地テナントミックスビジョン 再構築プロジェクト会議	40
公共空間活用実験事業 STREET&PARK MARKET	44
豊田市中心市街地まちなか宣伝会議	46
一般社団法人TCCMとエリアマネジメント	48

豊田市の取組み

都心環境計画	50
豊田市商業振興条例	52
WE LOVE とよたの推進	53
あそべるとよたプロジェクト	54

その他

とよた元気プロジェクト	56
イルミネーションストーリーinとよた	57
全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議	58
まちづくり推進団体	59

資料

豊田市データ	60
交通アクセス	62
豊田市の産業	64
豊田市の財政	65
周辺商業施設概要	66
豊田市中心市街地の通行量調査	68
豊田市中心市街地商業現況調査	70

豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過 及びまちの変遷	72
---------------------------------	----

ごあいさつ

「中心市街地活性化の歩み」の編集にあたり、多くの皆様のご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

まちづくり事業に携わる全ての皆様に改めて敬意を表すと共に深く御礼を申し上げます。豊田市中心市街地における商業環境は、昨今、近隣地域に競合店の出店が激化し、この状況はしばらく続く見込みで、今後も更に厳しい状況になることが予想されます。このような中、一昨年、豊田市中心市街地活性化協議会のもとに発足したテナントミックスビジョン再構築プロジェクトにおいて、中心市街地の各商業施設や公共施設等が連携を図りながら、まちの賑わい施策や環境整備に取り組んでまいりました。また、新たな取組みとして、豊田のまちなかで子育て世代が一日楽しめる店舗や機能があったら、まちにどのような付加価値が得られるかを検証した社会実験「とよたまちなかこどもタウン」を開催いたしました。

平成29年11月25日(土)には、新たな豊田市の玄関口となるKITARA(キタラ)が開業いたしました。中心市街地において長年にわたり多くの市民から求められていたシネマコンプレックスや、住宅施設、高齢者福祉施設が入居し、都市の賑わいを創出し市民生活を充実させる施設として、新たな魅力情報発信拠点としての役割を担うこととなりました。

当社基幹事業となる再開発ビル事業では、先の豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクトの計画を基に、B館T-FACE6階をフロアリニューアルいたしました。「カフェのような暮らしが買えるライフスタイルフロア」をコンセプトに、大きくフロアデザインを変更し、豊田市初出店の高感度テナントを誘致いたしました。そして、豊田市森林課の協力を得て豊田市の山林から伐採した不燃加工の木材をフロアに使用することで、環境にも配慮したフロアになりました。合わせて、B館T-FACE8階には、インスタ映えする料理が人気のカフェ&レストラン「アメリカフェ」がオープンし、連日OLや子育てママ等多くのお客様にご利用いただいております。また、駐車場事業では、豊田市と「都心駐車場再整備計画」を取りまとめ、従前のフリーパーキング3時間無料サービスに加え、エンターテインメント施設を利用すると最大5時間無料となる新たなサービスを開始いたしました。また、一部駐車場に車番認証システムの導入や場内サインの改修を実施し、利便性・快適性の高い駐車場へと環境整備を進めてまいりました。

地域のまちづくり事業では、各種まちづくりを推進するとともに、(一社)TCCMが推進する事業を支援することで、11月には豊田市駅前にウェルカムセンター「THE CONTAINER N6」とバス待合所「レストえきまえ」の運営を開始することができました。

平成30年度は、当社第六期3カ年計画(守勢行動の期)の最終年度となります。

豊田市中心市街地のテナントミックス実現に向け、中心市街地の再開発5法人との更なる連携を強化し、また、キーテナントである松坂屋、専門店街T-FACE及び当社直営店舗と連携・調整を図りながら、よりよい商環境・おもてなし環境づくりに努めてまいります。

今後とも、皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年6月

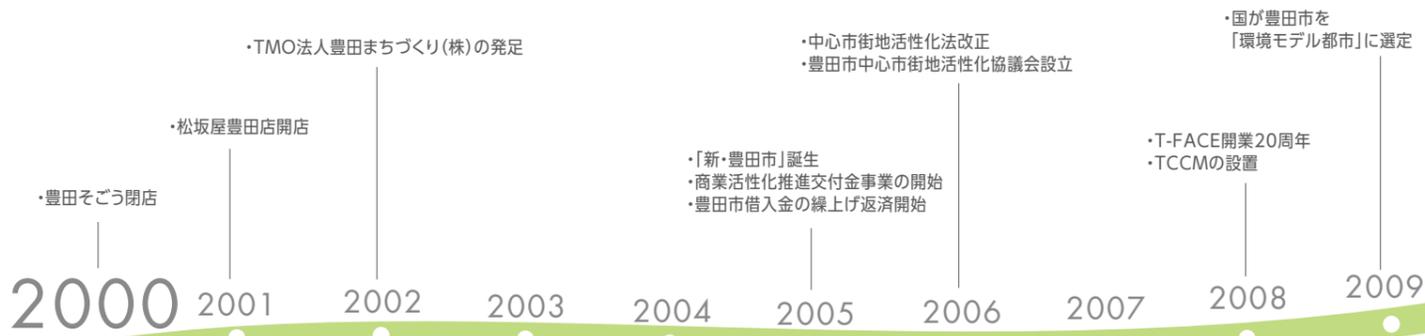
豊田まちづくり株式会社
代表取締役 河木 照雄

豊田まちづくりが まちとともに歩んできた軌跡

豊田まちづくり株式会社は、大型商業施設の相次ぐ破綻による混乱を背景に2002年4月に設立。

その後TMO法人として豊田市中心市街地活性化にむけて各種事業に取り組んで参りました。

2006年8月の中心市街地活性化法改正にあたり「TMO法人」から豊田市における「商業まちづくり推進事業者」に位置づけられ、また、同時に豊田市策定の「中心市街地活性化基本計画」に意見を述べ、実効性に寄与する役割を担う「中心市街地活性化協議会」を豊田商工会議所と共に設置しました。豊田市駅西口市街地再開発事業により1988年10月に誕生した専門店街「T-FACE」のSCデベロッパーとしての役割はもとより、行政、会議所、商業者、地域の方々と共に豊田市中心市街地の賑わいと魅力あるまちづくりを目指しています。



松坂屋豊田店開店



TM若宮パーキング竣工



豊田おいでんまつり受託開始



豊田市中心市街地
まちなか宣伝会議の立ち上げ



「中心市街地フリーパーキング
事業」開始



ジョイカルウェイブ事業(若者文化創出)
「トヨタロックフェスティバル」開始

2010 2011



中活基本計画事業・飲食ストリート
構築事業・経済省認定
「西町商店街共同組合商店街
活性化事業計画」事業
「豆庵」開業

・市有4駐車場の借受による
管理運営開始

・松坂屋開業10周年



豊田市中心市街地テナントミックス
ビジョン再構築プロジェクト
第一期「豊田市駅西口市街地再開発ビル
B館2階フロア整備事業」



まちなかコミュニティ施設整備事業
「MAMATOCO(ママトコ)」開業



公共空間活用実験事業
「STREET&PARK MARKET」開始



「中心市街地フリーパーキング・プラス」
サービス開始
キラパーキングの借受による
管理運営開始



豊田市中心市街地テナントミックス
ビジョン再構築プロジェクト
大型店の連携・共同による社会実験
「とよたまちなかこどもタウン」開催



豊田市中心市街地テナントミックス
ビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルA館2階
客用トイレ改修事業」



豊田市中心市街地テナントミックス
ビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルB館6階フロア整備事業」

・豊田市より「まちづくり構想」の認定
・新豊田地下駐車場の借受による
管理運営開始

2013

2014

2015

2016

2017

2018

・T-FACE
開業30周年

・(一社)TCCM設立

豊田まちづくりは、SC(ショッピングセンター)デベロッパーです。

当社は、豊田市駅西口市街地再開発ビルのキーテナント撤退時に公的資金を借り入れ、その資産を買い取り、デベロッパーとしてビルを再生する役割を担っています。自らのSCに対し明確なコンセプトを保持し、テナントとの共同事業体たる理念と的確な情報・知識・創造性を持ちながら地域のお客様から支持される施設運営に取り組んでいます。

地域の方々との共働によるまちづくりを推進しています。

当社は、中心市街地活性化に向けて、まちの利益やまちのパリユアープに繋がる事業を推進する役割も担っています。特に商業活性化、まちの賑わい創出、アクセス・回遊性向上などを地域の方々と取組み、皆様に選ばれ、足を運んでいただけるまちづくりを推進しています。



会社概要

会社概要

【商号】 豊田まちづくり株式会社
 【本店】 愛知県豊田市若宮町1丁目57番地1
 【設立】 平成13年4月20日
 【資本金】 授權資本 12億9,600万円
 払込資本 4億9,090万円

【株主構成】

株主	株主数	株主数比率 (単位:%)	出資額 (単位:千円)	出資額比率 (単位:%)
大企業	25名	13.89	82,900	16.89
中小企業・個人	150名	83.34	35,550	7.24
内/商業関係	(65名)	(36.11)	(11,700)	(2.38)
団体	4名	2.21	369,550	75.28
自己株式	1名	0.56	2,900	0.59
合計	180名	100.00	490,900	100.00

【大株主】 (100株以上)

株主名	株主数	持株数	出資額 (単位:千円)	持株比率 (単位:%)
豊田市	1名	6,240	312,000	63.93
豊田商工会議所	1名	991	49,550	10.15
トヨタ自動車株式会社	1名	400	20,000	4.09
株式会社三菱東京UFJ銀行	1名	200	10,000	2.04
株式会社大丸松坂屋百貨店	1名	200	10,000	2.04
豊田鉄工株式会社	1名	200	10,000	2.04
小島プレス工業株式会社	1名	120	6,000	1.22
豊田市商業連合協同組合	1名	100	5,000	1.02
大豊工業株式会社	1名	100	5,000	1.02
豊田信用金庫	1名	100	5,000	1.02
太啓建設株式会社	1名	100	5,000	1.02
合計	11名	8,751	437,550	89.66

*持株比率は、自己株式を除く発行済株式総数に対する持株数の割合

【その他の株主】 (100株未満)

持株数の別	60株	40株	30株	20株	10株	10株未満	自己株式	合計
株主数	2名	2名	1名	13名	26名	124名	1名	169名
持株数	120	80	30	260	268	251	58	1,067
出資額(単位:千円)	6,000	4,000	1,500	13,000	13,400	12,550	2,900	53,350

*発行済株式総数は9,818株、株主総数は180名

【役員体制】

取締役および監査役(平成30年4月1日現在)

代表取締役	河木 照雄	豊田商工会議所 副会頭(株式会社山田屋 代表取締役)
常務取締役	深津 和則	豊田まちづくり株式会社 常務取締役
取締役	杉山 基明	豊田市 副市長
取締役	前田 雄治	豊田市 産業部部長
取締役	寺田 壽孝	豊田商工会議所第3商業部会 部会長(豊田酒造株式会社 代表取締役社長)
取締役	植松 良太	トヨタ自動車株式会社 総務部 管財・渉外室室長
取締役	生駒 みどり	豊田まちづくり株式会社 取締役
監査役	板倉 眞助	豊田市 会計管理者
監査役	渡邊 隆	豊田信用金庫 理事本店営業部部長

経営理念

豊田まちづくり(株)は、

1. 豊田市まちづくりのために、行政・会議所・事業者及び地域の方々と共に、地域発展に寄与する各種事業を推進する。
2. 第三セクターの企業経営責任を自覚し、常に健全経営を追求して適切な情報公開のもと地域社会の信頼を得る。
3. 従業員の能力向上を支援すると共に、働き甲斐のある職場を目指し、その安心・安全と幸せを守る。

基本方針

1. 長期的な経営(利益)計画の策定・実行
2. 商業環境整備・地域開発等の各種まちづくり事業の推進
3. 商業デベロッパーとして迅速な事業展開及び新事業の企画開発
4. 人材の育成と働き甲斐のある職場づくり
5. CSRを自覚した企業経営の推進
6. 中心市街地活性化協議会及びTCCMとの協調によるまちづくり事業の推進

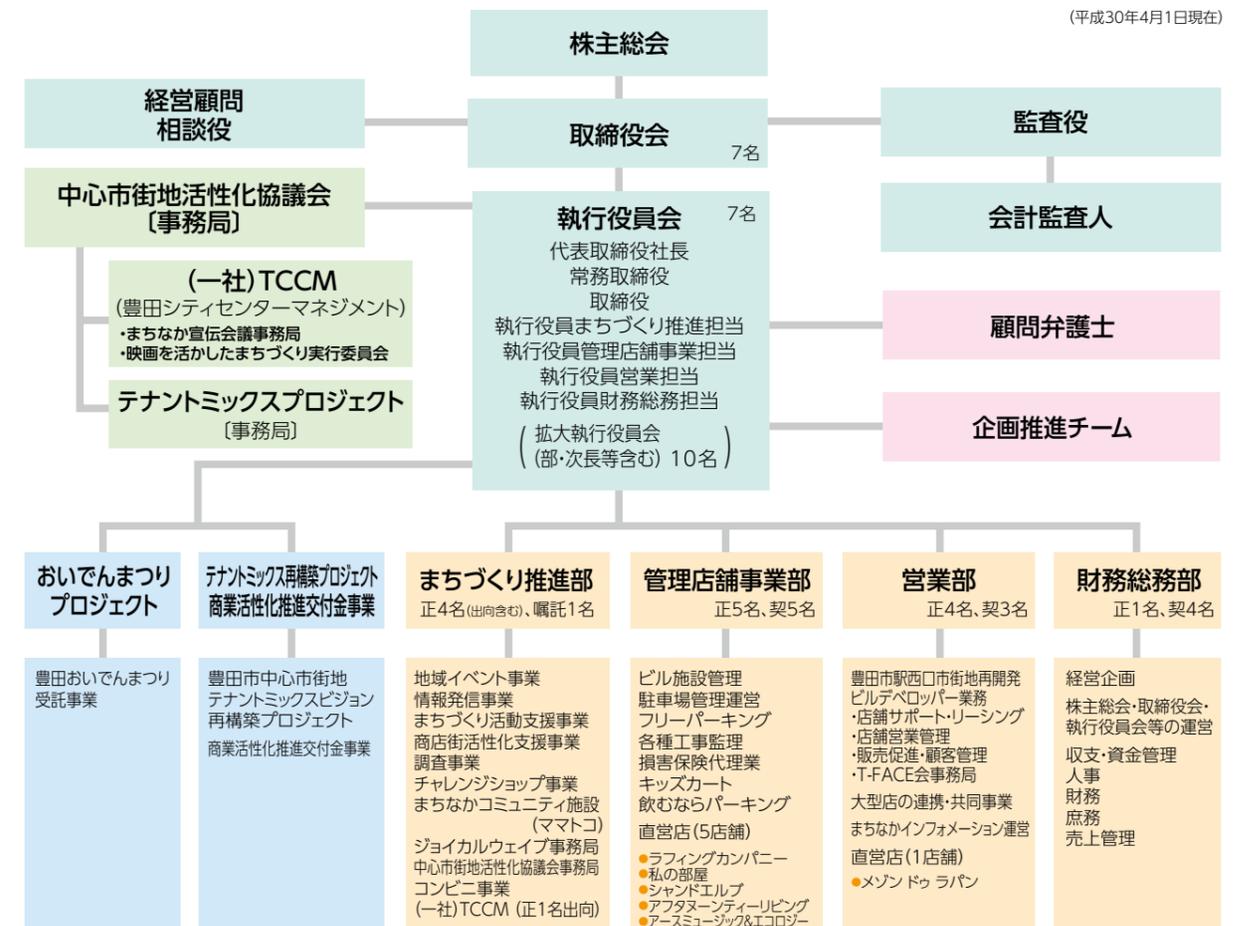
経営課題

1. 競合出店が激化する地域間競争への対応(テナントミックスビジョンの実現)
2. 戦略的リニューアル・大規模修繕等の計画的な実施
3. リニューアル及び修繕投資に対応する資金の留保及び調達策の策定
4. 商業活性化推進交付金事業及び中活計画に基づくまちづくり事業の推進
5. 豊田おいでんまつり等各種イベント・調査事業の受託
6. CSRを自覚した企業活動
7. 将来を見据えた人事戦略と組織づくり

会社組織と主な業務内容

1. 執行役員会のもとに「テナントミックスプロジェクト」と「おいでんまつりプロジェクト」を編成し、全社的取組みとして推進する。
2. (一社)TCCMの組織整備に向けた支援のために1名を出向させる。
3. 次世代育成のため、部次長を経営に参画させるための拡大執行役員会を開催する。
4. 管理店舗事業部に専任の店舗事業担当、駐車場事業担当を置き、責任と専門性を高めることで利益を確保する。

(平成30年4月1日現在)



正:正社員 契:契約社員 嘱託:嘱託社員



会社決算推移

連続貸借対照表

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資産の部	流動資産	228,284	655,584	688,923	555,685	667,282	713,274	818,673	731,759
	有形固定資産	7,650,321	7,955,322	7,281,517	7,094,206	6,778,285	6,586,272	6,403,534	6,153,274
	無形固定資産	2,311	2,615	5,782	15,689	13,825	19,210	20,991	15,342
	投資その他の資産	2,067,258	354,507	81,526	81,509	81,654	104,451	107,380	112,158
	資産合計	9,948,176	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578	7,012,536
負債・純資産の部	流動負債	1,932,275	1,162,075	712,541	616,665	669,422	707,681	769,770	577,726
	固定負債	7,758,742	7,376,353	6,868,037	6,627,822	6,335,341	6,095,300	5,865,285	5,636,356
	負債合計	9,511,017	8,538,429	7,580,578	7,244,488	7,004,764	6,802,982	6,633,055	6,214,803
	資本金	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900
	利益準備金							1,472	2,938
	繰越利益剰余金	△53,740	△61,299	△13,728	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772
	自己株式(△)							2,158	2,158
	純資産合計	437,159	429,600	477,171	502,602	536,283	620,226	717,523	798,452
	負債・純資産合計	9,848,176	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578	7,012,536

(単位:千円)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
776,709	785,304	818,762	833,456	924,546	690,038	795,898	827,896	706,802
5,939,073	5,887,912	5,774,068	5,671,718	5,337,383	5,340,754	5,074,431	4,875,725	4,736,493
10,537	6,590	7,894	47,271	37,884	29,865	20,740	11,353	4,647
127,661	111,047	114,500	118,154	125,271	146,241	144,198	144,518	159,883
6,847,982	6,790,854	6,592,830	6,505,175	6,425,086	6,206,899	6,035,269	5,859,493	5,607,827
608,165	643,280	635,220	638,869	743,989	756,378	752,037	739,482	660,809
5,377,587	5,347,031	5,082,790	4,906,238	4,680,591	4,422,845	4,168,535	3,909,803	3,672,063
5,985,753	5,990,312	5,718,010	5,545,108	5,424,580	5,179,223	4,920,573	4,649,286	4,332,873
490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900
4,405	5,382	6,360	7,337	8,313	9,289	10,265	11,241	12,217
369,082	306,417	379,719	464,740	504,203	530,398	616,441	710,977	774,748
2,158	2,158	2,158	2,911	2,911	2,911	2,911	2,911	2,911
862,228	800,542	874,820	960,066	1,000,505	1,027,676	1,114,695	1,210,207	1,274,954
6,847,982	6,790,854	6,592,830	6,505,175	6,425,086	6,206,899	6,035,269	5,859,493	5,607,827

連続損益計算書

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
売上高	121,456	2,144,188	2,177,673	2,293,799	2,382,086	2,397,340	2,458,394	2,440,440
売上原価+販売費及び一般管理費	115,822	2,062,574	2,174,341	2,219,543	2,271,595	2,201,561	2,224,802	2,235,975
営業利益	5,634	81,614	3,332	74,255	110,491	195,778	233,592	204,465
営業外収益	550	6,307	124,583	65,887	83,358	47,055	36,004	36,201
営業外費用	42,615	98,649	93,638	102,978	103,316	58,437	75,068	55,815
経常利益	△36,430	△10,727	34,277	37,164	90,533	184,396	194,528	184,851
特別利益	0	25,676	1,630,308	50,401	621	0	8,934	13,788
特別損失	0	22,216	1,602,484	51,566	29,855	76,293	12,905	32,508
税引前当期純利益	△36,430	△7,268	62,100	36,009	61,299	108,102	190,556	166,131
法人税、住民税及び事業税	302	290	14,529	10,578	27,617	24,160	76,373	70,539
当期純利益	△36,732	△7,558	47,570	25,430	33,681	83,942	114,182	95,592
前期繰越利益剰余金	△17,008	△53,740	△61,299	△13,728	11,702	45,383	129,326	227,308
利益剰余金配当額(△)							14,727	14,662
利益準備金積立額(△)							1,472	1,466
繰越利益剰余金	△53,740	△61,299	△13,728	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772

(単位:千円)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
2,485,200	2,424,200	2,480,296	2,599,270	2,647,921	2,804,154	2,969,997	2,931,102	2,867,748
2,330,571	2,256,129	2,298,141	2,411,301	2,512,842	2,695,405	2,850,433	2,757,459	2,801,433
154,628	168,071	182,155	187,968	135,079	108,748	119,563	173,643	66,314
20,137	19,950	23,554	22,325	23,878	27,191	34,668	28,318	26,224
44,697	50,434	44,943	48,160	56,382	41,769	39,451	33,248	34,949
130,068	137,587	160,766	162,132	102,574	94,170	114,780	168,713	57,588
19,854	22,904	0	1,073	3,865	12,359	211,777	77,169	189,654
17,540	116,780	17,168	6,629	20,573	47,999	178,430	90,538	134,678
132,382	43,710	143,597	156,576	85,866	58,530	148,127	155,344	112,564
53,944	95,622	59,543	60,802	35,667	21,600	51,348	50,073	38,057
78,438	△51,911	84,053	95,773	50,199	36,930	96,779	105,271	74,506
306,772	369,082	306,417	379,719	464,740	504,203	530,398	616,441	710,977
14,662	9,775	9,775	9,775	9,760	9,760	9,760	9,760	9,760
1,466	977	977	977	976	976	976	976	976
369,082	306,417	379,719	464,740	504,203	530,398	616,441	710,977	774,848

設備投資の状況

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
主な内容	駅西再開発ビル 土地・建物、 駐車場の取得等	ビル内装、 TM若宮P(一部)等	TM若宮P、 GAZAビル テナント誘致等	TM若宮事務所、シティ プラザ整備、中央監視 システム等	ビル設備・内装、 情報セキュリティ等	ビル設備・内装・会計 契約管理システム等	ビル設備・内装、 入退館・勤怠管理・ 入室システム等	ビル設備・内装、 社内パソコン更新等
設備投資 総額	7,729,870	687,894	1,281,808	240,108	67,440	120,971	116,449	50,025

(単位:千円)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ビル設備、直営内装、 ビル底地、 チャレンジショップ改装等	直営シャンドエルブ内装、 飲食店ストリート (中活事業)等	B館3・4階、A館7階 フロアリニューアル、 顧客管理システム	売上管理システム、 A館7階フロアリニューアル、 荷物用EV等	B館3・5階フロアリニューアル ビル設備 TM若宮P・キング座席リニューアル	T-FACE B館2階フロアリニューアル 直営新築店舗等リニューアル、 TM若宮P・キング座席リニューアル	ビルトイレ整備 ビル設備・内装 駐車場照明・空調設備等	B館7・8階フロアリニューアル 駐車場トイレ環境整備 A・B館トイレ整備	B館6階フロアリニューアル 駐車場等修繕・環境整備 再開発ビル空調・電気設備工事
78,628	72,408	58,717	185,856	133,801	308,406	194,207	170,268	275,311



豊田まちづくり(株)の取組み 主な業務内容

車の両輪

豊田まちづくり(株)は、平成13年4月、新たな使命を背負って設立された第三セクターの旧TMO法人である。緊急活性化計画の推進とCSRを自覚した株式会社経営の実現は、当社に携わる全ての者が自覚すべき経営責任であり、それは例えるなら、クルマの両輪であり、全輪である。そこに、ヒトモノカネの全体最適配置がされてクルマは走ると考える。例えばが変わろうと、この精神は不変である。



豊田まちづくり(株)の主な事業

豊田市駅西口市街地再開発ビル管理運営事業

- 魅力があり快適な商業空間とテナントとの良好な共存共栄関係の構築
 - ▶ビル経営戦略の策定
 - ▶ビル全体のテナントミックス、リーシング
 - ▶キーテナント松坂屋との連携事業
 - ▶専門店街T-FACE管理運営業務
 - ▶T-FACE会事務局業務(販促活動、総務活動)
- まちなかインフォメーションの運営
- 店舗の経営ノウハウ習得と魅力ある店舗構成の実現
 - ▶店舗事業
 - ・ラフティングカンパニー(アウトドア)
 - ・私の部屋(生活雑貨)
 - ・シャンドエルブ(コスメ&ライフスタイル)
 - ・アースミュージック&エコロジー(アパレル)
 - ・アフタヌーンティーリビング(生活雑貨)
 - ・メゾン ドゥ ラパン(アパレル)
 - ・商品開発「ころもはに」(養蜂協力・蜂蜜販売)
- 安心安全で快適なビル環境の整備
 - ▶プロパティ・マネジメント
 - ▶一括総合管理方式によるビル管理業務
 - ▶防犯および防火防災管理
 - ▶設計施工監理・内装工事監理
 - ▶エネルギー管理と環境負荷の軽減に向けた取組み



駐車場関連事業

- 来街者の利便性を高め、良好なアクセス環境を実現
 - ▶駐車場事業
 - ・駐車場の管理運営・駐車サービス
 - ・官民一体による豊田市都心駐車場環境整備の推進
 - ▶有料駐輪場事業

第3期豊田市中心市街地活性化基本計画に基づく事業

- 中心市街地活性化協議会、(一社)TCCMへの人的参画・情報共有
- 中心市街地・商業活性化・アクセス性・回遊性の向上事業
 - ▶中心市街地テナントミックス整備事業
 - ▶まちなかコミュニティ施設連携事業
 - ▶駐車場利便性向上事業

中心市街地で展開する事業(実績を含む)

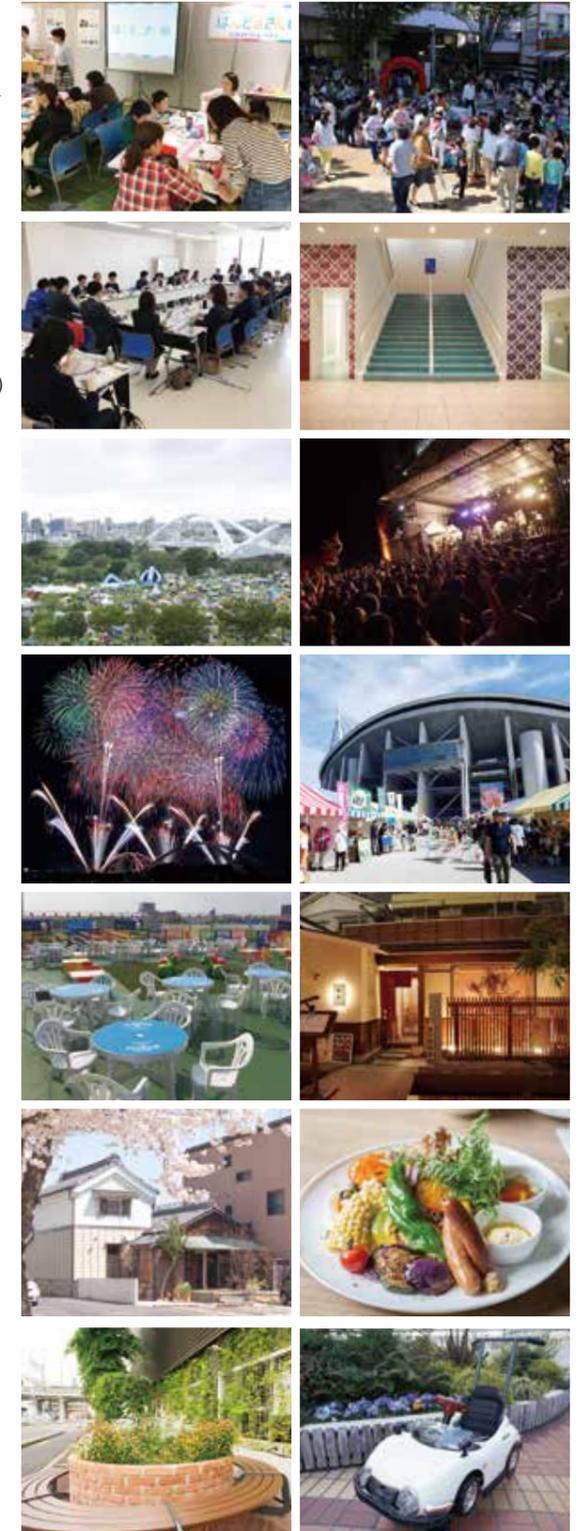
- 商業活性化・賑わい創出事業
 - ▶豊田市中心市街地まちなか宣伝会議(賑わい創出・情報発信連携事業)
 - ▶中心市街地大型店の連携共同事業
 - ▶豊田市中心市街地商店街の共働・支援事業
 - ・桜町本通り商店街振興組合(八日朝市・活性化計画の策定)
 - ・西町商店街協同組合(とよた西町はしご酒・活性化計画の策定)
 - ・一番街商店街振興組合(活性化計画の策定)
 - ・ひまわり通り商店街(活性化計画の策定)
 - ・豊田市駅前商業協同組合(活性化計画の策定)
 - ・豊田市商業連合協同組合小坂発展会(活性化計画の策定)
 - ▶地域イベント受託・主催・支援事業
 - ▶ジョイカルウェイブ(若者文化創出)
 - ▶蔵カフェ・ショップ&コミュニティスペース「ママトコ」
- 良好なアクセス環境の実現
 - ▶フリーパーキング事業(3時間・5時間駐車場無料サービス)
 - ▶キッズカート共同利用事業
 - ▶飲むならパーキング事業
 - ▶まちなかクリーンアップ活動
- 地域住民によるまちづくり活動を支援
 - ・竹生線沿線4自治区まちづくり協議会
 - ・西桜町地区まちづくりを考える会
- 豊田市リノベーションまちづくり事業
- あそべるとよた推進協議会
- 映画を活かしたまちづくり実行委員会

広域のまちづくり活動支援(実績を含む)

- 中心市街地以外の商店街等の活動支援
 - ・足助商工会、足助中央商店街協同組合
 - ・足助の町並みを盛り上げ隊
 - ・玉滝町観光まちづくり協議会
 - ・いなぶ観光まちづくりの会
 - ・伊勢神峠を愛する会

その他事業(実績を含む)

- ▶各種調査受託事業
- ▶損害保険代理店業
- ▶警備業(施設警備・雑踏警備)
- ▶商業店舗誘致事業
 - ・ファミリーマート鞍ヶ池PAハイウェイオアシス店



会社について
豊田まちづくり(株)の事業
豊田市中心市街地活性化協議会
豊田市の取組み
その他
資料



豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業 1

豊田市駅西口市街地再開発ビルの概要

当社は、豊田市駅西口市街地再開発ビルを所有し賃貸している。キーテナントとして「松坂屋豊田店」を誘致し、専門店街「T-FACE」の管理運営を行っている。また賃貸事業の一環として、直営店事業を展開している。

再開発ビル営業の再生

昭和63年10月に竣工した豊田市駅西口市街地再開発ビルは、A館、B館のツインビルで、百貨店「豊田そごう」(A館全館・B館4階～11階)とファッション専門店街「T-FACE」(B館1階～3階)の複合ビルとしてスタートした。

平成12年12月に豊田そごうの閉店後、A館1階～6階に「松坂屋豊田店」を誘致、その他のフロアのすべてを専門店街「T-FACE」として再オープンに至った。

商業施設としての鮮度を保ち、その時代に合った顧客ニーズに応えるため、計画的にフロア単位のリニューアルを行っている。加えて、サードプレイスとしてのわくわく感、居心地の良さや集いやすさを提供する商環境にすべく、トイレの改修や、休憩スペースの整備、貸しイベントスペースの整備に順次取り組んでいる。

再開発ビルフロアマップ



施設概要

建物名称 豊田市駅西口市街地再開発ビル
 建物面積 延床面積 66,519㎡(A館:43,466㎡ B館:23,020㎡)
 店舗面積 松坂屋豊田店 19,500㎡
 T-FACE 物販 15,282㎡※ 飲食・サービス 5,276㎡※ ※共用部含む
 店舗数 90店舗(教室公共含む・平成30年4月現在)

再開発ビル管理運営にあたっての基本的な考え方

- ①当再開発ビルが豊田市中心市街地商業の中心核であり、その役割を完遂させることが中心市街地活性化における当社の社会的責任であるとの自覚の下、地域の大型店、商業者他地域コミュニティと連携・協働して活性化を進めることを重要としている。
- ②商業デベロッパーとして自らが、明確な経営ビジョン・コンセプトを保持し、共存共栄の理念を持って、専門店テナントと共にお客様に喜んでいただける魅力的な商業空間を創造する。
- ③的確な「情報」「知識」「創造性」を持って、提案型・未来志向性あるビル運営を目指す。

専門店街「T-FACE」の管理運営事業

T-FACEコンセプト

ヤングからヤングマインドを持った、ファッション・流行に敏感な女性をメインターゲットとし、都市型ファッションビルとして、常に新しい情報を発信する役割を担う。

SCデベロッパー業務

一般にSCデベロッパーとは、保有床にテナントを誘致し、個別の賃貸借契約で収益を得て、自らのショッピングセンターを管理運営している管理会社である。

T-FACEでも、20,558㎡の店舗区画に、約80店舗のテナントを誘致して区画の賃貸借を行っている。しかし、T-FACEの管理運営においては、不動産管理や施設管理だけを業務としないマーチャンダイジングデベロッパーとして、テナントとの共同発展を目指した日常の店舗運営にも深く携わり、①マーケター ②プランナー ③オペレーターの3つの役割を持ち、加えて④CS、ES活動にも取り組んでいる。

① マーケター機能(市場把握)

市場規模、商圈競合、ニーズ&シーズ、予算差益分析、ローコスト化推進、顧客分析、現状調査、トレンド把握

② プランナー機能(経営戦略)

ビルの中短期計画、MDの方向性～コンセプト、まちづくり計画、キーテナントおよび大型店間の回遊計画、テナントミックスプラン遂行、CIプラン、リニューアル計画、販売促進環境計画、T-FACE会の企画運営

③ オペレーター機能(日常営業)

売上管理業務、営業管理、MDの遂行、CI維持、ショップサポート、研修講師、安全衛生管理、防犯防災管理、救急救護、T-FACEまちなかインフォメーション運営、店舗入れ替え、退店対応、新店対応、契約管理、工事監理、貸しイベントスペース事業、地域とのコミュニケーション機能の充実、T-FACE会の運営

④ CS・ES活動

(CS)
T-FACE全フロアのフロアコンセプトに基づいたトイレの改修、まちなかクリーンアップ活動、来店客調査の運営主体、まちなかインフォメーションでの各種サービス

(ES)
T-FACEクルー休憩室の整備、クルーサークル活動の支援、クルーのライフアップセミナー実施、販売士資格の対策講座実施

携帯サイトへのアクセスはこちら

<http://www.t-face.com/>





豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業 2

T-FACE会事務局業務

T-FACEに出店しているテナントとデベロッパーである豊田まちづくり(株)で、専門店のテナント会「T-FACE会」を組成している。豊田まちづくり(株)はT-FACE会の事務局を担当し、会員からのテナント会費を独立した予算で、
①共同の販促活動、②総務活動(従業員教育、福利厚生、会議)の公正な運用にあたっている。
尚、会長、副会長、監査役は、豊田まちづくり(株)以外のテナントの本部、オーナーに務めていただいている。

1 販促活動

直近1年間の売上、顧客データをもとに翌年の戦略の方向性を決め、年間を通じて取組む。その戦略をベースに、季節毎の営業企画を組み立てる。戦略の中でも最も重要な位置にあるのが顧客施策で、高い反応率を持ち、売上の牽引役として一般販促とは別の計画を持って取組んでいる。また、今後増える競合施設への対抗策として、駅前立地を活かした平日立ち寄り動機の増設に力を入れている。

主な活動

館内装飾、告知広告、交通広告、パブリシティ、ホームページ、メールマガジン、SNS、セールスプロモーション、集客イベント、T-FACE CLUB運営、T-FACE CLUB分析、スターメンバー、U25T-YOUTH、会員育成(クラスターズ施策)、店長向けマーケティング研修、ショップ分析レポート作成、エリアとの共同販促、まちなか宣伝会議、まちなか放送 など



2 総務活動

総務活動の中でも、スキルアップ研修と従業員満足(ES)は、年々重要度が増してきている。その2つは直接的な販促策ではないが、販促に直結しており、またお客様満足(CS)に繋がるもので、T-FACE会総務活動の中でも注力している項目である。

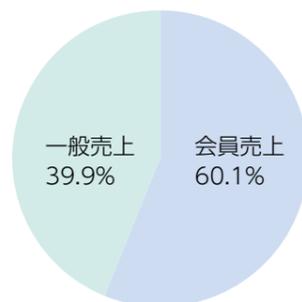
主な活動

店長会、業種別店長会、フロア朝礼、T-FACE会理事会、総会、スキルアップ研修、OJT研修、まちなかクリーンアップ大作戦、店長懇親会、ショップクルー交流パーティー、来店客調査、覆面調査、T-FACE CLUB会員調査、ディスプレイコンテスト、年間競争、健康診断・インフルエンザ予防接種の斡旋 など



T-FACE CLUB 会員データ(平成29年度実績)

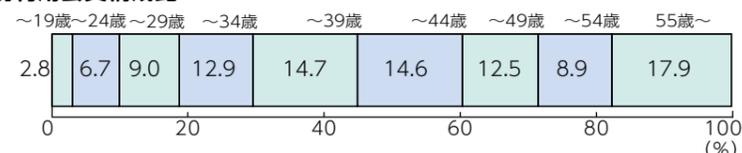
売上構成比



年齢別利用会員数(人)



年齢別利用会員構成比



平成29年度フロアリニューアル実績

「豊田市中心市街地テナントミックスビジョン」に基づき以下の通りフロアリニューアルを実施した。

リニューアル対象	B館T-FACE6F
売場面積	381.54坪(1261.29㎡)→338.26坪(1118.21㎡)
投資経費	172,000千円(内共用部60,000千円、店舗区画112,000千円)
オープン日	平成30年3月2日(改修工期 平成30年1月15日~3月1日)
特徴	リノベーションの実績が高い「(株)エイトデザイン」を起用した他、豊田市産業部森林課の協力を得て「ウッドディーラー(トヨタ市地域材利用拡大プロジェクト)」が豊田市の山林から伐採した不燃加工の木材を使用し、特徴あるフロア環境とした。
コンセプト	「4cm VIEW UP at café ~カフェのような暮らしが買えるライフスタイルフロア~」
導入店舗	unico loom(インテリア)、アーノット(生活雑貨)、メイクマイデイ(陶器)、ルネ・デュー(北欧生地)、こととや(食品)等三河地区初出店の高感度な店舗を導入したほか、既存店舗のフランフラン(インテリア)、私の部屋(生活雑貨)、ダンボ(子供服)がリニューアルオープンした。



貸しイベントスペース事業

地元企業、団体を中心にイベントスペースの貸出しを行っている。サードプレイスとしてのワクワク感や居心地のよさ、集いやすさを提供する場として多種多様なイベントスペースを設置。

B館T-FACE6階 T-sideスクエア

人の滞留づくりや付加価値づくりのために、フロアの雰囲気合う催事を誘致。普段は休憩スペースとして利用。

面積	約4.7坪(約16㎡)
利用実績	デモンストレーションを伴う物販(コーヒー試飲など)、ワークショップ

B館T-FACE7階 ナナのへや

特定人数でのクローズド企画向けスペース。普段はT-FACE CLUB会員限定の休憩ルームとして開放している。

面積	約20坪(約66㎡)
利用実績	ミーティング、セミナー、勉強会、サークル活動 など

B館T-FACE8階 ごちそうダイニング広場

飲食店フロアの中心に位置し、エスカレーター、エレベーター、A館との連絡通路の多方向からアプローチが期待できる、オープンイベント向けスペース。

面積	約6坪(約20㎡)
利用実績	小規模の物販、タッチアンドトライ、デモンストレーション、音楽活動 など

B館T-FACE1階 シティプラザ

駅からすぐで飲食店隣接の好立地にある大規模催事向け屋外スペース。

面積	会場・ステージ全体 約900㎡/ステージ 約3.6㎡
利用実績	大規模な集客イベント(キャラクターショー、コンサートなど)、企業PR(車両展示) など





店舗事業

豊田市のまちづくりのために、地域発展・商業活性化に寄与する店舗事業を推進。T-FACEにおいて、6店舗を直接経営・運営し、事業目的の達成を目指す。

〈店舗事業の目的〉

- ・店舗経営・運営のノウハウの蓄積・収益基幹事業確立・出店フロアの集客力向上・T-FACE不足業種の補完
- ・将来新たな店舗運営の取組みなど、店舗事業の拡大

■ラフイングカンパニー (アウトドアショップ)



Laughing Company
OUTDOOR FUNS FIELD SINCE 1984

平成6年10月/豊田市広路町オープン
平成14年3月/A館T-FACE8階リニューアルオープン
平成25年3月/増床リニューアルオープン
店舗面積/100坪
<http://laughing-company.jp/>



■私の部屋 (生活雑貨)



私の部屋
WATASHI NO HEYA

平成21年4月より豊田まちづくり(株)運営
平成30年3月/B館T-FACE6階リニューアルオープン
店舗面積/39.2坪

■シャンドエルブ (コスメ&ライフスタイルショップ)



平成22年10月/B館T-FACE1階オープン
店舗面積/25.8坪

■アフタヌーンティーリビング (生活雑貨)



Afternoon Tea
LIVING

平成27年3月/B館T-FACE2階オープン
店舗面積/39.8坪

■アースミュージック&エコロジー (アパレル)



earth
music & ecology

平成19年8月/B館T-FACE1階オープン
平成26年4月より豊田まちづくり(株)運営
店舗面積/33.1坪

■メゾン ドゥ ラパン (アパレル)



MAISON DE
LAPIN

平成27年3月/B館T-FACE2階オープン
店舗面積/39.8坪

■ころもはにい(養蜂協力・蜂蜜販売) B館T-FACE屋上で採蜜



ころも
はにい
KOROMO HONEY

平成28年6月/B館T-FACE屋上 養蜂開始
養蜂期間:春~夏
養蜂を通じて豊田のまちなかをもっと知ってもらいたいという思いで始めた活動。「まちなかで採れたオンリーワンの蜂蜜をもっと知っていただき豊田市を元気に、今よりもっと豊田市を好きになってもらいたい。」そんな願いを込めたプロジェクト。



豊田市中心市街地大型店の連携・共同事業

事業目的

豊田市中心市街地活性化の商業集客核として、また当エリアにおける各業態の役割達成状況を相互に確認し、異業態間の相乗効果・回遊性等を考慮した改善案の策定と、実現のための方策を定める協議体である。既存大型店を有機的に連動させ、一つの大型ショッピングモールなみの回遊性・楽しさを創出し、より一層の集客を図ることを目的とする。

また、中心市街地活性化協議会に属するテナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議の実働的な役割も担い、MD再構築に関わる各商業施設の情報共有に加え、調査検証事業やテナントリーシングに必要とされる情報交換も実施する。

参加商業施設

商業施設名	業種
松坂屋豊田店	百貨店
GAZA	専門店街
メグリアセントレ	S M
名鉄豊田プラザ	駅高架下専門店街
T-FACE	専門店街
VITS TOYOTA TOWN	専門店街
コモ・スクエア	専門店街
KITARA	シネコン・専門店街

主な活動実績

- 平成17年度 「大型店テナントミックス研究会発足」
- 平成18年度 「各大型店の方向性の確認、MDプラン作成」
- 平成19年度 「今後の推進プラン作成」

- ・各大型店の現状把握と郊外SCの分析
- ・大型店の役割を共通認識
- ・マーケット把握からのMDプランの作成
- ・市民ニーズの高い不足業態・業種の把握

- 平成20年度 「大型店をつなぎ、ショッピングモール化へ」
- 平成21年度 「回遊モデルルートの作成」
- 平成22年度 「大型店共同販促回遊企画の実施」

- ・5年後をイメージした各社MDプランの更新、実施および共通認識
- ・回遊性・魅力向上に向けたペDESTリアンデッキでのBGM放送開始
- ・回遊モデルルートの作成と現状のルート内の不具合箇所の確認
- ・EXILEコンサート開催に合わせて回遊イベントの開催
- ・大型店のMD・リーシング担当者による情報交換会開催

- 平成23年度、24年度、25年度 「大型店独自の共同企画開催」

- ・大型店共同の回遊企画「サンクスフェスタ」の開催
- ・年2回のまちなか清掃開催
- ・大型店のMD・リーシング担当者による情報交換会開催

- 平成26年度、27年度、28年度 「わかりやすさ、おもてなし向上」

- ・大型店共同ショップガイド作成
- ・年1回のまちなか清掃開催
- ・大型店全店でのおもてなしコンテスト開催

- 平成29年度「近隣にOPENした競合大型SC対策」

- ・テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議による調査事業「とよたまちなかこどもタウン」開催
- ・大型店共同ショップガイド作成
- ・年1回のまちなか清掃開催



EXILEコンサート開催に合わせた回遊イベント



平成30年度の活動内容

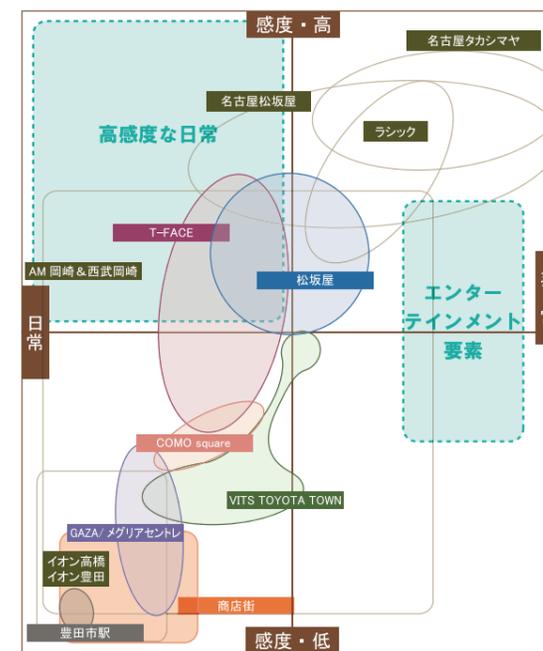
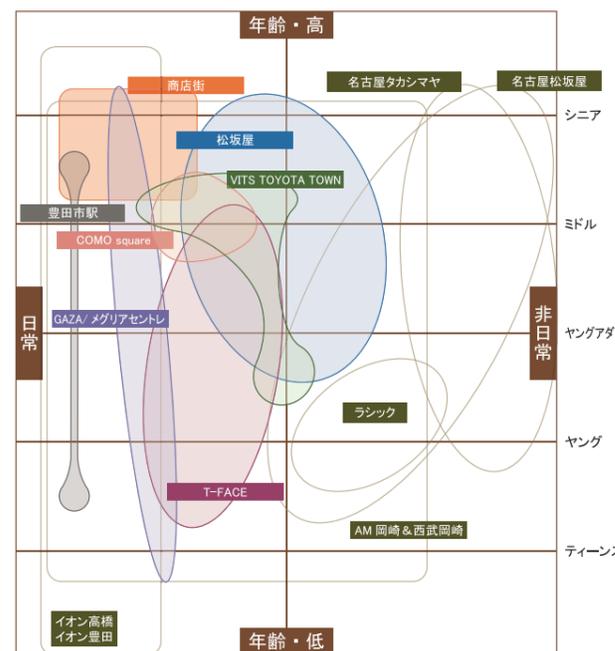
調査・検証情報収集事業

■ 来街者調査、商圈調査、グループインタビュー、講師・専門家招聘、競合SC視察、商業コンサルタント委託等、テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議の必要に応じて実施

- ① 2015年度策定の「豊田市中心市街地テナントミックス再構築調査・検証事業」MDプランにより現実に近いプランへの見直し
- ② インバウンドの現状把握と対応策の検討

■ 全体でリーシング状況を確認しあい、自社の店舗導入に活かす

- ① リーシング担当レベルでの情報交換
半期開催とし、各施設の問題点、課題、解決方法や再構築プロジェクトのMD計画を踏まえたリーシング状況の意見交換とする。
- ② 各大型店毎のリーシング、新店導入交渉



- KITARAオープンにおいて、まち遊びを促す施設のシネコンの導入によるエンターテインメント機能を補完することで、非日常感の増幅が可能
- 豊田市中心市街地では、名古屋とは異なる魅力創出と豊田市郊外にない「高感度な日常」を提供できるまちの総合力と位置づけを目指す

回遊性向上事業

■ わかりづらさを解消し、駅東西の回遊を促進する

- ① 豊田市駅東西の回遊性向上策の実施
大型店共通フロアマップを作成し、ショップガイドの見易さやわかりやすさの向上をはかり、外国人・旅行者のスマホ対応も検討する。

→ まちなかショップガイドの作成

- ② 環境向上策の実施
大型店周辺の清掃活動(ゴミ拾い、床清掃)を実施する。

→ 熱血まちなか清掃の実施





プロパティ・マネジメント

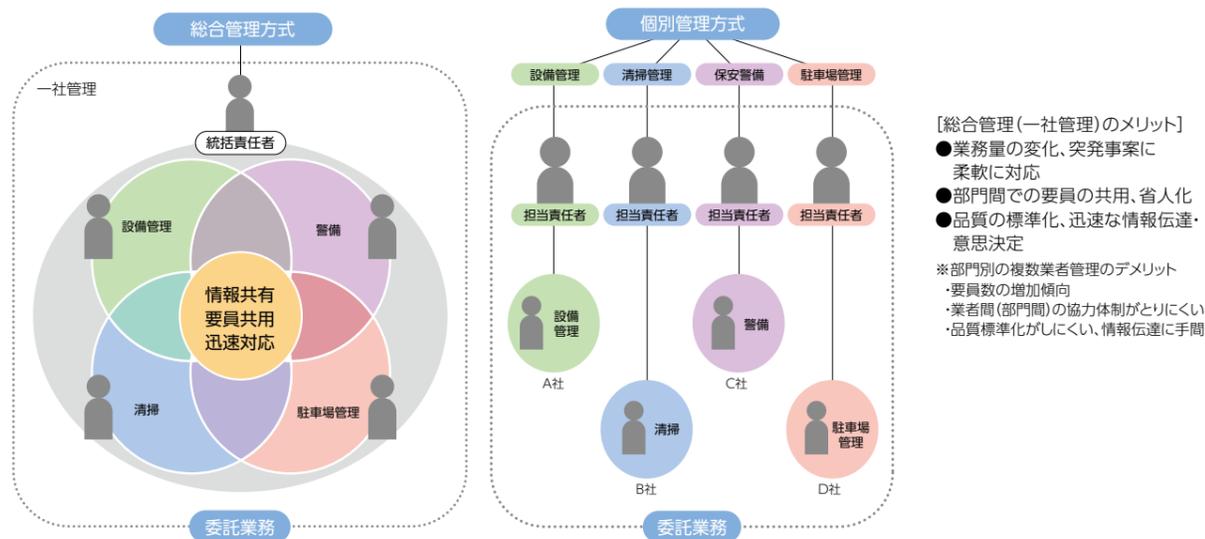
賃料等の収益力を高め、管理費用の最小化により収益の最大化を図る。日常的なビルメンテナンス業務にとどまらず、入居いただくテナントが安定した実績をあげるためにも、計画的な投資を行い、ビルの資産価値(商品価値)向上を目的とした「プロパティ・マネジメント」に取り組んでいる。

管理事業においては、安心安全で快適なビル環境づくりを原点に、「設備管理」「清掃管理」「保安警備」等のマネジメントをはじめ、ビルやまちにとって重要な附帯施設である「駐車場の経営と維持管理」を担い、常に化する経営環境や様々なリスクに対応しながら総合的な管理事業を推進している。

- 資産価値向上 効率的な中長期修繕更新計画の策定と実施(建物設備、フロア改装)
- 被害軽減と抑止 お客様施設等の設備事故防止、防犯および防火防災管理
- 衛生・環境管理 ビル衛生管理、食品衛生管理、環境管理、緑化事業・環境負荷の軽減に向けた取組み
- 専門分野の内製化 設計施工監理、内装工事監理
- エネルギー管理 設備の効率化運転や省エネ機器の導入

ビルメンテナンス業務の一括総合管理

管理対象物件の特徴から、業者一社で設備管理、清掃、警備業務を担う総合管理方式を採用。本来のメンテナンス業務に併せ、緊急時の迅速な対応や作業量の急な変化にも対応が可能で、延床面積6万6千㎡超の大型物件の管理にスピードと効率化を追求することができる。業者の選定は入札金額のみならず、独自の技術や管理手法に新たな提案を求め、それらも選考条件とする「提案型見積競争入札」を実施。



事業継続計画(BCP)策定の取組みおよび『豊田市駅・新豊田駅周辺の帰宅困難者対策推進協議会』への参画

東海地震や東南海地震など南海トラフを震源域とした大規模地震の発生が懸念されるなか、平成24年度より会社事業方針に新たに「防災の取組み」を追加し、大規模地震などの災害に備えBCPの策定に取り組んでいる。

平成29年3月には新たに豊田市が中心となって設立した『豊田市駅・新豊田駅周辺の帰宅困難者対策推進協議会』へ参画。震災、風水害等の発生時に豊田市駅・新豊田駅周辺において交通機関等が途絶した場合の帰宅困難者の受入を目的に駅西再開発ビルの一部を一時待機場所として提供するとともに、駅周辺の防災・減災意識の向上による“安全安心な環境づくり”の推進を行う。

部門定例会とSSC会議

部門ごとの定例会議の他、統括管理責任者と全部門責任者によるSSC会議を開催。SSC会議では、ビル内の営業情報はもちろん、中心市街地で行われる催事情報なども共有し、お客様からの問合せ対応や、業務の要員計画や事前準備などに反映。また、互いの知識、経験、技術の最大限の活用と創意工夫・改善により、お客様と従業員の「安全:Security」を第一義に、「安心:Safety」できる「快適:Comfortable」な管理運営を推進している。

防犯講習会

T-FACE女性クルー(従業員)を対象に、防犯講習会を実施。豊田警察署生活安全課の協力をいただき、犯罪の傾向と対策などの座学や、護身術などの実技体験講習などを開催。



共同防火防災管理協議会

豊田まちづくり(株)、松坂屋豊田店、愛知銀行、ビルメンテナンス会社で構成する共同防火防災管理協議会。災害の被害軽減や防止を目的に、自衛消防組織の整備と訓練、消防計画の効果的実施についての協議、災害発災の対応研究などに取り組んでいる。こうした取組みが評価され、防火優良事業所として平成23年度豊田市防火危険物安全協会会長表彰を受賞。平成24年11月30日、豊田まちづくり(株)が消防法令の遵守状況が優良な施設として、防火防災特例認定の市内第1号を取得。

防災訓練・救命講習・フロア別防災研修

災害発生やその他の緊急時において人命の安全確保を最優先に考え、適切な行動、被害の拡大防止に努めることができるようにビル従事者(T-FACEクルー、松坂屋スタッフ等)を対象に、年間を通じて防災訓練、救命講習、フロア別防災研修を開催。



食品衛生管理

豊田市保健所から講師を派遣いただき、飲食店のクルーに対する衛生管理意識の啓発啓蒙、食中毒予防などに関する食品衛生管理講習会を行っている。この他にも、飲食店の衛生管理の健全化を目的とした「衛生パトロール」、下水排水の適正管理のための「グリストラップ点検」を実施し、衛生管理に努めている。



警備業

イベント等のプロモーション事業において、雑踏警備や施設警備など、警備業務を要件とした業務の受託に対応すべく、豊田まちづくり(株)が自ら警備業認定を取得。公安当局の指導のもと、発注者との綿密な打ち合わせを行い、強固な警備体制を構築。常に安全な管理運営を目指している。平成21年警備業認定取得

損害保険代理店業

ビルや駐車場などの日常的な管理運営や、イベント事業などの実施に伴う様々なリスクをカバーするための損害保険代理店事業を展開。また、自動車、火災、傷害保険の取扱によりお客様の事業内容や状況に併せて、補償設計を提案している。

【取扱保険会社】※平成30年4月1日現在
三井住友海上火災保険(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)



駐車場の管理運営

自社所有等の5駐車場

■効率化運営を目指す集中管理システム



駐車場管理センター
TM若宮パーキング

遠隔監視と24時間管理

- 駅西ビル総合管理会社への委託
 - ・定期駐車の一元管理
 - ・キッズカート管理
 - ・飲むならパーキングチケット販売
 - ・SSC会議による情報共有
- 集中管理システム
 - ・24時間カメラ監視 ・音声通話対応
 - ・ゲート遠隔操作
 - ・協力警備会社の緊急対応(火災、盗難、防犯)

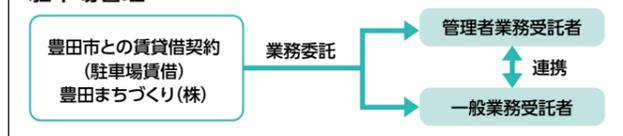


豊田市所有の6駐車場

■一体的なサービスを目指す再開発ビル管理会社との連携管理

これまでの委託方式(管理者業務・一般業務一括委託)を見直し、ビルデベロッパーの「管理者業務委託」と業者の「一般業務委託」を分離発注し、それぞれの役割と責任を明確化、適正かつ効率的な運用を目指す。

駐車場管理



■管理者業務

- ◆自社管理ビルの来館者が利用する付帯駐車場の管理
- ◆安心、安全、快適な駐車場運営を実現するため問題、課題の把握と改善策の構築、実行
- (1)利用者対応
- (2)駐車場の営業や利用状況に係わる情報提供及びまちなかの情報共有
- (3)突発事案、管理月報等の報告業務
- (4)駐車場管理運営(工事・修繕点検等)に係る関係先(テナント、防災センター等)への連絡、調整
- (5)防火防災管理に係る諸対応及び災害発生時の必要な対応

■一般業務

- ◆利用客が安心、安全、快適に利用できる駐車場環境の維持管理
- (1)警備業務
- (2)清掃業務
- (3)設備保守点検

駐車場概要

	第1駐車場	第2駐車場	若宮駐車場	昭和町駐車場	TM若宮パーキング	喜多町駐車場	ギャザパーキング	キタラパーキング	参考館駐車場	コモパーキング	新豊田駅地下駐車場
開業年	昭和63年	昭和63年	昭和63年	平成7年	平成16年	平成7年	平成7年	平成29年	平成10年	平成18年	昭和58年
収容台数	314台	109台	485台	221台	412台	524台	225台	286台	111台	250台	170台
営業時間	6:30~25:00	7:00~23:00	7:00~23:00	7:00~23:00	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間	6:00~23:40
料金	150円/30分	150円/30分	150円/30分	150円/30分	150円/30分						
車両制限	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.0m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長4.7m 全幅1.7m 全高1.55m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅2.0m 全高2.0m

駐車場サービス

利用しやすく、止めやすい駐車場

平成28年度より、豊田市中心部の駐車場の不快さ(暗い、汚い、怖い)を解消し、緑辺部駐車場の環境整備を実施。混雑駐車場の渋滞緩和、利用の平準化に向け、豊田市と豊田まちづくり(株)が共働して、豊田市都心駐車場計画に基づく「駐車場リニューアル(環境整備)」を推進。



- 車両のナンバープレートを認識して、事前精算後、自動的にゲートバーが開いてスムーズに出庫できる「車番認証システム」の導入(図①)

TM若宮パーキング 若宮駐車場 キタラパーキング

- 駐車区画の空き状況がわかりやすい「まねき灯」の設置(写真②)

喜多町駐車場 若宮駐車場 参考館駐車場 コモパーキング
ギャザパーキング キタラパーキング

- わかりやすく見やすい場内誘導サインの設置(写真②)

喜多町駐車場 昭和町駐車場 若宮駐車場 第1駐車場
参考館駐車場 コモパーキング ギャザパーキング キタラパーキング

- 商業施設のトイレにも引けを取らない明るく清潔感のあるトイレ・多目的トイレ(写真③)

喜多町駐車場 昭和町駐車場 第1駐車場 若宮駐車場

- 車いす利用者以外の弱者(妊婦、ベビーカー利用者、歩行補助杖利用者など)向けの「ハートフルスペース」の新設

若宮駐車場 参考館駐車場 コモパーキング ギャザパーキング

- 駐車場内を安心して利用できる防犯カメラの設置

若宮駐車場 第1駐車場 昭和町駐車場



ビジネスにも便利! 平日1日最大料金700円

昭和町駐車場
平日の利用促進を目的に営業時間内に限り、1日の駐車料金が上限700円で利用可能。平成22年8月より開始。



プラグインハイブリッド(PHV)、 電気自動車(EV)普通・急速充電ステーション

TM若宮パーキング 喜多町駐車場 キタラパーキング

TM若宮パーキング、喜多町駐車場に24時間いつでも利用できる普通充電ステーションを駐車場内に設置(利用料金1時間100円)。入庫前でも空き状況がわかるよう外部に専用満空サインを設置。



Ha:mo RIDEステーション

TM若宮パーキング 喜多町駐車場

豊田市の低炭素社会システムプロジェクト「Ha:mo RIDE」(ハーモライド)のまちなかステーションとして参加。Ha:mo RIDEはトヨタ自動車(株)が実施主体として一人乗り・二人乗りの超小型電気自動車を利用したモビリティネットワーク。駅や商業施設に近い駐車場から乗りたいときにちょっとだけ利用できる手軽なカーシェアリングとして幅広い層の方々に利用されている。





フリーパーキング事業

導入の背景

「駐車料金が安い!」「どの駐車場に停めたらよいかわからない!」など、中心市街地駐車場に関する課題が山積みの中、駐車サービスの一元管理「3時間無料サービス・フリーパーキングシステム」の展開により、駐車場問題の解決に向けスタートした。また、新たにオープンしたシネマコンプレックス等、中心市街地周辺のエンターテインメント施設(エンタメ施設)利用を含め、時間を気にせず、まちなかをゆっくり楽しめるよう最大5時間分が無料になる「フリーパーキング・プラス」を導入した。

事業概要

- 目的** 中心市街地への来街促進と駐車場の利便性向上
- 事業開始** 平成15年4月1日(フリーパーキング)・平成29年11月1日(フリーパーキング・プラス)
- 事業内容** 利用者の加盟店利用を条件に、駐車料金3時間ないしは5時間(指定の駐車場利用、指定の認証が必要)無料サービスを提供
- ① 商店、事業所、公共施設等との加盟店契約の締結・更新・解約、利用料金の収受
 - ② 駐車場事業者との駐車場利用等に関する契約の締結・更新、借上げ料の支払い
 - ③ 加盟店および加盟駐車場の利用状況等の情報一元管理
 - ④ 駐車場利用状況のデータ分析による中心市街地活性化策への活用
 - ⑤ フリーパーキングシステム利用促進の取組み
- システム導入** 経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」
豊田市「豊田市中心小企業団体等事業費補助金」

事業の仕組み

利用者(お客様)

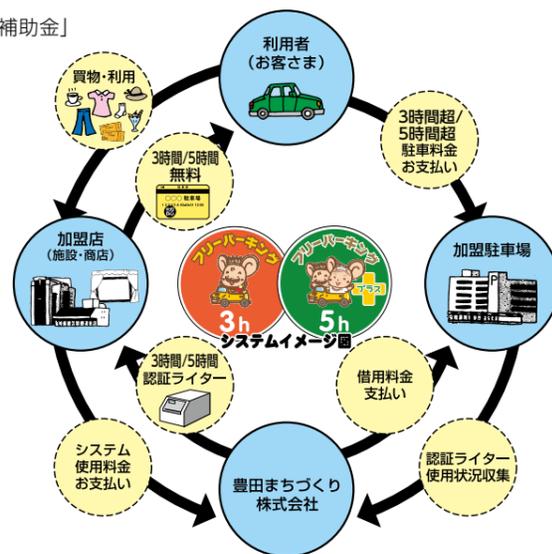
加盟店での買物または施設利用で、駐車券に3時間無料サービスの認証または、5時間無料サービスの認証(イオンシネマ豊田など、4ヶ所のエンタメ施設のうち1施設利用で、追加でもう1回の認証)を受け駐車場を利用(超過分の駐車料金は利用者負担)

加盟駐車場

駐車場事業者と当社が駐車場利用等に関する契約を締結し、当社から駐車場事業者に対し借用料(借上料)の支払い

加盟店(店舗・施設・事業所)

加盟店契約後、利用者への駐車料金最大3時間ないしは5時間(指定の駐車場利用、指定の認証が必要)無料サービスの提供と利用料金の支払い



加盟店の利用料金(認証ライター保守料+システム利用料) ※平成30年4月1日現在

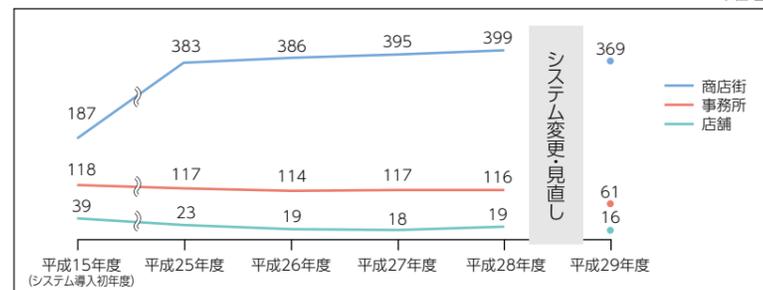
(消費税込)

利用料金(月額)	加盟初年度(※1)		次年度以降	
	認証ライター保守料	システム利用料	認証ライター保守料	システム利用料
商店街加入	540円	540円	540円	利用実績額(※2)×25%
商店街未加入	540円	4,860円	540円	利用実績額(※2)×50%

※1 本事業は毎年4月から翌年3月末を事業年度とし、年度途中の加盟は加盟月から3ヶ月間を初年度として期間を設定。
 ※2 利用実績額は、加盟店の利用実績データに基づき、別に定める認証利用料金算出表にて算出。

【商店街入会の加盟店(認証ライター設置数)の推移】

単位:台



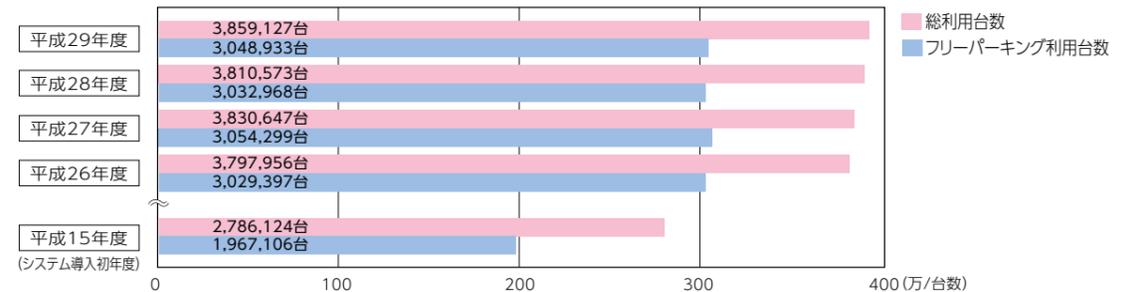
※平成29年度よりライター機器変更。設定台数の見直しをしている。

“面的なサービスの提供”

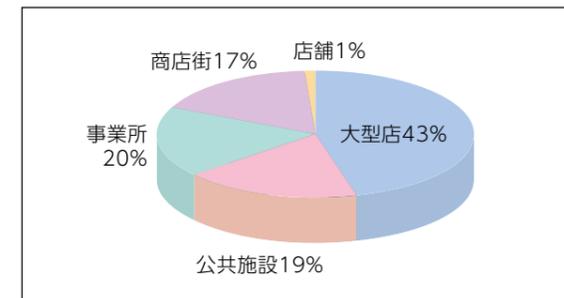
フリーパーキングスタート時、どこでもサービスを受けられるよう店舗数の確保と面的なサービス提供のために、中心市街地の商店街に多数加盟いただき、早期普及と定着化を図る。また、商店街入会のメリットとして、フリーパーキングの認証ライター保守料の補助、システム利用料の割引率75%(25%負担)を設定。結果として、現在も商店街への入会店が増え続け、フリーパーキングの利用促進と商店街の加入促進に寄与。

フリーパーキング利用状況 (平成30年3月31日現在)

フリーパーキング利用台数の推移

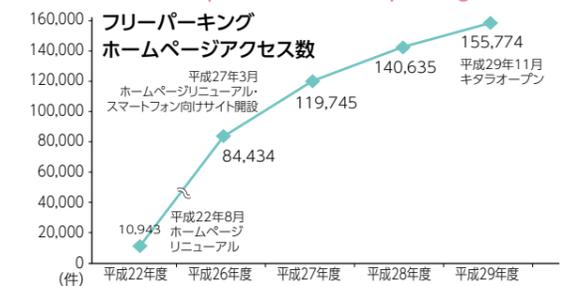


フリーパーキング利用の内訳



利用促進の取組み

ホームページ <http://www.tm-freeparking.com/>



特定駐車場の利用集中を緩和するため、ホームページで加盟駐車場情報(満空情報・混雑状況)をリアルタイムにわかりやすく紹介。全加盟店をジャンル別に紹介。お客様が利用したいお店を探すことができる。加盟駐車場・加盟店の紹介を充実させ、更なる利便性の向上を目指す。



フリーパーキング・プラス

これまでの3時間駐車無料サービス『フリーパーキング』に加え、最大5時間駐車無料サービス『フリーパーキング・プラス』をスタート。お客様は、平成29年11月にオープンしたイオンシネマ豊田など中心市街地4ヶ所のエンタメ施設のうち1施設利用すると追加でもう1回の認証が受けられ、これまでの3時間無料にさらに2時間プラスして最大5時間分の駐車料金が無料となる。映画を見て、食事やお買い物をして時間を気にせず、ゆっくり豊田のまちなかをお楽しみいただくことができる。



2回認証で最大5時間無料!!





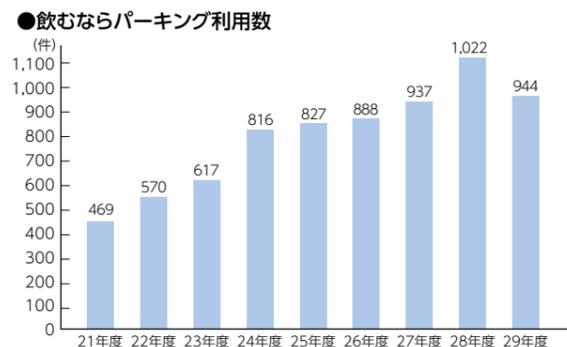
豊田まちづくり(株)の事業

おもてなし事業

飲むならパーキング事業

中心市街地7ヶ所の指定駐車場(24時間営業、2,250台収容)で、お酒を飲んだ方のおクルマを一晚、低額料金でお預りする駐車サービス。「飲酒運転防止」と「夜の賑わいづくり」の一助として平成18年12月から実施。加盟店で飲酒するお客様は夕方5時から翌日正午までの間、500円で駐車できる。加盟店は駐車場から、1枚500円でチケットを購入し、お客様に販売。

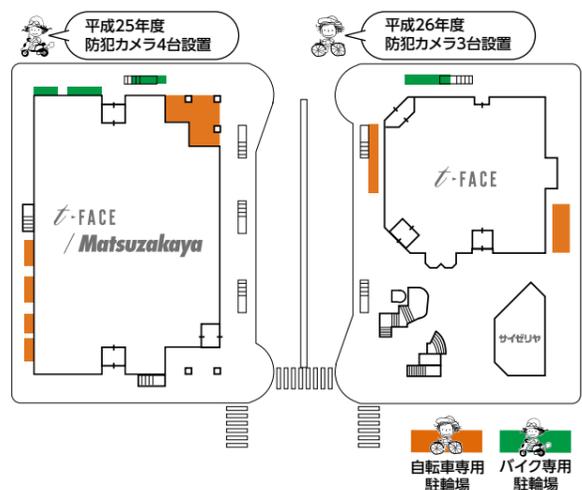
事業主体 豊田まちづくり(株)
事業協力 カシマゴビルディング(株)、豊田市
駐車場 ヴィッツ駐車場、新豊田駅西駐車場、TM若宮パーキング、喜多町駐車場、ギャザパーキング、参考館駐車場、コモパーキング



有料駐輪場事業 安心・安全・快適な駐輪場をめざして

お客様がとめられない駐輪場、自転車やバイクが歩道をふさぐ…、松坂屋・T-FACE周辺の放置自転車、違法駐輪の問題解決策として、平成18年4月、自転車駐輪場を有料化。商業施設のお客様向けに最初の3時間は無料、その後12時間ごとに自転車50円、バイク100円。ビル警備会社と駐輪機メーカーの連携により24時間管理体制で対応。

設置台数 423台(自転車350台、バイク73台)



キッズカート共同利用事業

「豊田らしいカート」でまちなかショッピング。4つの大型店が共同運営しているので屋外利用も可能。子供と一緒に楽しいお買物をサポート。豊田市商業活性化推進交付金活用事業で、まちなかの回遊性向上による商業活性化を目的に平成17年5月スタート。

事業主体 豊田まちづくり(株)
事業協力 松坂屋豊田店・T-FACE・ギャザ・メグリアセントレ
管理運営 専属のカート回収員と、各店の管理系係員等により、維持管理費の低減・効率化を推進



まちなかクリーンアップ活動

お客様のおもてなしは「まちの玄関」から。毎月第一土曜日に有志が集まり、駅周辺の清掃活動を実施。活動は平成14年11月から開始。T-FACE・松坂屋豊田店の従業員や地元企業の方々自主参加。ペDESTリアンデッキ・緑陰歩道・バスターミナル・タクシー乗り場などをクリーンアップ。(右記地図中の□部分が活動範囲)



花飾り事業への参画

「愛知万博」後も継承されるフラワーロードのけやき通り沿い設置プランターや、ペDESTリアンデッキ下花壇の植替えや水遣り、ペDESTリアンデッキ上のハンギングバスケットの一部の作成、ペDESTリアンデッキ上花壇の水遣りなどを社員全員体制で参画。豊田市駅周辺への来訪者を花飾りでおもてなしをし、まちの賑わいとイメージアップにも貢献。



フリーパーキング 加盟駐車場MAP



フリーパーキング加盟駐車場 全4,404台

駐車場	管理運営者	営業時間	収容台数	3h	5h	飲むならパーキング	キッズカートステーション	電気自動車用充電ステーション	平日1日最大料金	定期駐車場	HaMo
① 産業文化センター駐車場	豊田市	8:00~22:00	280	●							
② 新豊田駅西駐車場	豊田市	24時間	43	●	●						
③ 第2駐車場	豊田まちづくり(株)	7:00~23:00	109		●					●	
④ 若宮駐車場	豊田まちづくり(株)	7:00~23:00	485		●					●	
⑤ 新豊田駅地下駐車場	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	6:00~23:40	170	●						●	
⑥ ヴィッツ駐車場	カシマゴビルディング(株)	24時間	685		●	●				●	
⑦ TM若宮パーキング	豊田まちづくり(株)	24時間	412	●		●	●	●			●
⑧ 第1駐車場	豊田まちづくり(株)	6:30~25:00	314		●					●	
⑨ 昭町駐車場	豊田まちづくり(株)	7:00~23:00	221		●					●	
⑩ ギャザパーキング	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	225	●		●	●				
⑪ 喜多町駐車場	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	524		●	●	●	●		●	●
⑫ キタラパーキング	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	283	●					●		
⑬ 豊田参考館駐車場	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	111	●		●					
⑭ コモパーキング	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	250	●		●					
⑮ 西町丸太パーキング	(株)丸太不動産	24時間	172	●						●	
⑯ 元城駐車場	豊田市	8:00~22:00	89		●						
⑰ 児ノ口駐車場	豊田市	8:00~22:00	31		●						

※豊田まちづくり(株)管理の駐車場収容台数 3,104台(フリーパーキング収容台数の70.5%)

会社について

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市の取組み

その他

資料



豊田市中心市街地まちづくり事業

豊田まちづくり(株)は、中心市街地のまちづくりに携わる住民や店主等で構成される地域のまちづくり団体や商店街が行う活動や商店街事業の支援を行っている。

豊田市中心市街地活性化協議会の一員として、豊田市中心市街地活性化基本計画事業のうち、とりわけ民間・官民共働事業を推進している。

桜町本通り商店街「八日朝市」への支援

事業主体 桜町本通り商店街振興組合

- 八日朝市の様子 [地元農家の野菜の直売・刃物研ぎ・商店街おもてなし・個店営業]



- 市内高校との連携 [連携:愛知県立豊田東高等学校]



- 地域コミュニティや地元小学校等との連携 [連携:崇化館交流館他]



飲食店ストリート構築事業の推進【空き店舗に飲食店を出店】

名鉄豊田市駅南西の空き店舗・遊休地に、飲食店を中心とした店舗化の推進及び営業店舗の共同イベントによる特色あるストリートづくりを行っている。

- 「空き店舗活用事業」概要

事業主体:豊田まちづくり(株)
 所在地:豊田市西町6丁目62番地
 建物構造:鉄骨3階建て
 賃貸面積:114.16㎡(34.54坪) 3階建ての1階を賃貸

- 飲食店内容

屋号:まめあん(豆庵)
 開店日:平成22年10月13日(水)
 営業時間:11時~23時

〈店舗外観〉



広域のまちづくり活動支援事業

豊田市中心市街地のみならず、市内広域で活動し、商店街の計画策定や事業の協力やサポートを行っている。

事業や共同イベントへの支援

足助中央商店街協同組合主催の集客イベントの支援

- ウォーキングイベント

場所:足助中央商店街協同組合一帯(足助のまちなみ及び香嵐渓)



- 中馬なごやか市

場所:新田町協同組合駐車場





事業の概要

商店街の空き物件を活用し、まちの新たな交流の場となる「まちなかコミュニティ施設 MAMATOCO(ママトコ)」を整備した。商店街内に子育て世代が集い、交流できる、複合的なコミュニティ機能を導入した。

- 子育てママ友同士、夫婦が集いリフレッシュできる場所
- 地域、商店街、店主、来街者が交流できる場所
- 商業等にチャレンジ・起業する場所

施設の概要

- **施設名** MAMATOCO(ママトコ)
- **オープン日** 平成27年3月13日(金)
- **建物の概要** 公園に隣接した築100年の蔵と古民家をリノベーションした。

所在地	豊田市桜町2丁目56番地(桜町本通り商店街振興組合)			
構造	蔵2階建て：1棟、木造家屋平屋：1棟 駐車場：3台分スペース			
延べ床面積	89.05㎡(26.9坪)	蔵 1・2階	飲食店	50.94㎡ (15.4坪)
		木造家屋	チャレンジショップ	11.37㎡ (3.4坪)
			レンタルスペース	19.68㎡ (6.0坪)
		共用部分	共用部分	7.06㎡ (2.1坪)

■ **ホームページ** <http://kura-mamatoco.com/>

導入機能

飲食店(カフェ)

店名：蔵カフェ&マルシェ「ころも農園」
 経営：31農家の任意団体が法人化し、「株式会社夢農人」として初の常設店舗を運営
 内容：地元農産物や加工品の販売、及び地元農作物を使用したカフェメニューを提供

チャレンジショップ

店名：喫茶ゆらり
 平成28年10月オープン
 公共空間を活用したマーケット「STREET&PARK MARKET」より子育てママが新規起業した。
 こだわり珈琲、紅茶、スイーツを提供する。

レンタルスペース

趣味や特技を活かして物品販売やサービス、講座を行う場所として貸し出す。
 年間契約者(団体)数：8者(6名、2団体)

レンタルBOX

手芸などの特技を活かして作った雑貨やアクセサリを預かり、代行販売をする。
 箱数：12箱

蔵カフェ&マルシェ「ころも農園」



喫茶ゆらり



レンタルスペース



レンタルBOX





平成29年度 地域イベント事業実績

ふれ愛フェスタ2017 平成29年5月28日(日)



豊田おいでんまつり 平成29年7月29日(土)~30日(日) 7/29(土) おいでん踊りファイナル



7/30(日) おいでん花火大会



とよた産業フェスタ2017 平成29年9月23日(土)~24日(日)



第37回 豊田マラソン大会 平成29年11月19日(日)



第9回とよたビジネスフェア 平成30年3月15日(木)~16日(金)



Joyculwave ジョイカルウェイブ 音楽を切り口とした若者文化創出支援事業

- 目的
ジョイカルウェイブは、「音楽」を切り口に、「豊田市が魅力あるまち・住みたくなる様なまち」になることを目標に掲げ活動していく。
- ジョイカルウェイブ主催団体(敬称略)
トヨタ自動車(株) / (公財)豊田市文化振興財団 / 愛知県労働者福祉協議会豊田支部 / T-FACE会
トヨタ自動車労働組合 / 豊田商工会議所 / 豊田まちづくり(株)(事務局)
- ホームページ
● ジョイカルウェイブHP <http://joyculwave.jp/>
● トヨタロックフェスティバルHP <http://toyotarockfestival.com/>

□ TOYOTA ROCK FESTIVAL 2017

平成29年10月20日(金)~22日(日)
※台風21号の影響で、日曜とキャンプサイトを開催中止。



会社について
豊田まちづくり(株)の事業
豊田市中心街地活性化協議会
豊田市の取組み
その他
資料



豊田市中心市街地活性化基本計画 ~第1期計画(H20.7~H25.3)~

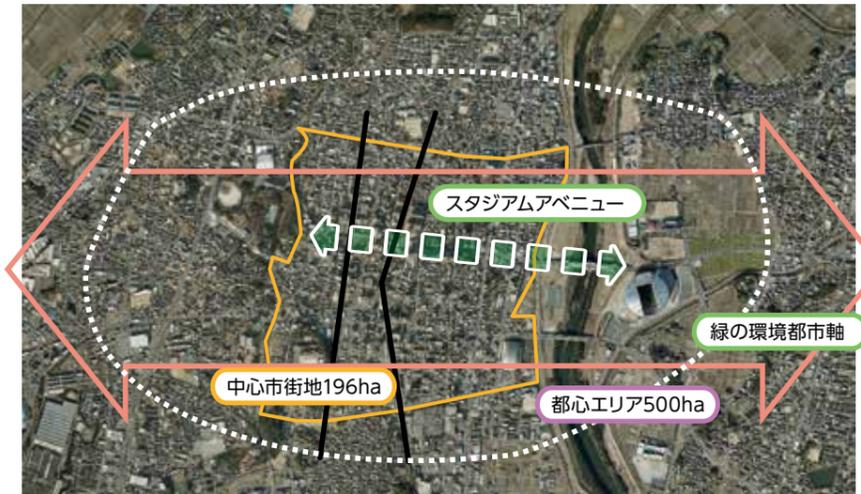
豊田市より資料提供

中心市街地活性化基本計画策定の背景

豊田市は昭和60年に都心総合整備基本計画を策定し、中心市街地の活性化に向けた様々な基盤整備事業を推進してきた。駅前通り北地区の再開発事業を核として中心市街地のさらなる活性化を図るため、第1期中心市街地活性化基本計画に続き、第2期中心市街地活性化基本計画を策定し、総合的に事業を展開する。

第1期中心市街地活性化基本計画の概要

- 計画期間 平成20年7月から平成25年3月まで
- 将来像 緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創造
- 目標
 - ①活力とにぎわいの創出
 - ②公共交通と自動車交通が調和した交通体系の実現
 - ③環境に配慮したまちづくりの実践
- エリア



第1期中心市街地活性化基本計画の目標達成状況の概要

目標	目標指標	基準値	目標値	実績値(最新値)
①	平日歩行者通行量(7地点)	25,788人(H19)	30,500人(H24)	26,978人(H24) 対基準値+4.6%
②	鉄道駅1日乗降客数	36,477人(H18)	45,300人(H24)	41,128人(H24) 対基準値+12.8%
③	エコシール受取枚数	40万枚(H18)	50万枚(H24)	推計719,193枚(H24) 対基準値+79.8%

第1期のプラス要素

- ・はしご酒などの飲食イベントや空き店舗を活用した店舗誘致により、夜間の歩行者通行量は増加した。また、空き店舗数の増加に歯止めがかかった。
- ・国の支援を受けた民間のマンション建設事業が実施されたことにより、居住人口が下支えされた。
- ・竹生線・桜城址公園の整備や歩行者ITS推進事業など、都市基盤が着実に整備された。

第1期のマイナス要素

- ・10件の進出を期待していた商業サービス機能誘致奨励事業が景気低迷等の影響もあって4件に留まった。
- ・景気低迷等により事業所の一部が撤退しており、主要ビルの業務床空室率の悪化と昼間人口の減少が見られた。

第1期中心市街地活性化基本計画事業の実施状況

①「市街地の整備改善」に関する事業(28事業)

事業名	達成状況
(都) 豊田則定線整備	完了
竹生線整備	完了
市道吹上天神線整備	完了
市道神明線整備	完了
市道中町線整備	完了
高質環境道路整備	完了
まちづくり活動支援事業	実施中
まちづくり事業活用調査	実施中
冬の魅力創出事業	実施中
サイン施設整備	完了
桜城址公園再整備事業	完了
安永川環境整備事業	実施中
花のあるまちづくり事業	完了
(仮) 豊田市駅前通り北地区市街地整備事業	実施中
(仮) 西町地区都市再生事業【調査及び計画策定】	未実施
生活・回遊空間整備事業	未実施
国道155号歩道整備検討事業	実施中
歩行者・自転車道環境整備事業【調査及び計画策定】	実施中
(仮) 名鉄豊田市駅総合整備事業	未実施
無電柱化事業	実施中
屋上・壁面緑化支援事業	実施中
ユニバーサルデザイン整備事業	完了
フラワーロード事業	実施中
緑化推進事業	実施中
緑陰歩道リニューアル事業【調査及び計画策定】	未実施
豊田市駅周辺緑化推進事業	実施中
市道十塚八幡線整備	実施中
市道蔵前陣中線整備	実施中

②「都市施設の整備活用」に関する事業(8事業)

事業名	達成状況
ウェルカムセンター機能整備事業	未実施
産業文化センター駐車場整備事業	未実施
産業文化センターリニューアル事業	完了
とよたグローバルスクエアの活用	実施中
(仮) 中央保健センター環境整備(東庁舎)	完了
とよた子どもの権利相談室事業	実施中
(仮) 武道館・サブホール建設事業	完了
(仮) 文化交流センター整備事業【調査及び計画策定】	未実施

③「まちなか居住の推進」に関する事業(5事業)

事業名	達成状況
中心市街地共同住宅供給事業	実施中
地域優良賃貸住宅整備事業	実施中
住宅団地整備費補助	実施中
分譲・賃貸共同住宅建設費補助	実施中
豊田小坂本町三丁目地区優良建築物整備事業	完了

④「商業の活性化」に関する事業(15事業)

事業名	達成状況
豊田シティセンターマネジメント(TCCM)の強化	実施中
飲食店ストリート構築事業	実施中
大規模小売店舗立地法の特例区域の設定の要請	完了
まちづくり活動支援センターの活用	実施中
豊田おいでんまつりのリニューアル	実施中
ショッピングカート事業	実施中
空き店舗マッチングシステム	実施中
周年イベントの活性化	実施中
西桜町通り商業集積再生事業【調査及び計画策定】	実施中
老舗街道づくり推進事業	実施中
一店逸品運動	完了
中心市街地まちなか宣伝事業	実施中
商業活性化推進交付金	実施中
商業業務機能誘致奨励事業	実施中
商店街エコフレンドリー事業	実施中

⑤「アクセシビリティ・回遊性の向上(交通関係)」に関する事業(15事業)

事業名	達成状況
豊田市駅西口バス待合施設整備事業	未実施
豊田市駅東口駅前広場整備事業【調査及び計画策定】	実施中
(仮) 公共交通機関利用促進事業	実施中
フリーパーキング事業	実施中
地域公共交通ICカード導入事業	未実施
歩行者ITS推進事業	完了
基幹バス路線の充実	完了
共同荷捌き駐車場整備事業	完了
ゾーン交通規制推進事業	実施中
イベント時都心駐車場有効活用事業	完了
駐車場利便性向上事業(ITS車載器実用化推進事業)	完了
カーナビと連携した安全運転支援事業	完了
パーソナルモビリティ導入事業【調査及び計画策定】	実施中
カーシェアリング推進事業	完了
新たな公共交通システム導入事業	未実施

第1期計画71事業…「完了」=23事業、「実施中」=38事業、「未実施」=10事業



豊田市中心市街地活性化基本計画 ~第2期計画(H25.4~H30.3)~

豊田市より資料提供

目指す将来像

緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創造

重点テーマ

活力 活力とにぎわいの創出

交通 先進的な交通モデルを体感できる
中心市街地の実現

環境 緑に包まれた中心市街地の実現



第2期中心市街地活性化基本計画策定にあたっての重要課題

社会情勢の変化、中心市街地内部の変化、市民の声、第1期計画の検証結果を踏まえ、今後の中心市街地活性化を図る上で重要となる課題を4つ抽出した。これに対して課題解決型の計画づくりを行い、戦略的・効果的な施策展開を進める。

第1期計画の検証

- ・商業者による集客イベントや空き店舗活用が夜間歩行者通行量に貢献
- ・景気低迷の中、鉄道乗降客数は堅調だが歩行者通行量は伸び悩み

社会情勢の変化

- ・少子高齢化の進行によって生活圏、余暇時間、消費動向等が変化
- ・リーマンショック以降の景気低迷と厳しい財政運営

中心市街地内部の変化

- ・商業者の約半数は60歳以上で高齢化が進行。今後は空き店舗増加の懸念あり
- ・居住人口の回復が見られたが近年は低迷

市民の声

- ・来街目的のうち、買い物が低下し、飲食・喫茶が増加
- ・ただし、買い物施設の充実に関する期待が高い
- ・来街頻度の低下が見られる

重要課題

課題1 買い物拠点としての魅力不足

- ・来街者の3分の1が買い物目的だが現状に不満
- ・飲食・サービス店舗の増加に対して物販は減少

課題2 時間消費型の都市機能が不十分

- ・娯楽施設がなく充実を求める声が多い
- ・ゆっくり過ごす場所、まちの面白さが不十分

課題3 昼間人口・夜間人口が伸び悩み

- ・業務床の空室率が増加し、平日歩行者通行量が低迷
- ・居住人口の増加が近年は伸び悩み

課題4 都市空間の快適さ・演出が不足

- ・高齢社会に対応した歩きやすいまちづくりの必要性
- ・憩える空間の整備や楽しいまち演出が不十分

第2期中心市街地活性化基本計画の基本コンセプト

基本コンセプト 1 「まちなか・魅力・再発見」

まちなかの「既存資源」を最大限に活かすことによる中心市街地の魅力づくりに取り組む。
ビッグイベントと地域商業の連携、公共スペースの有効活用、まちの特色・文化の発信等を強化し、「行きたくなるまち」「来て楽しいまち」を目指す。

基本コンセプト 2 「未来へつなぐ・まちづくり」

将来にわたってまちの都市機能を確保し、持続的な発展を図っていくため、再開発や緑化など必要な都市基盤整備を推進する。
また、活発な投資を誘導するため、的確な情報収集に基づく戦略的な施策展開(エリアマネジメント)を強化する。

第2期中心市街地活性化基本計画の目標指標

第2期計画が目指す目標指標について、歩行者通行量に関する2指標と居住人口に関する1指標の計3指標を設定した。第1期計画で伸び悩んだ歩行者通行量の改善と、まちの活性化において基礎体力ともいえる居住人口の増加に取り組む。

目標	目標指標	基準値	目標値	実績値(最新値)
①	平日歩行者通行量	72,230人(H23)	73,820人(H29)	83,673人(H29) 対基準値+15.8%
②	休日の歩行者通行量	63,094人(H23)	65,970人(H29)	72,195人(H29) 対基準値+14.4%
③	居住人口	12,715人(H23)	13,140人(H29)	13,398人(H29) 対基準値+5.4%

第2期中心市街地活性化基本計画の区域と事業



多核ネットワーク型都市構造の豊田市の中心に位置づけられる「都心エリア(500ha)」のうち、市街地の整備改善や商業の活性化などに重点的に取り組むエリアとして、第1期計画に引き続き196haを「中心市街地」に設定する。
平成25年度から平成29年度までの5年間で第2期計画の期間として、中心市街地の活性化に向けた事業を展開し、将来像としている「緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創造」の実現を図る。

市街地の整備改善

1. 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業*
2. 無電柱化事業
3. 市道蔵前陣中線整備事業
4. グリーンプロムナード事業*
5. 民有地緑化支援事業*
6. 市道戸塚八幡線整備事業
7. 豊田市駅東口駅前広場整備事業

都市施設の整備活用

- 【再掲】1. 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業*
8. 低炭素社会モデル地区整備事業*
 9. ウェルカムセンター機能整備事業
 10. 都心公共施設活性化事業

まちなか居住の推進

- 【再掲】1. 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業
11. 地域優良賃貸住宅整備費補助事業
 12. 住宅団地整備費補助事業

商業の活性化

- 【再掲】1. 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業
13. 大規模小売店舗立地法の特例地区の設定の要請
 14. 豊田おいでんまつり事業
 15. 中心市街地イルミネーション事業
 16. 商店街賑わい創出支援事業
 17. 空き店舗活用支援事業
 18. 竹生線沿線商業魅力化推進事業*
 19. 西桜町地区商業まちづくり推進事業*
 20. ペDESTリアンデッキ活用事業
 21. 商業者まちづくり活動支援センター再整備事業
 22. まちなか賑わい・回遊性向上事業*
 23. 西町小路商業活性化・環境整備事業
 24. 商業・サービス機能誘致奨励事業*
 25. まちなかオフィス等誘致・新規雇用促進事業*
 26. NPO等連携事業
 37. 中心市街地テナントミックス整備事業
 38. まちなかコミュニティ施設整備事業

アクセシビリティ・回遊性の向上(交通関係)

27. ゾーン交通規制推進事業
28. マルチモビリティ共同利用システム構築事業*
29. 基幹バス路線運行事業
30. 共通ICカード導入事業
31. 歩行者・公共交通優先エリア推進事業
32. 豊田市駅バスターミナル施設整備事業*
33. EV・PHV充電施設整備活用事業
34. 名鉄豊田市駅耐震化事業
35. 公共空地活用等研究事業*
36. フリーパーキング再整備事業*

【*】は基幹事業



豊田市中心市街地活性化基本計画 ～第3期計画(H30.4～H35.3)～

豊田市より資料提供

目指す将来像

緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創造

重点テーマ

活力 活力とにぎわいの創出

交通 先進的な交通モデルを体感できる
中心市街地の実現

環境 緑に包まれた中心市街地の実現



第3期中心市街地活性化基本計画の目標の設定

中心市街地の現状、市民の声、今後の社会情勢、及び第2期計画の検証結果を踏まえ、中心市街地の今後のさらなる活性化に向けた2つの目標を設定。この2つの目標への対応を念頭に置き、総合的・効果的な施策展開を図っていく。

【中心市街地の現状】

- 商業施設、居住施設等複合施設が整備され、時間消費型の都市機能が充実した。
- 居住人口は増加したが、高齢化が進行している。
- 頻りに来街する市民の割合が減少傾向にある。
- 周辺市町に大型商業施設が開店している。
- 早朝や夜間の通勤・通学者が増加しているもの、昼間の歩行者通行量が伸び悩んでいる。

【市民の声】

- 中心市街地への満足度が低下傾向
- 「買い物に便利な駐輪場、駐車場」への期待
- 人との交流やにぎわいのあるまちへの期待

【今後の社会情勢】

- 平成31(2019)年 ラグビーワールドカップ
- 平成32(2020)年 東京オリンピックパラリンピック
- FIFAワールドカップ
- アジア競技大会
- 平成38(2026)年 アジア競技大会
- 平成39(2027)年 リニア中央新幹線開業

目標

1 まちなかにぎわい創出

- 歩行者通行量は、早朝や夜間の通勤・通学者が増加しているもの、昼間の回遊者が伸び悩んでいる。
- 市民へのニーズ調査によると、約8割が自動車で来街しており、自動車利用者の利便性を高めつつ、まちなかの魅力を高め、来街の促進を図る必要がある。

2 公民連携による活性化

- まちづくりの担い手を育成し、持続的なエリアマネジメントを推進するため、公共的空間の一層の活用を含め、公民連携による活性化事業を展開していく必要がある。

【第2期計画の検証結果】

- 歩行者通行量(平日・休日)の増加 ・居住人口の増加
- 多様な主体によってまちづくり事業が展開されているが、民間事業者が独自に収益を生みだすことや、収益をまちに再投資することが難しい状況

第3期中心市街地活性化基本計画の基本コンセプト

基本コンセプト 1 「まちなか・魅力・再発見」

まちなかの「既存資源」を、新しい発想と創意工夫を持って最大限に活かし、持続的な中心市街地活性化を図る。例えば、集客の核施設であるシネマコンプレックスと商業施設との連携、公共スペースの有効活用、まちの特色・文化の発信等を強化し、まちの魅力づくりに取り組む。

基本コンセプト 2 「未来へつなぐ・市民が主役のまちづくり」

将来にわたってまちの都市機能を確保し、持続的な発展を図るため、公民一体となったまちづくりを推進する。多様な主体による広場活用や、まちづくり事業での収益が再投資されるなどの仕組づくり等に取組む。

第3期中心市街地活性化基本計画の目標指標

第3期計画が目指す目標指標について、「目標1 まちなかにぎわい創出」に対しては「歩行者通行量(昼間9～17時)」及び「フリーパーキング対象駐車場の総利用時間」の2指標を設定。「目標2 公民連携による活性化」に対しては「公共的空間の利用率」を設定し、公共的空間の更なる活用を図っていく。

目標	指標	指標内容	基準値 (H28)	増減	目標値 (H34)
目標1 まちなかにぎわい創出	指標1	歩行者通行量(昼間9～17時)	31,507人	約3.4%増	32,584人/日
	指標2	フリーパーキング対象駐車場の総利用時間	601万台・時間	約16.5%増	700万台・時間
目標2 公民連携による活性化	指標3	公共的空間の利用率	27.2%	約34.2%増	36.5%

第3期中心市街地活性化基本計画の区域と事業



豊田市の都心エリア(500ha)のうち、市街地の整備改善や商業の活性化などに重点的に取り組むエリアとして、第2期計画に引き続き196haを「中心市街地」に設定。第3期計画では、平成30年度から平成34年度までの5年間で計画期間として、「市街地の整備改善」、「都市施設の整備活用」、「まちなか居住の推進」、「商業の活性化」、「アクセシビリティ・回遊性の向上」の5つの施策群を設定し、計37事業を展開。

市街地の整備改善

- 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業
- 豊田市駅東口駅前広場整備事業
- 新豊田駅東口駅前広場整備事業* (1)
- 豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業* (1)
- 都心地区新設サイン整備事業
- 市道西町若宮線歩車共存道路整備事業
- 自転車走行ルートの整備事業
- 民有地緑化支援事業
- 新豊田駅西口駅前広場整備事業
- 緑と花につつまれた都心創出事業

都市施設の整備活用

- 低炭素社会モデル地区整備事業* (1)
- まちなか案内機能整備事業
- 都心公共施設活性化事業
- 博物館整備事業
- ものづくり創造拠点運営事業

まちなか居住の推進

- 地域優良賃貸住宅整備費補助事業
- 住宅団地整備費補助事業

商業の活性化

- 中心市街地テナントミックス整備事業
- まちなか案内事業
- エリアマネジメント推進組織(一社)TCCM)によるまちづくり及びプロモーション事業* (2)
- 豊田おいでんまつり事業
- 中心市街地イルミネーション事業
- 商店街にぎわい創出支援事業* (1)
- 空き店舗等活用事業
- まちなかにぎわい・回遊性向上事業* (1)
- 商業・サービス機能誘致奨励事業
- まちなかコミュニティ施設連携事業* (1)
- 公共空間等整備事業* (1)
- まちなかエリア新規創業相談・支援事業

アクセシビリティ・回遊性の向上(交通関係)

- バスルート改編に伴うバス停整備事業
- 豊田市駅バスターミナル施設整備事業
- 基幹バス路線運行事業
- 公共的空間活用等研究事業* (2)
- ゾーン交通規制推進事業
- マルチモビリティ共同利用システム構築事業
- 名鉄豊田市駅耐震化事業
- 駐車場利便性向上事業* (1)

※赤字の事業は主に民間事業者が行う事業。
※各事業の末に記載された数字はそれぞれ、
(1) まちなかにぎわいの創出
(2) 公民連携による活性化の主要事業に該当する事業。

【*】は基幹事業

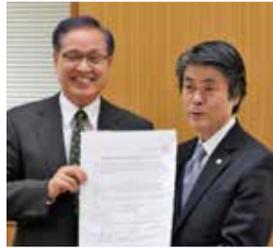


豊田市中心市街地活性化協議会・TCCMの運営

豊田商工会議所より資料提供

中心市街地活性化協議会とは、中心市街地に関わる多種多様な関係者で構成された法定組織で、中心市街地活性化に関する事業の総合調整や事業の推進及び自治体の策定する「中心市街地活性化基本計画」に対する意見表明・実効性に寄与するなど、まちづくりを総合的に推進する組織として、平成18年8月22日に改正施行された「中心市街地の活性化に関する法律」に基づいて組織される団体。豊田市中心市街地活性化協議会は愛知県下では初の協議会として平成18年10月10日に設立発会(全国では9番目)し、会長は豊田商工会議所の会頭が歴任中である。

豊田市中心市街地活性化協議会 会長	初代	渡辺 祥二(平成18年10月10日～平成22年12月1日)
	二代	三宅 英臣(平成22年12月16日～)



平成29年度豊田市中心市街地活性化協議会活動報告

会議実績

平成29年度は全体会3回及び役員・幹事合同会議を5回開催し、認定基本計画の進捗について報告するとともに、都心環境計画と連携することで当協議会との整合性を図り、中活事業の円滑な推進に努めた。また、第3期中活基本計画の内閣府認定に向け、事業内容について協議・提案を行うとともに、意見書を提出した。

主な活動概要

- 「中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議」による中心市街地のコア集客施設について課題の整理、将来に向けた各施設機能向上のための整備事業進捗管理、来街者アンケートの実施
- 第3期中心市街地活性化基本計画策定に向けての協議及び、意見書の提出(平成30年1月)
- 第3期中心市街地活性化基本計画の認定支援(平成30年3月認定)

全体会

開催月日	会場	主な協議内容等	出席者数
第30回全体会 平成29年5月26日	豊田商工会議所 4F特別会議室	【報告事項】 平成28年度事業報告・収支決算の承認について 第2期中心市街地活性化基本計画事業の進捗について 【協議事項】 平成29年度事業計画・収支予算の承認について (一社)TCCMの取組みについて	65名 オブザーバー他含
第31回全体会 平成29年11月10日		【報告事項】 KITARAオープニング(あそべるとよた4DAYS)について とよたまちなかこどもタウンについて (一社)TCCM事業進捗について	63名 オブザーバー他含
第32回全体会 平成30年1月30日		【承認事項】 規約の変更について 【確認事項】 第3期中心市街地活性化基本計画について 豊田市へ第3期中心市街地活性化基本計画の意見書提出	60名 オブザーバー他含

役員・幹事合同会議

開催月日	会場	主な協議内容等	出席者数
第27回会議 平成29年4月5日	豊田商工会議所 401会議室	(一社)TCCMの設立について 都心の賑わい創出事業について(エリマネ・あそべるとよた4DAYS)	20名 説明者含む
第28回会議 平成29年5月26日		平成28年度事業計画・収支予算の承認について 平成29年度事業計画・収支予算の承認について	18名 説明者含む
第29回会議 平成29年11月6日		第3期 中心市街地活性化基本計画について	17名 説明者含む
第30回会議 平成29年11月30日		KITARAオープニング(あそべるとよた4DAYS)について とよたまちなかこどもタウンについて	20名 説明者含む
第31回会議 平成30年1月30日		第3期 中心市街地活性化基本計画について 第3期 中心市街地活性化基本計画の豊田市への意見書提出について	17名 説明者含む

中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議

開催月日	会場	主な協議内容等	出席者数
第1回全体会 平成29年4月27日	T-FACE B館 8階 大会議室	・各商業施設の整備事業状況報告他 ・社会シミュレーション実験「まちなかこどもタウン(仮称)」について	17名
第2回全体会 平成29年10月16日		・各商業施設の整備事業状況報告・売上達成の進捗報告 ・社会シミュレーション実験「まちなかこどもタウン」進捗について	18名

(独)中小企業基盤整備機構 サポート事業

開催月日	会場	主な協議内容等	出席者数
平成29年5月19日～ 全6回	豊田商工会議所 会議室	ウェルカムセンター構想にかかるワークショップ等 ・講師:伊藤大海氏、藤田とし子氏、安藤大輔氏	各回約20名

平成29年度(一社)TCCM等活動報告

会議実績

(一社)TCCM役員会を5回・社員総会を1回開催し法人としての運営基盤構築に取組んだ。月例の推進会議・事務局会議を12回開催して、官民連携による中活基本計画の推進と情報共有に努めるとともに、持続的な民間投資推進を目指した事業の啓発に取組んだ。

主な活動概要

- 経済産業省「商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略補助金)」の採択を受け、専門人材を配置し、事業を推進。
- 認定基本計画進捗に向けて、主に民間が事業主体となる個別事業推進の取組み。
- 公共空間(公園、公共施設)を活用したマーケット「STREET&PARK MARKET@桜城址公園」、『MUSEUM MARKET@豊田市美術館』、『アトリウムパーラー@参観館』を豊田市中心市街地活性化協議会主催のもと、豊田市後援、及びエリア自治体の協力を得て運営・開催。
- KITARAオープンに伴いあそべるとよた4DAYSの事務委託、また、来街者のインフォメーション施設「THE CONTAINER NISHIMACHI 6」、複合的なおもてなし施設「レストえきまえ」のオープンによる運営管理。
- 全国エリアマネジメントネットワークに参画し全国規模での情報を共有するとともに、当中活エリアの価値向上に向けマネジメント手法及び当地域の現状について関係機関との情報交換・報告等の実施。

TCCM定例・事務局会議

開催月日	会場	協議内容等	
平成29年4月～ 平成30年3月 定例会議(12回開催) 事務局会議	豊田商工会議所 305会議室他	①中活基本計画事業の具体的な取組みについて ②公共空間活用事業について ③中小機構サポート事業実施内容について ④まちなかの魅力発信(空き店舗等活用)の推進について 他	
		主な議題	・主に民間が実施主体となる基本計画事業の包括的推進について ・中心市街地活性化に向けた下記事業の調査研究・取組推進について 「公共空地の活用」、「空き店舗対策」
		主な推進内容	①まちづくり事業(公共空間活用事業) ・KITARAオープンに合わせ「CAFÉ MARKET」開催 ・毎月第3土曜日「STREET&PARK MARKET」を開催 ・4・5月、7～9月、11月「MUSEUM MARKET」を豊田市美術館にて開催 ・7～9月「アトリウムパーラー」を参観館アトリウムにて開催 ・ウェルカムセンター「THE CONTAINER N6」のオープン ②プロモーション事業(情報発信事業) ・豊田市中心市街地まちなか宣伝会議事業の主管 (まちなかサポーター店、まちパワーフェスタへの支援) ③収益事業(受託事業・事務局業務) ・「あそべるとよた4DAYS」の受託(アニメFES、ベジデコ講演会等) ・豊田市駅前バス待合所「レストえきまえ」のオープン ④その他空き店舗マッチング等 ⑤あそべるとよた推進協議会準備会への参加

研修会等への参加

開催月日	場所	研修内容等	出席者数
平成29年11月2日	東京都	広場活用にかかわる先進地視察(大手町ファーストスクエア/中野セントラルパーク)	12名
平成29年11月17日	伊勢商工会議所	中部中心市街地ネットワーク会議イン伊勢に参加	6名
平成30年2月2日	東京都	全国エリアマネジメントネットワーク会議with都市再生推進法人等会議	6名
平成30年2月13日	東海市	都市再生推進法人先進地視察	8名
平成30年3月14日	福井市	都市再生推進法人先進地視察	4名

リノベーションまちづくり事業

平成28年8月3日(水)

『CONTENTS nishimachi(コンテンツニシマチ)』開業
【豊田市の民間家守会社】株式会社STREET&PARK PROJECTが運営
地域住民と連携して、空き店舗や空きビルをリノベーションし、その地域の起業家や事業者などを入居させ、新しい産業やにぎわいを起こして、地域を活性化しようとするを目的としている。空き家の再生だけでなく「まちの再生」を目指し、収益は、さらなるまちの再生に投資していく。

【出店者 ※平成28年度末より】

- ◆SOUP+CURRY STAND Little Cockoo(スープ+カレースタンド リトルクックー)
・地元野菜を中心に全国から食材をセレクトし、モーニングやランチのテイクアウトメイン(イートインもあり)のカフェ。ここから人と人が繋がりができ、豊田の街を散策する為のスタートとなる場所を目指す。

- ◆パン工房 Riso(リソ)
・毎日焼き立てパンがその場で食べられる(イートインスペースあり)パン屋。

- ◆橋ノ下舎(ハシノシタセンター)
・民謡や木遣り唄(きやり)、お囃子など橋の下世界音楽祭にかかわる伝統芸能のライブや交流の場。
・民謡や木遣り唄親子リズム教室、お座敷映画上映会、寄席の開催。
・ギャラリーや展示会などのスペース。
・TURTLE ISLANDをはじめ橋の下世界音楽祭出演者のグッズ販売。

所 在 : 豊田市西町2丁目8番地
建 物 : 木造2階建て1棟
面 積 : 189.7㎡(57.4坪) ※延床面積
運 営 : (株)STREET&PARK PROJECT





目的

郊外の大規模商業施設出店の脅威に対応するため、中心市街地におけるコア集客施設の機能・役割および商業面のブランドコンセプトを策定し、不足している高感度なブランド及び業種・業態の店舗・機能を誘致、もしくは施設全体のイメージ向上に寄与する整備を行い、まちの賑わい創出と商業活性化を推進する。

プロジェクトメンバー(施設名)

(株)大丸松坂屋百貨店(松坂屋 豊田店)	豊田市駅前開発(株)(GAZA専門店街)	トヨタ生活協同組合(メグリアセントレ)
豊田市駅前開発(株)(豊田参合館)	豊田市駅前通り南開発(株)(コモ・スクエア)	豊田市商業連合協同組合
豊田喜多町開発(株)(KITARA)	カシマゴビルディング(株)(VITS豊田タウン)	豊田まちづくり(株)(T-FACE)
名古屋鉄道(株)(名鉄豊田プラザ)	トヨタ自動車(株)	事務局:豊田商工会議所・豊田まちづくり(株)

平成26年度の活動実績

第一期整備事業 豊田市駅西口市街地再開発ビルB館2階フロア改修

2駅に挟まれた主動線立地の強みを活かし、会社帰りのOL、ヤングアダルト、学生をメインターゲットに、「ライフスタイル機能」で日常の感度を追求する生活提案型施設として整備した。

事業主体	豊田まちづくり(株)
実施日	オープン日 平成27年3月6日(金) (工期 平成27年1月19日~3月5日)
特徴	国(経済産業省)の「平成26年度中心市街地再興戦略事業費補助金」を活用。
内容	①ファサード・エントランスの改修 ②まちなかインフォメーションの設置 ③フロア内環境整備 ④旬なテナントの導入



平成27年度の活動実績

①豊田市駅西口市街地再開発ビルトイレの安心安全機能向上に関する改修事業

事業主体	豊田まちづくり(株)
期間	平成27年3月30日~10月30日(工期 平成27年8月3日~9月30日)
内容	安心安全機能を向上させるため、トイレ老朽化の改修とバリアフリー化を目的としたT-FACE4箇所のトイレ改修を実施。 A館9階...子育てパパママにとって、子連れでも安心して使えるトイレ A館8階...老朽化と暗い怖いの対応改修 B館6階...大きな荷物を持った来店客でも安全に用を足せるトイレ B館1階シニアプラザ...老朽化と暗い怖いの改善、夜も安全に使えるトイレ



②コモ・スクエア ダイレクトイン改修事業

事業主体	豊田市駅前通り南開発(株)該当テナント(プロント)
期間	平成28年2月15日~2月29日(工期同様)
内容	豊田市駅前通り南地区市街地再開発ビル「コモ・スクエア」1階外側店舗の接触率と視認性を向上させるため、WEST棟既存テナント(カフェレストラン)の駅前通り側に出入口を設置。併せて内装の刷新も実施。



③豊田市駅西口市街地再開発ビルA館2階(松坂屋) 客用トイレ改修事業

事業主体	豊田まちづくり(株)、(株)大丸松坂屋百貨店
期間	平成28年1月8日~3月31日(工期 平成28年2月5日~3月20日)
特徴	豊田市の「平成27年度豊田中小企業団体等事業費補助金 公共空間等整備事業」を活用。
内容	様々な来街者にとって使い易く、安心で快適な満足度の高い、エリアNo.1のトイレに改修。(老朽化した客用トイレ及び隣接する従業員用トイレならびに休憩室を全面客用トイレに改修)



平成28年度の活動実績

「豊田市中心市街地テナントミックス再構築調査・検証業務」に基づいた各施設の整備事業の実施

①豊田市駅西口市街地再開発ビルA館1階(松坂屋) 客用トイレ改修事業(事業方針:おもてなし機能向上)

事業主体	豊田まちづくり(株)、(株)大丸松坂屋百貨店
共用開始	平成28年7月26日(工期 平成28年5月10日~7月25日)
内容	様々な形態の来街者にとって使い易く、安心で快適な満足度の高いトイレに改修。特に食品売り場、1階である点を鑑み、衛生不衛生の分離と広めの個室完備をポイントに改修。



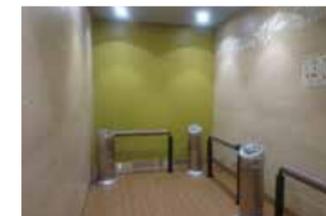
②豊田コミュニケーションスペース「ザ・プレミアムビアガーデン豊田」の誘致開業(事業方針:不足業種導入)

事業主体	豊田まちづくり(株)が契約するテナント
営業期間	平成28年7月25日~毎年夏期のみ営業
内容	屋上の空床地の活用として、A館T-FACE9階とよた子育て総合支援センターとの連動を図りながら、「コミュニティスペース」としての機能を持った豊田市中心市街地の不足業種であるビアガーデンをオープンさせた。



③喫煙室(スモークングルーム)の開設(事業方針:おもてなし機能向上)

事業主体	豊田まちづくり(株)
共用開始	平成29年3月10日(工期 平成29年2月13日~2月20日)
内容	T-FACE館内での喫煙室新規設置



来街者調査

平成27年度~28年度の各社テナントミックス計画に基づく事業に対する効果測定として、来街者調査を実施。

実施期間 平成28年11月4日(金)~6日(日) 11:00~18:00 サンプル数 各200名サンプル、合計1,000の有効回答数

調査地点 松坂屋・T-FACE・GAZAメグリアセントレ・コモスクエア・参合館の5箇所

1 利用意向と利用の増減・満足度について

- 商業施設の利用意向と利用頻度は改善が見られるものの、利用に対する満足度は低下。積極的な利用とは言えず、改善が必須。
- 「施設環境」は平均5割を超える満足度を得て、平成25年度時同様の満足を得られた。
- 「企画・情報」と「食品を除く商品」の満足度は2・3割程度しか得られず。特に「顧客サービス」が含まれる「企画情報」は満足度を低下させた。

2 利用者単位と買い回り性について

- いずれの施設も「一人」の利用が多く、時間消費より目的利用型の傾向。T-FACEは属性年齢別に利用ユニットが異なり、様々なニーズに对应している。
- 全体的に、平成25年度調査時より買い回り性が大きく低下した。
- 参合館の単独利用率が減少し改善が見られたが、他施設への買い回り率は増えていない。

3 他商業施設の利用状況実態について

- 利用施設は、松坂屋・T-FACEに次いで、アイモール三好の順に利用が多かった。その利用理由は一様に「ショップ・商品の種類が多い」に集中した。同回答は各利用施設の「満足度」と比較しても1割以上の差をもって圧倒的に評価が低い。

- ➡ ① 現在満足を得られていない「商品」の改善は、テナントミックスプラン実行と、各施設間の買い回りを促進させることで図る。それは同時に中心市街地以外で利用されている大型商業施設の対抗策となる。
- ② 「商品」に関することと同時に、販促企画の内容や情報発信力、情報量の改善が、全施設の急務課題となる。また、「顧客に対するサービス」の満足度はそのまま競合進出時の命綱の太さと言え、こちらも早急の改善が必要となる。
- ③ ①②より、各大型店同士の買上施策、双方向案内、顧客共有できるテナント・売場の合同PRなど合同販促に取組まれない。



平成29年度の活動実績

プロジェクト会議等の実施

- ①プロジェクト全体会議(4月27日・10月16日)
- ②大型店連携・共同事業全体会議内分科会(4月20日・6月22日・8月10日・10月16日・2月22日)

内 容 各施設のテナントミックス事業取組状況の確認、意見交換、社会実験「とよたまちなかこどもタウン」概要・結果 など

「豊田市中心市街地テナントミックス再構築調査・検証業務」に基づいた各施設の整備事業の実施

①社会実験「とよたまちなかこどもタウン」の実施(事業方針:不足業種導入・お客様回遊の動向調査)

事業主体 テナントミックス再構築プロジェクトメンバー、豊田市中央図書館、豊田市コンサートホール・能楽堂

事業の目的 まちの付加価値を向上させるため、子育て世代・三世代を取込みの有効性や可能性、在り方を探る

1. 中心市街地全体として、郊外SCとの差別化策を検証する。
2. 商業施設へのテナント誘致や、既存店業態開発の可能性を検証する。
3. 公共施設への子育て世代の集客と、中心市街地への波及効果を検証する。

開催日 平成29年11月3日(金祝)～10日(金)

実施内容

- ・テストマーケティングとしての店舗営業、既存店におけるファミリーターゲットの新規MDトライアル企画
- ・公共施設での有料イベント実施による成立性の検証

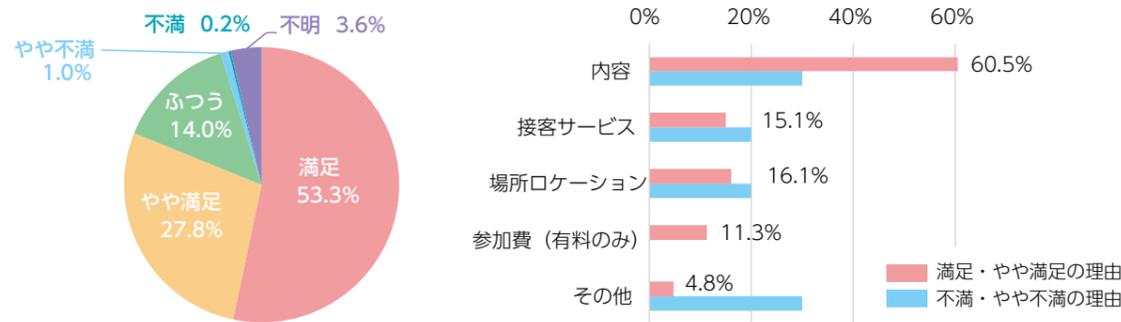
実施結果

- ・参加者総数:3,000人 ・期間中全日程で、まちなかの歩行者数は前年を上回った。(前年比105.8%)
- ・1店舗新規オープンにつながった。(A館T-FACE7階 おもちゃ屋さんの倉庫)
- ・空区画において、当該実施コンテンツを常設展開することにつながった。(GAZA3階 タイトー)

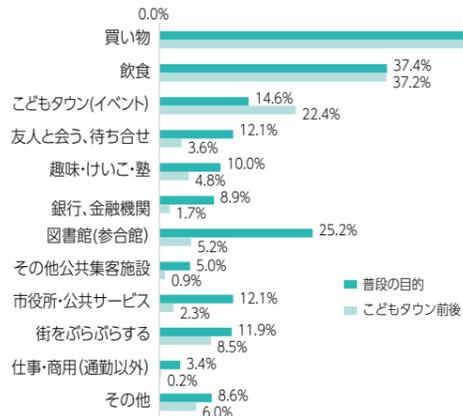
調査結果

〔経 済 効 果〕 館や施設間で差はあったものの、11/3～5の3日間で入店・買上客数の増加が見られた。
 〔来場者アンケート〕 有料無料に係らず、イベントや子育て世代向けサービスを欲している実態が分かった。
 また、こどもタウン前後に飲食や買物に繋がる傾向も高い結果が得られた。
 〔グループインタビュー〕 全般的に中心市街地への期待度は高く、今後、不足業種(ドラッグストア・家電・SM)の充足があれば客足が増えることが期待できる内容であった。

〔こどもタウン参加の満足度〕



〔普段とこどもタウン前後の回遊行動の変化〕



〔ニーズ把握〕

- ①店舗ニーズ
子ども対応の飲食店(座敷)/アレルギー対応(表記)ができていない飲食店
GAP/GU/文具/モールにあるような飲食店
化粧品/美容/ZARA/ハンドメイドのパーツショップ/H&M/スーパーの充実
ドラッグストア(スギ薬局)/スポーツ/電化製品
- ②機能・環境ニーズ
子どもの一時預かり(1時間)/身体を動かして遊べる場所/自由に使える公園
小学生(高学年)でも遊べる・中学生が遊べる場所/親の休憩所(あいあい)
子どもと一緒に休憩できるオープンスペース
あいあいの充実(遊具・カフェ)/子どもと一緒にエクササイズ
ベビーカーでアクセスしやすい環境、スロープや優先ELVなど。
イベント情報LINEやメルマガ/総合館の駐車残数表示/駅～美術館バス
夜の街イメージの軽減
- ③イベントについて
キッズ的なゴッコ遊び/女の子のフリーマーケット/駐車場隣接の会場
広場で体を使って遊ぶ/モリコロパークのパンマルシェ/Street&Park Market
イベント日は混んでいるから近づきたくない
イベントは充実しすぎている、むしろ日常的に遊ばせられる芝生広場



②GAZA お客様トイレの全面改修および授乳室・喫煙室の整備事業(おもてなし機能向上)

事業主体 豊田市駅東開発(株)

事業内容 GAZAビル1階・2階・3階の客用トイレの改修(計3箇所)

共用開始 平成29年12月17日～(工期 平成29年10月16日～12月16日)

目的 お客様満足度向上、及び集客効果と滞在時間の拡大

特徴 「豊田市中心企業団体等事業費補助金公共空間等整備事業」を活用

経過効果 2階には多目的トイレと喫煙スペースを、3階には授乳室を設置した。それぞれの設置により喫煙利用者は2倍に、授乳室及びトイレの利用者は1.5倍に改修前と比べて増加している。



③B館T-FACE6階 全面改装(バーチャルプラン)

事業主体 豊田まちづくり(株)

事業内容 B館T-FACE6階の店舗入替とフロア環境の改修

改装OPEN 平成30年3月2日(工期 平成30年1月15日～3月1日)

目的 年齢・性別にこだわらず、ビルの集客力の向上

特徴 豊田市森林課、「ウッドディーラーとよた」の協力を得て、フロア環境の一部に豊田市材を利用した。

経過効果 オープン来1ヶ月では、入店、買上客数の増加が見られている。単価において若干の減少が見られるが、店舗の入替による新テナントの認知不足とプライスゾーンの違いによる影響が大きい。今後の営業次第で客単価の伸びは期待できる。テナントでは、8店舗中5店舗の三河地区初出店店舗を導入した。



会社について

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市の取組み

その他

資料



事業背景

豊田市では、第2期及び第3期中心市街地活性化基本計画において「公共空地活用等研究事業」を掲げ、公共空間の活用を推進している。
さらに、都心の賑わい創出を目的に、都心環境計画の策定を行っており、「公共空間の再整備」と「公共空間の活用」を両輪とした総合的な計画を目指している。

事業目的

- 公共空間における賑わい創出のための活用の促進を図る。
- 魅力的な界隈形成によりまち歩きを楽しさを創出し回遊性の向上を図る。

開催概要

- 豊田市中心市街地の新しいコンテンツとして、桜城址公園など公共空間や遊休地を活用し、様々な店舗が集結するイベント「STREET&PARK MARKET」を官民共同で定期的に開催する。

STREET&PARK MARKET

■ 会場：桜城址公園 ■ 開催：月1回/毎月第3土曜日10:00～15:00

MUSEUM MARKET

■ 会場：豊田市美術館庭園 ■ 開催：年2回

SANGOHKAN ATRIUM

■ 会場：参合館 ■ 開催：平成29年2月・8月

組織

主催	豊田市中心市街地活性化協議会	
運営・企画	一般社団法人TCCM	
	会場使用調整、許認可 豊田市	空間演出・装飾/媒体デザイン 豊田建築ネットワーク・民間事業者

STREET&PARK MARKET (会場：桜城址公園)



MUSEUM MARKET (会場：豊田市美術館前庭)





豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

(一社) TCCMより資料提供

設立の経緯と目的

豊田市中心市街地において事業を展開する商業施設・商店街・集客施設・行政関係者が、毎月1回意見交換・情報交換をするための任意会議体として平成15年8月設立。各企業・団体の販促・宣伝担当を構成メンバーとし、官民一体となった共同事業を展開している。

- 目的
- ① 中心市街地への来街促進を図る。
 - ② 中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信・提言する。
 - ③ 中心市街地イベント事業への提言・連携的取組みを模索する。

主な内容

- 構成メンバー各位の事業スケジュールの情報交換・情報共有
- 共同事業の企画・実行(集客事業・情報発信事業等)
- 構成メンバー各位の持ち寄り事項の協議・策定

構成メンバー 33企業・団体(H30年4月6日現在)

(株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋豊田店/T-FACE会/トヨタ生活協同組合/豊田市駅東開発(株)/カシマゴビルディング(株)/(株)豊田スタジアム/トヨタ自動車(株)/豊田まちづくり(株)/(株)名鉄トヨタホテル/ひまわりネットワーク(株)/豊田市商業連合(協)/豊田市美術館/豊田市コンサートホール・能楽堂/豊田商工会議所/豊田市近代の産業とくらし発見館/豊田市駅前通り南開発(株)/(株)ホテル豊田キャッスル/アイレックススポーツライフ(株)/トヨタすまいるライフ(株)/(公財)豊田市体育協会/豊田産業文化センター(とよた科学体験館)/(公財)豊田市国際交流協会/あいち豊田農業(協)/豊田市民文化会館/名古屋鉄道(株)/エフエムとよた(株)/(株)名古屋グランパスエイト/豊田中央図書館/とよたEcofulTown/豊田市駅前開発(株)/イオンエンターテイメント(株)/豊田喜多町開発(株)/(一社)TCCM ※事務局

主な活動実績

- **まちなかトピックス(H15.10~H17.9)**
※とよたまちなかガイドブックへ移行
共通フォーマットの広告モデル作成と構成メンバー発行の印刷媒体へ相互掲載
- **グルメクーポン(H15.11~H23.3)**
※まちなかサポーター店へ移行
構成メンバー施設の催事期間におけるまちなか飲食店のサービスクーポン等の配布
- **とよたまちパワーフェスタ(H16.3~)**
中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信する共同集客イベント ※春・秋開催。H23年度から春1回の開催
- **まちなかWEB(H17.9~)**
<http://www.toyota-machinaka.com/>
中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信するホームページ(商品・催事の情報発信)
- **まちなか情報誌「とよたまちなかガイドブック」(H17.9~H23.3)**
※とよたまちなか通信へと移行
まちパワーフェスタ開催に併せたフェア・セール・トピックスの掲載、オリジナル情報誌の発行
- **まちなかイメージアップ・CI活動(H19.12~H23.6)**
※まちなか連携情報発信へ移行
中心市街地のイメージアップのための啓発ポスターの作成など
- **とよた元気プロジェクト「WE LOVE とよた」への参画(H21.3~)**
まちパワーフェスタ同時開催(地産地消キャンペーンイベント「オールとよたまちなか商ルーム」の実施など)
- **まちパワーmini(H22.6~)**
既存事業の期間を埋める、継続的なミニイベント・参画ネットワークづくり ※年間3~4回程度の開催
- **まちなか掲示板「まちなかボード」(H22.12~H26.12)**
※旧おいでんビル取り壊しにつき終了
旧おいでんビル壁面に構成メンバーの情報を伝える掲示板を設置
- **まちなかカレンダー(H22.12~)**
構成メンバー事業情報を集約したカレンダー型掲示物の作成
- **まちなか連携情報発信(CI・VI発信)(H23.6~)**
構成メンバー事業等との連携したまちなかの装飾などのまちなかイメージアップ発信
- **まちなかサポーター店(H24.3~)**
まちなかの大型集客イベントに合わせた来街者へのおもてなし(チケット掲示で割引などの特典)
- **とよたまちなか通信(H24.7~H29.3)**
※まち宣PRESSから名称変更
中心市街地の魅力・機能とメンバー情報を市民・消費者に発信する情報紙
- **とよたまち里ミライ塾(H25.9~)**
※豊田市観光協会と共同開催により、とよたまちなか博覧会から名称変更
宣伝会議メンバーのオンパイク手法による小規模体験交流型プログラム開催
- **シビックプライド事業(H27.4~H29.3)**
女性による女性向けの中心市街地の魅力・機能とメンバー情報を市民・消費者に発信するマップ作り
- **豊田JAZZキャラバン(H27.5~)**
音楽を用いた中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信する共同集客、収益イベント
- **豊田まちなかシネチケdeサービス(H29.11~)**
イオンシネマ豊田KITARAでの映画鑑賞者へのおもてなし(チケット提示で割引などの特典)

平成29年度の主な活動実績

まちなか宣伝会議

□とよたまちパワーフェスタ2018春の開催 開催日:平成30年3月24日(土)・25日(日)



□豊田JAZZキャラバンの開催 開催日:平成29年5月28日(日)、10月8日(日)、11月12日(日)・15日(水)・25日(土)



□まちパワーフェスタminiの開催 「とよたハロウィンSHOW」 平成29年10月28日(土)



「いなかとまの文化祭」 平成29年11月25日(土)



□ホームページによる情報発信
まちなかWEB
www.toyota-machinaka.com

□シネチケdeサービスによる情報発信



□まちなかサポーター店による情報発信



会社について

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市の取組み

その他

資料



一般社団法人TCCMとエリアマネジメント

(一社) TCCMより資料提供

豊田市中心市街地活性化協議会・TCCM(豊田シティセンターマネジメント)は平成29年2月に法人格を取得し、『一般社団法人TCCM(以下、(一社)TCCM)』として公益性を持ったまちづくり組織として、中心市街地の活性化に向けたまちづくり事業を推進する。

(一社)TCCMの事業目的

地域住民・事業者等との連携のもと中心市街地の活性化をめざし**エリアマネジメント**の推進事業実施により自立した組織をめざすとともに、**事業収益を新たなまちづくり事業に還元**。

- ①まち・エリアの価値を維持・向上させるまちづくり事業の推進
- ②まちの賑わい・楽しさを創造し、魅力を発信するプロモーション事業の実施

(一社)TCCMの事業方針



まちづくり事業

- まち・エリアの価値を維持・向上させる事業
- ①リノベーションまちづくり事業
- ②公共空間の活用事業

都市再生推進法人指定後

- ③公共空間の運営・管理事業
(駅前広場、ペDESTリアンデッキ、停車場線社会実験等)

プロモーション事業

- まちの楽しみをつくる、魅力を発信する事業
- ①イベント・回遊性向上事業
- ②情報発信・インフォメーション事業

都市再生推進法人指定後

- ③広告事業
(公共空間活用、一括管理・統一窓口等)

(一社)TCCMの組織

設立時期:平成29年2月28日 一般社団法人TCCM設立
所在地:豊田市小坂本町1丁目25番地 豊田商工会議所4階
組織体制:平成30年4月1日現在

役職	主な役割	人数、位置づけ	氏名※敬称略
代表理事	組織の代表、事業統括	中活協副会長、豊田まちづくり(株)代表取締役社長	河木 照雄
理事	代表理事の補佐	中活協事務局長、商工会議所専務理事	三浦 司之
監事	理事の業務執行財産監査	中活協会長、商工会議所会頭	三宅 英臣
事業統括部長	事業の統括	豊田まちづくり(株)から出向	中井 久美
運営会議チーム	TCCM事業の推進・サポート・事務局業務	豊田市商業観光課、都市整備課 豊田商工会議所、豊田まちづくり(株)	各担当者

(一社)TCCMへの都市再生推進法人の指定

(一社)TCCMは地域のまちづくりを担う法人として豊田市より「**都市再生推進法人**」の指定を受ける。

指定日:平成30年2月23日

- 業務:①遊休不動産等の利活用と新たな事業者の発掘と支援 ④賑わい創出、回遊性向上等をめざすプロモーションの実施
- ②遊休不動産等の利活用に向けたプランニング
 - ③中心市街地の活性化に寄与する事業の提案と実施
 - ⑤都市利便増進協定にもとづく公共空間の運営・管理

(一社)TCCMの主な事業等

①まちづくり事業

- 公共空間の活用事業
- ・『STREET&PARK MARKET』の開催
- ・『MUSEUM MARKET』の開催
- ・『CAFÉ MARKET』の開催
- ・『SANGOHKAN ATRIUM(参合館アトリウム)』の開催
- ・ウエルカムセンター『THE CONTAINER N6』の開催



②プロモーション事業

- まちなか宣伝会議
- ・(一社)TCCMが主幹し、商業活性化3ヵ年計画を豊田市に提案し採択される。事務局業務も担う。

③収益事業

- 停車場線の活用実験事業『あそべるとよた 4DAYS』の企画・運営
- ・平成29年11月23~26日KITARAオープンに合わせ賑わい創出と道路空間等活用実験
- ・実行委員会(豊田市(経営戦略部、都市整備部、産業部)、(一社)TCCM)による事業



- 豊田市駅東口ペDESTリアンデッキ下 豊田市駅東口バス待合所『レストえきまえ』の運営管理
- ・バス待合、ハーモ受付、情報特産物コーナー、公衆トイレ、喫煙スペースの多機能施設の運営・管理





都心環境計画 H28年度～H39年度(2016年度～2027年度)

豊田市より資料提供

①目標と基本方針

目標
森と矢作川に育まれた
祝祭・交流空間の創造を目指す

① “まちを使う・体感する”
にぎわい交流拠点の創出

② “まちに行く・回遊する”
交通拠点の形成

③ “まちを知る・発信する”
情報拠点の創出

基本方針

方針1:来街機会を増やす魅力の創出 ① ③

具体方針	内容
①行ってみたいくなる魅力の創出	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な商業空間創出 各施設の整備により新たな魅力創出 来街者の印象に残る空間創出 人々が集う公共空間創出
②利便性の高い生活環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> 住みやすい環境創出 安全快適に外出できる交通環境形成
③風土・文化・芸術を身近に感じる演出	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域などの魅力を感じる演出 鑑賞など各施設へ誘う空間演出 伝統的なイベント時の空間創出
④ものづくりが体験できる演出	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを身近に感じる演出 未来型モビリティを体感できる空間

方針2:滞在時間を延ばす憩い空間の演出 ① ②

具体方針	内容
①緑あふれる空間を演出	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑に包まれた憩い空間創出 緑が感じられる通り・空間の演出
②周辺と調和したデザイン空間を演出	<ul style="list-style-type: none"> 統一感のあるデザインや眺望の演出 自然を感じる通りや空間を演出

方針3:「まち」と「さ」とつなぐアクセスの利便増進と適正化 ② ③

具体方針	内容
①鉄道・バスの利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の乗換利便性の向上 バス運行サービスの向上 鉄道での広域アクセス目指す
②自転車交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用の安全性向上 駐輪場配置の適正化、利便性の向上
③自転車交通の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 来街目的のない自動車を外周道路に誘導 歩車共存を見据えた走行環境形成 効率的な駐車場システムの更新

方針4:歩きたくなる快適で安全な回遊環境の形成 ② ③

具体方針	内容
①安全で歩いて楽しい歩行空間を確保	<ul style="list-style-type: none"> 一体的に繋がる回遊しやすい空間創出 周辺施設への安全な歩行空間形成
②都心の魅力を迅速に情報発信	<ul style="list-style-type: none"> まちなかを回遊したくなる情報提供

②対象区域



松坂屋・T-FACE



豊田市美術館



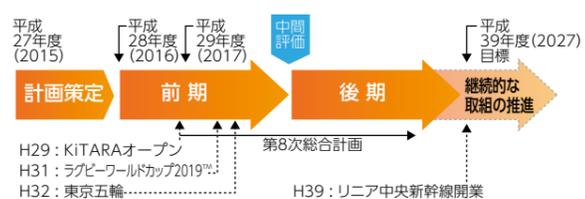
コンサートホール(参考館)



スカイホール豊田

③計画期間

本計画の期間は、平成28年度(2016年度)から平成39年度(2027年度)までの12年間とする。都心のにぎわい創出に向けた多様な取組みの推進については、リニア中央新幹線の開業を概ねの目標とするが、ラグビーワールドカップ2019™開催を1つの節目として、随時評価・見直しをしながら、継続的に実施していく。



目標指数

項目	H26数値	目標値
①歩行者数	78千人/日	100千人/日
②鉄道・バス利用者数 ^{※1}	47千人/日	62千人/日
③施設利用数	370万人/年	480万人/年
④商業の売上高(テナントミックス事業対象店舗)	190億円/年 ^{※2}	265億円/年 ^{※3}
⑤満足度(にぎわい、魅力度、うるおい、愛着度等)	25% ^{※4}	32%

※1 バス利用者数は、おいでんバスの豊田市発着路線の全利用者数 ※2 平成25年数値
※3 平成31年目標数値 ※4 数値は、にぎわいのみ

④魅力創出重点ゾーン[※]での展開イメージ

※豊田市駅周辺を中心に商業機能、公共空間機能、交通機能の確保に向けて重点的に施策を展開するゾーン

空間再整備(つくる)の展開

豊田市駅周辺に立地する既存商業施設やKITARA等を中心に、商業環境に新たな魅力を創出する。また、既存の公共空間や民間の広場のスペースとそれに隣接する建物の低層階をあわせて、人のための魅力的な空間に再編し、多彩な主体が憩える、新たなチャレンジができる『まちなかの居場所』を創出し継続的に運営する。特に駅前には豊田が感じられるおもてなしの機能を充実する。

中心市街地テナントミックス事業

【対象(●)】: T-FACE、松坂屋、ギャザ、コモ・スクエア、KITARA、VITS豊田タウン、名鉄プラザ、参考館、商店街の機能連携】
◇それぞれの店舗の役割に基づいて感度年齢のカバーを広げることで、顧客を共有しあい、施設間の連続性と回遊性を創出する。
◇デッキとグラウンドレベルで東西一体的な回遊環境を創出することで、施設単体では実現できない商業環境を創出する。

ウェルカムセンターの設置

【総合案内、国際化対応等】
都心の来街者の誰もが、目的地までの情報を気軽に収集できるようになる。

まちなか広場空間活用推進

自らのまちを使いこなす市民や企業を発掘し、イベントのみでなく、日常の風景として継続できる空間や仕組みを、段階的に実験を重ね、市民の手で運営する。



〈西口ペDESTリアンデッキ〉

通勤者や買い物客等の憩いのスペース
通勤者や学生、買い物客、バス利用者が、休憩に利用するとともに、駅周辺の勤務者のランチスポットや市民への情報発信スペースとなる。

〈東口広場〉

豊田内外の活動・おもてなし拠点
日常的に市民がくつろぎ、様々な活動をしている風景が“まちの顔”となり、国内外の来街者が、豊田の魅力を直感的に体感できるスペースとなる。

〈停車場線〉

近隣住民や施設の中庭
隣接シネコン等の施設利用者、近隣住民等が、施設の中庭として、テラスのカフェで、くつろぎ・散歩するほか、こどもが安心して遊べる仕掛けを展開していくスペースとなる。



豊田市商業振興条例 (H17.4.1~H37.3.31)

豊田市より資料提供

商業の振興で経済の発展と健全なまちづくりを推進

条例では、商業者等の責務を明らかにすると共に、商業の活性化のために必要な措置を講ずることにより、商業の振興及び雇用の確保を図り、市民生活の向上及び本市経済の発展並びに健全なまちづくりの推進に資することを目的としている。平成27年の3月に一部改正を行い、引き続き10年間の期限付き条例とする。

条例に基づく支援制度

- 商業活性化推進交付金**
中心市街地において、まちづくりや商業活性化に取り組む事業者の創意工夫による総合的かつ機動的な活性化事業を支援する。(交付率80%以内)
- 商業・サービス機能誘致奨励金**
中心市街地及び地域商業地において、商業・サービスの拠点となる施設を誘致することにより、商業の活性化に資するため、商業・サービス機能誘致奨励金を交付する。なお、誘致を推進することが必要と認める地域については、市があらかじめ地域住民及び事業者の意向を踏まえ、それぞれの地域に係る商業・サービス機能誘致推進に関する基本方針を策定する。(中心市街地においては、店舗等の面積が1,000㎡以上)



WE LOVE とよたの推進

豊田市より資料提供

平成29年4月に「WE LOVE とよた」条例が施行され、誰もが幸せを感じる「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指し、豊田市にかかわる全ての人にとよたの魅力に改めて気づき、自ら楽しむための取り組みを行った。

取り組みの概要

市民等による「WE LOVE とよた」の取り組み推進

とよたプロモ部(とよたの魅力を発信する市民等の団体)と市の共働で「WE LOVE とよた」の取り組みの推進を行った。

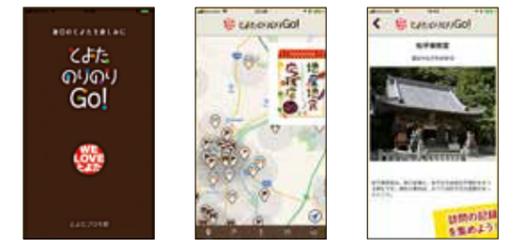
●市民等がまちを楽しむプラットフォームづくり

- とよたのりのりチャンネル
市民が自由にアイデアや意見を言え、つながることができるウェブサイトを開発



●とよたのりのりGo!

- 市内の観光施設や地産地食応援店の地図情報をゲーム感覚で楽しめるアプリを開発 ※iPhoneのみ



●とよたを楽しむプレイヤーの交流会

- 市内で活躍している多種多様なグループやプレイヤーがつながる場として交流会を開催

●「WE LOVE とよた」の取り組みへの関心を高めるイベント

- WE LOVE とよたフェスタ
市内の産業、文化、子育て、福祉など様々な分野の魅力を一堂に集めたイベントをスカイホール豊田で開催
- WE LOVE とよたアワード
「WE LOVE とよた」の取り組みや人について、広く募集して表彰



地元事業者と連携した豊田市の魅力の発信

- 商品への「WE LOVE とよた」のロゴマーク表示
市内小売店等と連携して、地元産の商品に「WE LOVE とよた」のロゴマークを表示してもらえるようシールやデータの提供を実施
- 地産地食応援店でのシールラリー
市内地産地食応援店との連携で、「WE LOVE とよた」のシールを使ったシールラリーを実施
- 地酒イベント、地産スイーツフェア
KITARAオープニングイベントで松坂屋、地元酒蔵、とよたプレミアムスイーツクラブと連携して地酒の試飲販売と地産スイーツの販売を実施



「WE LOVE とよたスペシャルサポーター」の任命

豊田市出身で人気アニメ「名探偵コナン」等、様々なアニメのプロデューサーを務める諏訪道彦氏を「WE LOVE とよたスペシャルサポーター」に任命し、ご自身の活動を通じて全国へとよたの魅力を発信していただく。



会社について
豊田まちづくり(株)の事業
豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市の取組み

その他

資料



あそべるとよたプロジェクト とよたのまちなかを本気であそぶ、つかいこなす!

豊田市より資料提供

豊田市駅周辺にある開けた空間“まちなかの広場”を、“人”の活動やくつろぎの場として開放し、さらにはとよたの魅力を伝え、とよたに愛着を持てる場所として、使いこなしていく取組み。

現在は日常的なにぎわいが少なく、発表の場として使うことも難しい、まちなかの広場。そんな場所で、市民・企業・行政が一体となってアイデアを出し合い、みんなの“やってみたい”ことを実現しながら、より使いやすい広場に生まれ変わるための継続的なしくみを創る。



あそべるとよた推進協議会

- 官と民の広場管理者などが構成員となり、まちなかの広場の活用やその仕組みづくりを推進する組織
- 構成メンバー
豊田市中心市街地活性化協議会・(一社)TCCM、豊田喜多町開発(株)、豊田市駅前開発(株)、豊田市駅前通り南開発(株)、豊田市駅東開発(株)、豊田まちづくり(株)、豊田市(公園緑地管理課・都市整備課・土木管理課・商業観光課)
- 事務局
商業観光課、(一社)TCCM(事務局支援)



あそべるとよたDAYS(平成29年4月21日～平成30年2月25日)

- 期間中、管理者が異なる6か所の広場の窓口や使用料金を統一し、58団体(130件)が広場を活用

《実施例》



ギター演奏



試飲会



マルシェ



和太鼓演奏



フラダンスショー



アカパライベント

ペDESTリアンデッキ広場運営事業(平成29年4月21日～2月25日)

- 広場運営事業者を公募し①飲食営業を中心とした事業性の成立の検証②民間事業者による広場貸し出し業務の課題を検証した。
(運営事業者:〇七商店(まるななしょうてん))



平成30年度以降の取組み

あそべるとよたDAYS(平成30年3月1日～)

新たに「KITARA前広場」を追加、7か所の広場が365日使えるようになる。



ペDESTリアンデッキ広場運営事業

平成30年3月23日に都市再生推進法人に指定された(一社)TCCMが広場を運営する。

- (一社)TCCMが飲食事業者を公募(飲食事業者:ダイコック)
- 地域住民・事業者と連携
- 収益を新たなまちづくりに還元





とよた元気プロジェクト [WE LOVE とよた]で豊田を元気に!

豊田商工会議所より資料提供

地域経済の活力向上を目的に平成21年3月に発足。

[WE LOVE とよた]を合言葉に構成団体22団体が連携し、豊田市の魅力発信、地産地消の推進、市内消費拡大を目的とした取組みを展開。



「とよたPR大使」による市内外へ向けた豊田市の魅力発信

- とよたPR大使事業は、平成25年度から始まり昨年度はとよた産業フェスタ2017やおいでんまつりなど市内のイベントへの参加や観光PRキャラバン(大村県知事・メディアへの表敬訪問)、映画「星めぐりの町」完成披露試写会など、様々なイベントや式典等に参加し豊田市の魅力をPR。



「市内消費拡大」「地産地消」「地産外商」の推進

- スカイホール豊田にてイベント開催時に、おもてなし事業の一環として特産品販売コーナーを設置し、来場者へとよたの特産品販売やPRを実施(計9回)。また「とよたの特産品展」や市内企業による地産地消の推進事業を展開。



- [WE LOVE とよた]のロゴマークを構成団体はじめ、市内の団体で広報掲載し、郷土愛の醸成や意識共有を図る。



地産外商 販路拡大支援事業「WE LOVE とよたマルシェ」

- 豊田市内で生産・販売している、豊田らしさのある食品加工品・農産物・飲料(酒類含む)などを紹介するwebサイト「WE LOVE とよたマルシェ」を平成29年5月にオープン。“クルマのまち豊田”から“美味しい豊田”をお届けするwebサイト。(平成30年度出店数:33店舗)
- webサイトによる「とよたの特産品」紹介に加えて、さまざまな支援活動を展開。
 - ・スポーツイベントやとよたビジネスフェア2017等への出店
 - ・愛知DC(大型観光キャンペーン)にてPR
 - ・表敬訪問(愛知県庁等)にてとよたPR大使によるPR
 - ・豊田市の魅力を多言語で紹介するwebサイト「VISIT TOYOTA CITY」に、マルシェ掲載商品を掲載し、外国の方へのPR など



<http://toyota-marche.jp/>



イルミネーションストーリーinとよた

冬の寒空の下にも人でのぎわう街並みを目指し、年末年始にイルミネーション装飾を実施。併せて、点灯式をはじめイベントを企画。市民の皆さまや豊田へ来た方に、見て、参加して楽しんで頂き、豊田のまちなかへの関心を高める。

平成29年度開催内容

事業目的

まちなかを歩き回りたくなるイルミネーション装飾により、快適な都市空間を創造・創出し、中心市街地の活性化(集客・まちの賑わい)を図る。

主催団体

イルミネーションストーリー実行委員会

構成団体 9企業・団体(平成30年3月現在)

豊田市、豊田商工会議所、豊田商工会議所青年部、(一社)豊田青年会議所、(公財)豊田市文化振興財団、トヨタ自動車(株)、豊田まちづくり(株)、豊田市中心市街地まちなか宣伝会議、豊田市商業連合協同組合

開催期間(点灯期間)

平成29年11月18日(土)~平成30年1月14日(日)

主な事業内容

- ・豊田市駅周辺にイルミネーション装飾を展開
- ・中心市街地活性化、地域振興を目的としたイベントを開催

● イベント1: 点灯式

平成29年11月18日(土) 16:30~18:00

とよた参考館1階アトリウムに特設ステージを設け、イルミネーションストーリー2017のスタートとなる点灯式を開催。豊田市少年少女合唱団や元城小学校ミュージックベル部、まちなか4こども園の歌の披露もあり、盛り上がりを見せた。



ロータリー風景

● イベント2: 「とよた」がいっぱい!えきまえにキタラ!!

平成30年1月13日(土) 13:00~20:00

例年12月上旬に開催していたが、今年度はKiTARAのオープンに伴い駅前への集客を図るため、年明けに日程を変更し開催。豊田にゆかりのあるアーティストのステージと地元飲食店による飲食出店も実施した。同日、ピンバッジデザイン最優秀者の表彰式も行った。



点灯式の様子

その他催し・企画

● ピンバッジデザイン募集

豊田市民及び市内の事業所または学校に勤務・通学中の方を対象に、ピンバッジのデザインを公募。採用したデザインを基に、協賛お礼用ピンバッジを作成。

● フォトコンテスト

イルミネーションストーリーinとよたの電飾撮影をホームページや市内全交流館など幅広く募集し、入賞者には賞品を贈呈。入賞作品は、T-FACEでの展示を行った。



2017年のピンバッジデザイン



フォトコンテスト金賞作品

会社について

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市の取組み

その他

資料



全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議

全国の中心市街地活性化協議会、まちづくり会社との情報交流・ネットワークづくりを目的に、豊田まちづくり(株)は、全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議に参加している。

設立目的

まちづくり三法の改正により、中心市街地のまちづくりを進める重要な主体として位置付けられた、まちづくり会社や中心市街地整備推進機構等が情報交流を行い、民間主体による中心市街地の再生とコンパクトなまちづくりを促進することを目的とする。

連絡会議概要

設立	平成19年6月28日	賛助会員	4団体 会の趣旨に賛同する者
会員	52団体(平成30年2月5日現在) 中心市街地活性化基本計画の認定を受けた又は受けようとしている市町村のまちづくり会社及び中心市街地整備推進機構	参与会員	4団体 事務局業務の補佐 ※事務局は会長会社 (独)都市再生機構 (一財)民間都市開発推進機構 (公社)全国市街地再開発協会 (公財)区画整理促進機構
役員会社	会 長：(株)まちづくり松山 副会長：(株)黒壁、豊田まちづくり(株) 監 事：(一財)柏市まちづくり公社 (株)飯田まちづくりカンパニー		

活動内容

●中心市街地活性化に係る情報共有・ノウハウの蓄積

総 会	年1回、東京にて開催	勉強会の開催	年2回、東京/先進地にて開催、まちづくり会社等が行っている事業手法や工夫等の紹介
------------	------------	---------------	--

【勉強会開催実績】

第1回	H19.10.22~23	富山市	富山市及び各市のまちづくり事例発表
第2回	H20.2.14~15	東京	各市まちづくり事例発表及びグループ討議
第3回	H20.10.2~3	岐阜市	岐阜市まちづくり事例発表及びグループ討議
第4回	H21.2.19~20	神戸市	長田地区まちづくり事例発表及び分科会
第5回	H21.10.1~2	高松市	高松市まちづくり事例発表及び分科会
第6回	H22.2.18~19	豊田市	豊田市まちづくり事例発表及び情報提供
第7回	H22.10.6~7	松山市	松山市まちづくり事例発表及び情報提供
第8回	H23.2.17~18	宮崎市	宮崎市まちづくり事例発表及び情報提供
第9回	H23.10.13~14	長浜市	長浜市まちづくり事例発表及び情報提供
第10回	H24.5.10~11	川越市	川越市まちづくり事例発表及び情報提供
第11回	H24.10.25~26	柏市	柏市まちづくり事例発表及び情報提供
第12回	H25.5.23~24	長岡市	長岡市まちづくり事例発表及び情報提供
第13回	H25.10.3~4	飯塚市	飯塚市まちづくり事例発表及び情報提供
第14回	H26.5.23~24	東京	まちづくりに関する情報提供及び分科会
第15回	H26.11.4~5	飯田市	まちづくりに関する情報提供及び分科会
第16回	H27.6.11~12	金沢市	金沢市まちづくり事例発表、分科会及び情報提供
第17回	H27.10.22~23	岩手県紫波町	オガールプロジェクトの視察、分科会及び情報提供
第18回	H28.6.29~30	東京	今後の役割や課題、分科会及び情報提供
第19回	H28.11.28~29	東京	「観光まちづくり」「都市交通施策について」、分科会及び情報提供
第20回	H29.6.29~30	東京	まちづくりに関する情報提供及び各市まちづくり事例発表
第21回	H29.12.14~15	八戸市	八戸市まちづくり事例発表及び情報提供

●HPの設置・情報発信

・会員、事務局の連絡や提案、情報交換など

●相談室の設置

- ・まちづくり手法等の相談 ((独) 都市再生機構 : 全国まちづくり支援室)
- ・出融資に係る相談 ((一財) 民間都市開発推進機構 : 中心市街地活性化支援室)
- ・再開発、街なか居住再生ファンド等の相談 ((公社) 全国市街地再開発協会 : 企画部内)
- ・市街地整備に関する相談 ((公財) 区画整理促進機構 : まちなか支援センター内)



まちづくり推進団体 (順不同)

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田商工会議所
豊田まちづくり株式会社
一般社団法人TCCM

カシマゴビルディング株式会社
豊田市駅前通り南開発株式会社
豊田喜多町開発株式会社
豊田市
豊田商工会議所

フリーパーキング事業

カシマゴビルディング株式会社
株式会社丸太不動産
豊田市

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋 豊田店
T-FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅東開発株式会社
カシマゴビルディング株式会社
株式会社豊田スタジアム
トヨタ自動車株式会社
株式会社名鉄トヨタホテル
ひまわりネットワーク株式会社
豊田市商業連合協同組合
豊田市美術館
豊田市コンサートホール・能楽堂
豊田商工会議所
豊田市近代の産業とくらし発見館
豊田市駅前通り南開発株式会社
株式会社ホテル豊田キャッスル
アイレックススポーツライフ株式会社
トヨタすまいるライフ株式会社
公益財団法人豊田市体育協会
豊田産業文化センター
公益財団法人 豊田市国際交流協会
あいち豊田農業協同組合
豊田市民文化会館
名古屋鉄道株式会社
エフエムとよた株式会社
株式会社名古屋グランパスエイト
豊田市中央図書館
とよたEcoful Town
豊田市駅前開発株式会社
イオンエンターテイメント株式会社
豊田喜多町開発株式会社
豊田まちづくり株式会社
一般社団法人TCCM
豊田市 (オブザーパー)

自治区・地域

崇化館地区 一区
崇化館地区 二区西部
崇化館地区 二区東部
崇化館地区 三区
崇化館地区 東区
崇化館地区 西区
崇化館地区 中区
朝日丘地区 小坂
桜町ほうだら会
竹の子村まちづくり協議会
竹生線沿線4自治区まちづくり協議会

商店街・商工会

豊田市商業連合協同組合
とよた下町おかみさん会
ひまわり通り商店街
一番街商店街振興組合
桜町本通り商店街振興組合
豊田市駅前商業協同組合
西町商店街協同組合
喜多町昭和通り発展会
新豊田商店街振興組合
足助中央商店街協同組合
竹生発展会
駅東発展会
昭和町発展会
元城五番街発展会
小坂発展会
足助商工会
稲武商工会

その他各団体・教育機関

愛知県商店街振興組合連合会
中心市街地花飾り実行委員会
豊田おいでんまつり実行委員会
イルミネーションストーリー実行委員会
一店逸品運動実行委員会
ジョイカルウェイブ実行委員会
愛知学泉大学
豊田文化フォーラム
豊田てらこや
全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議
とよたガーデニングフェスタ実行委員会
とよた都市緑化フェア実行委員会
映画を活かしたまちづくり実行委員会

豊田市中心市街地 大型店の連携・共同事業

株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋 豊田店
T-FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅東開発株式会社
名鉄産業株式会社

会社について

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市の取組み

その他

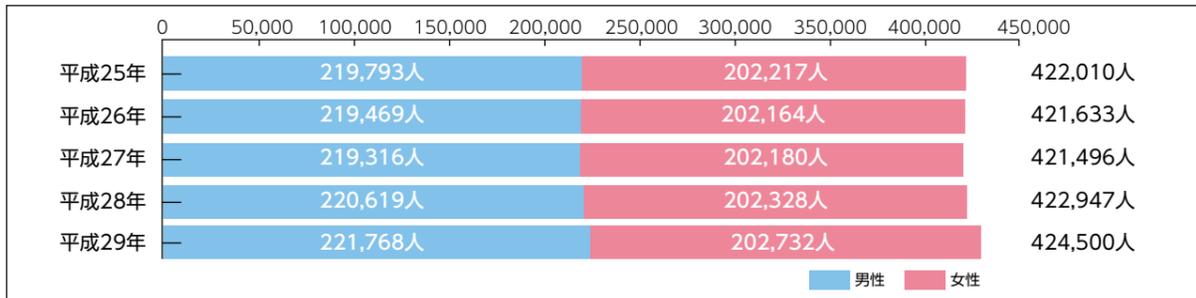
資料



豊田市の市勢データ

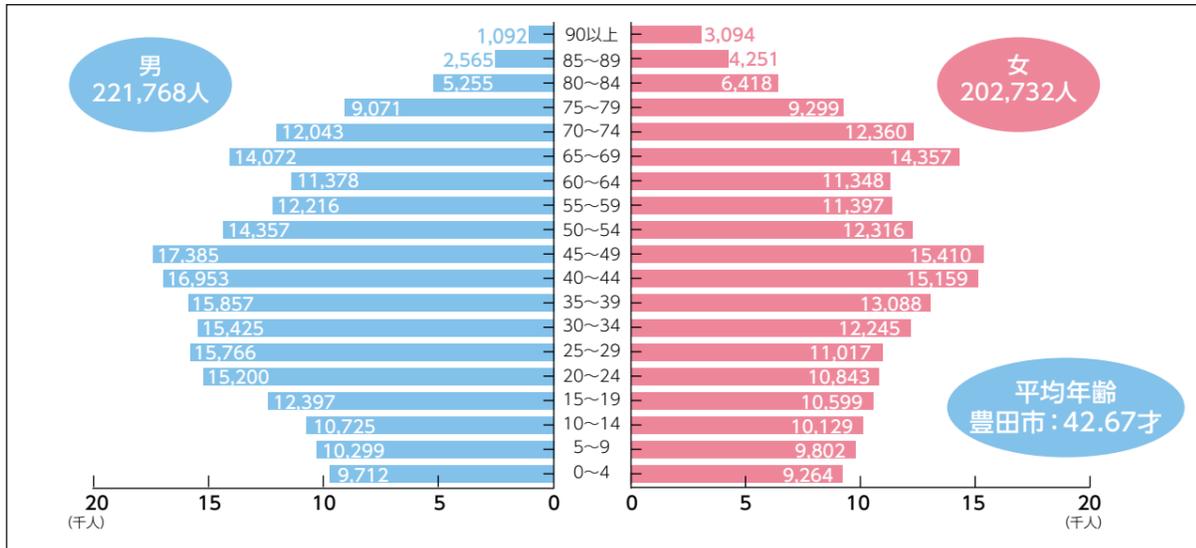
豊田市の人口推移

出典：豊田市HP「豊田市の人口」(詳細データ)(平成30年度4月1日現在)



豊田市年齢別・男女別人口

出典：豊田市HP「豊田市の今月の人口」(平成30年度4月1日現在)



<市町村別平均年齢> 愛知県：44.4才 名古屋市：45.0才 豊橋市：44.8才 岡崎市：43.3才 出典：愛知県HP「愛知県の人口」(平成30年3月1日現在)

豊田市の昼間人口・夜間人口の推移

出典：平成27年度版 豊田市統計書 (C 国勢調査)

区分	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年		
	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者
昼間人口	356,583	199,632	...	375,298	211,391	56,482	445,252	253,617	57,408	458,833	253,832	74,118
夜間人口	340,876	185,434	...	350,847	189,313	54,109	408,700	218,366	56,107	421,487	217,365	73,239

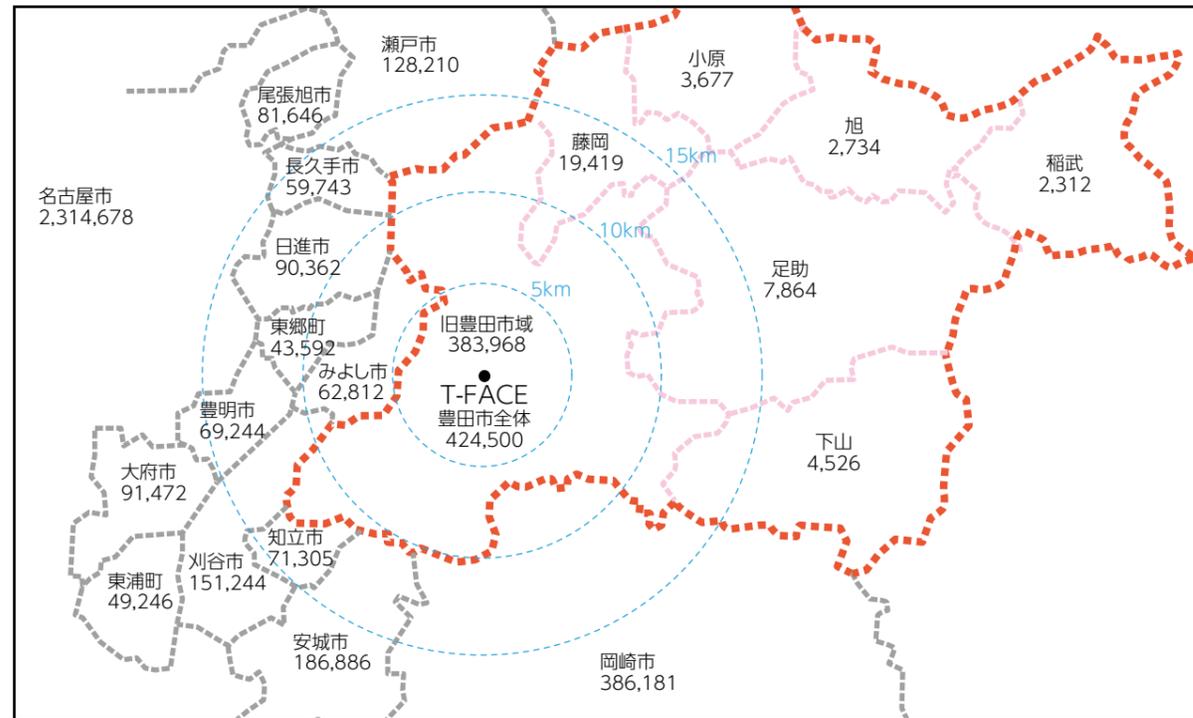
愛知県主要都市との人口比較

出典：愛知県HP Web統計あいち/あいちの人口/愛知県人口動向調査結果(平成29年10月1日現在) 注) 1 各種増減数及び増減率の算定期間は、平成28年10月1日から29年9月30日までの一年間。 出典：愛知県HP Web統計あいち 愛知県の市町村所得(平成27年度)報告書

	人口(人)	人口増減率(%)	世帯数(世帯)	1世帯あたり人員(人)	1人あたりの所得(千円)
豊田市	425,738	0.24	175,558	2.43	6,799
名古屋市	2,314,125	0.40	1,088,175	2.13	3,636
豊橋市	373,811	▲0.15	147,539	2.53	3,056
岡崎市	385,221	0.48	152,551	2.53	3,460

商圈の設定

単位：人



出典：豊田市→豊田市HP「豊田市の人口」(平成30年4月1日現在) その他→愛知県HP Web統計あいち あいちの人口 愛知県人口動向調査結果(平成29年10月1日現在)

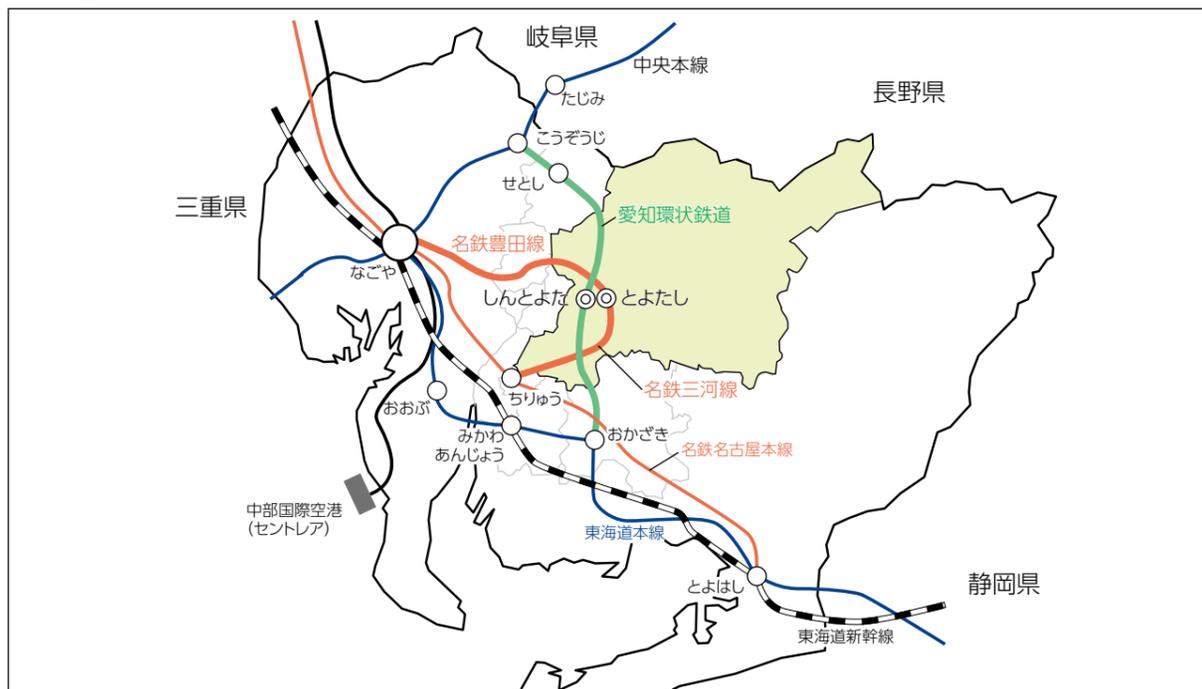
	人口	前年比
豊田市(旧)	約38.3万人	(0.3%)
みよし市	約6.3万人	(0.3%)
東郷町	約4.4万人	(0.5%)
日進市	約9.0万人	(1.0%)
岡崎市	約38.6万人	(0.1%)
合計	約96万人	(±0%)

※平成17年4月に周辺市町村を合併し、愛知県で名古屋市に次いで人口が2番目の都市となった。面積は918.47km²と約3倍となったが、人口のほとんどが旧豊田市域の居住者である。



名古屋都市圏に隣接する豊田市は、西三河地域の中心に位置し、中核都市として独立商圏を形成している。

鉄道



<近隣からのアクセス>

名古屋鉄道			
名古屋	⇒⇒⇒	豊田市駅	60分
	760円	※名鉄豊田線経由	
知立	⇒⇒⇒	豊田市駅	25分
	400円		
愛知環状鉄道			
岡崎	⇒⇒⇒	新豊田駅	30分
	500円		
瀬戸市	⇒⇒⇒	新豊田駅	30分
	500円		

<1日の平均乗降客数> 出典：豊田市統計書（平成27年度版）



※特に朝夕の通勤ラッシュ時は2つの駅をつなぐペDESTリアンデッキの往来が多くなる。

- 名鉄線の2線（豊田線・三河線）は都市間交通手段として利用されている。特に周辺地域のベッドタウン化による利用者の増加により運行本数の増加、始発・最終電車の延長サービスが図られている。
- 平成17年愛知万博開催に伴い、八草駅と名古屋市の藤が丘をつなぐ東部丘陵線（リニモ）が開通した。
- 愛知環状鉄道は平成20年3月より新豊田-三河豊田間で複線化され通勤通学を中心とした乗降客数が増加している。

バス

- 名鉄バスが、豊田市駅東西ターミナルより発着し、中心市街地から周辺部へ運行している。1日約5,000人の人が豊田市郊外の交通手段として利用している。
- 平成19年より豊田市基幹バス「おいでんバス」の運行が始まり、豊田市駅と旭、稲武、小原、下山、藤岡、足助地区を結ぶ路線となっている。

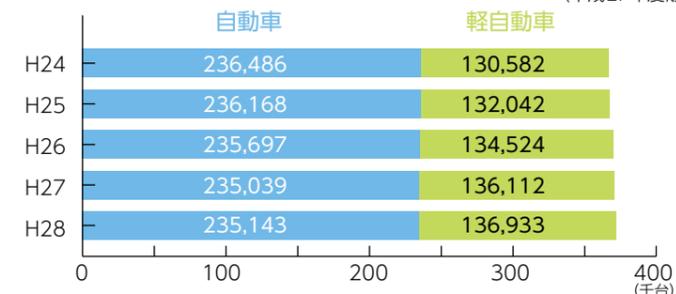
道路交通



<近隣からのアクセス>

名古屋	⇒⇒⇒	豊田	60分
	29km		
豊橋	⇒⇒⇒	豊田	100分
	47km		
岡崎	⇒⇒⇒	豊田	40分
	17km		

<自動車・軽自動車登録台数の推移> 出典：豊田市統計書（平成27年度版）



- 近年新東名、東海環状道路の整備により、市内に7のIC、3つのSA、PA、2つのJCTが存在する県内有数の交通拠点になりつつある。



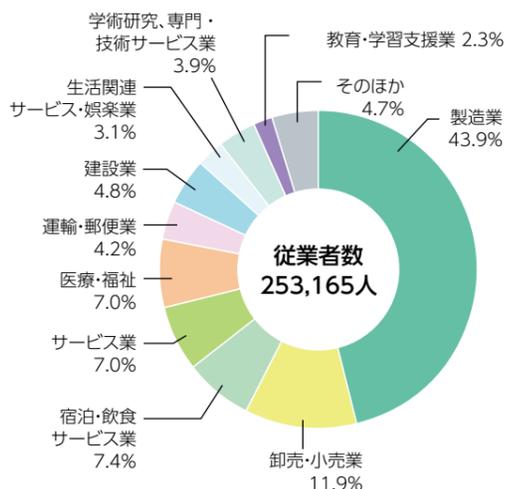
豊田市の産業

・豊田市 市勢ガイド2018 より

平成26年の経済センサス活動調査による産業別従業者数の割合は、第2次産業（製造業、建設業等）が48.7%、第3次産業（卸・小売・サービス業等）が46.8%を占めている。

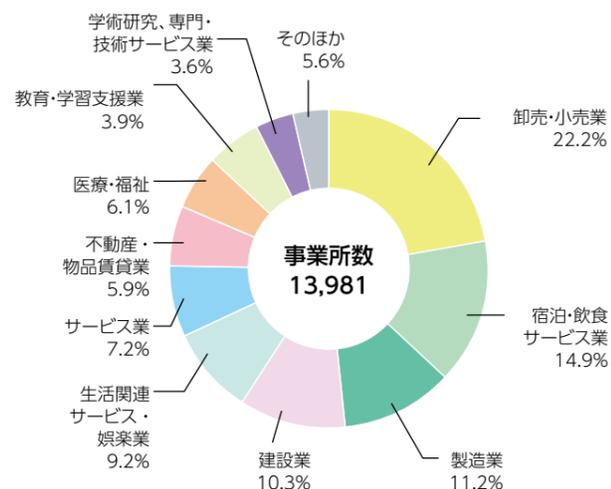
産業大分類別従業者数構成比

(平成26年7月1日現在 経済センサス活動調査〔民営事業所〕)



産業大分類別事業所数構成比

(平成26年7月1日現在 経済センサス活動調査〔民営事業所〕)



農家数・農家人口の推移

(各年2月1日現在・農業センサス)
※平成22年の増加は合併によるもの



商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

(商業統計調査)

年次	商店数	従業者数(人)	年間商品販売額(万円)
平成9年	3,129	23,100	164,019,263
平成14年	2,799	25,256	149,030,179
平成16年	2,685	24,176	154,605,992
平成19年	2,873	26,725	164,520,883
平成26年	2,297	21,758	167,286,800

工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移

(「工業統計調査」より、従業者4人以上の事業所)

年次	工場数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
平成19年	1,047	109,517	1,324,278,610
平成20年	1,000	108,219	1,305,399,375
平成21年	933	102,660	910,726,664
平成22年	933	101,302	1,062,727,560
平成24年	885	102,427	1,208,885,763
平成25年	859	104,219	1,270,676,608
平成26年	860	105,996	1,308,473,198

※平成23年は調査未実施



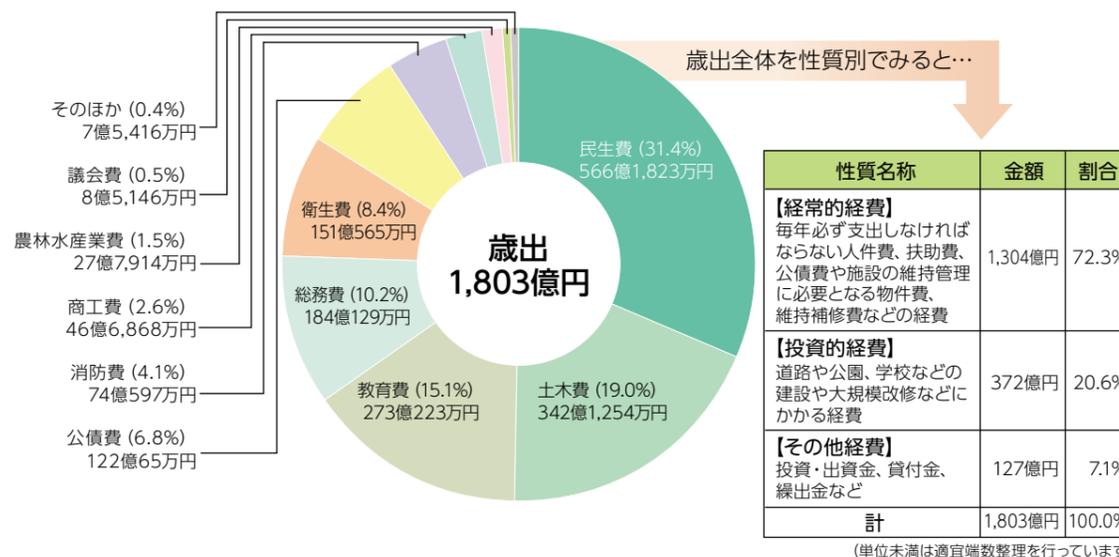
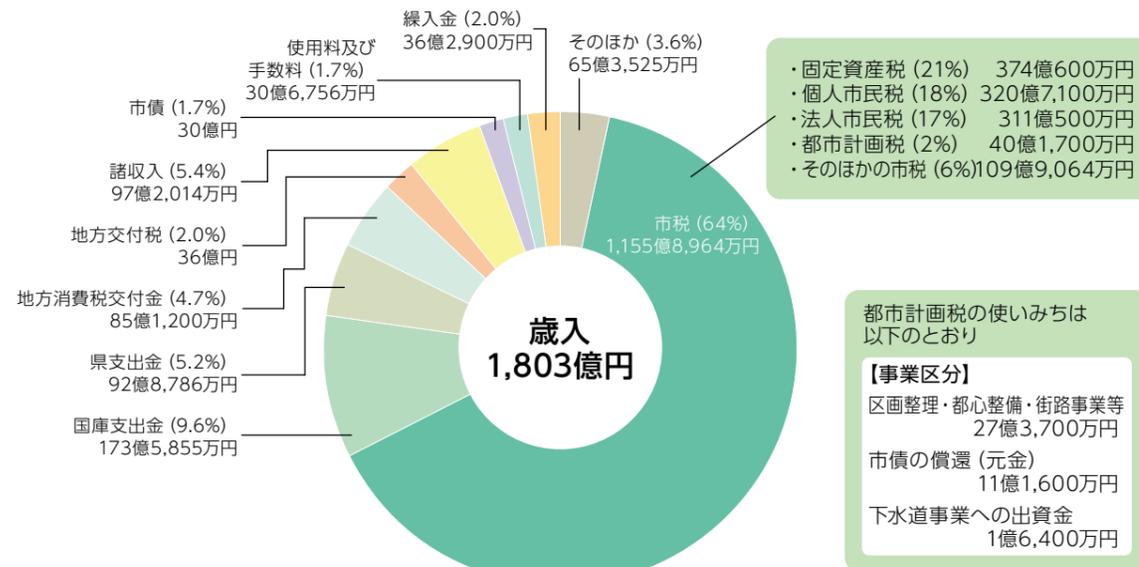
豊田市の財政

・豊田市 市勢ガイド2018
・予算のあらまし
・当初予算関連資料 より

平成30年度豊田市の当初予算

総額 **2,887億5,318万円** 前年比1.4%減

一般会計 1,803億円 (前年比1.1%増)



特別会計 710億9,854万円 (前年比8.8%減)

特別会計とは、市が特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して設置する会計で、その特定の収入をもって特定の支出に充てるもの。
国民健康保険、介護保険、土地区画整理など、10会計がある。

企業会計 373億5,464万円 (前年比2.5%増)

企業会計とは、独立採算制を原則とする企業の色彩の強い事業の会計。
水道事業会計と下水道事業会計の2会計がある。



周辺商業施設概要

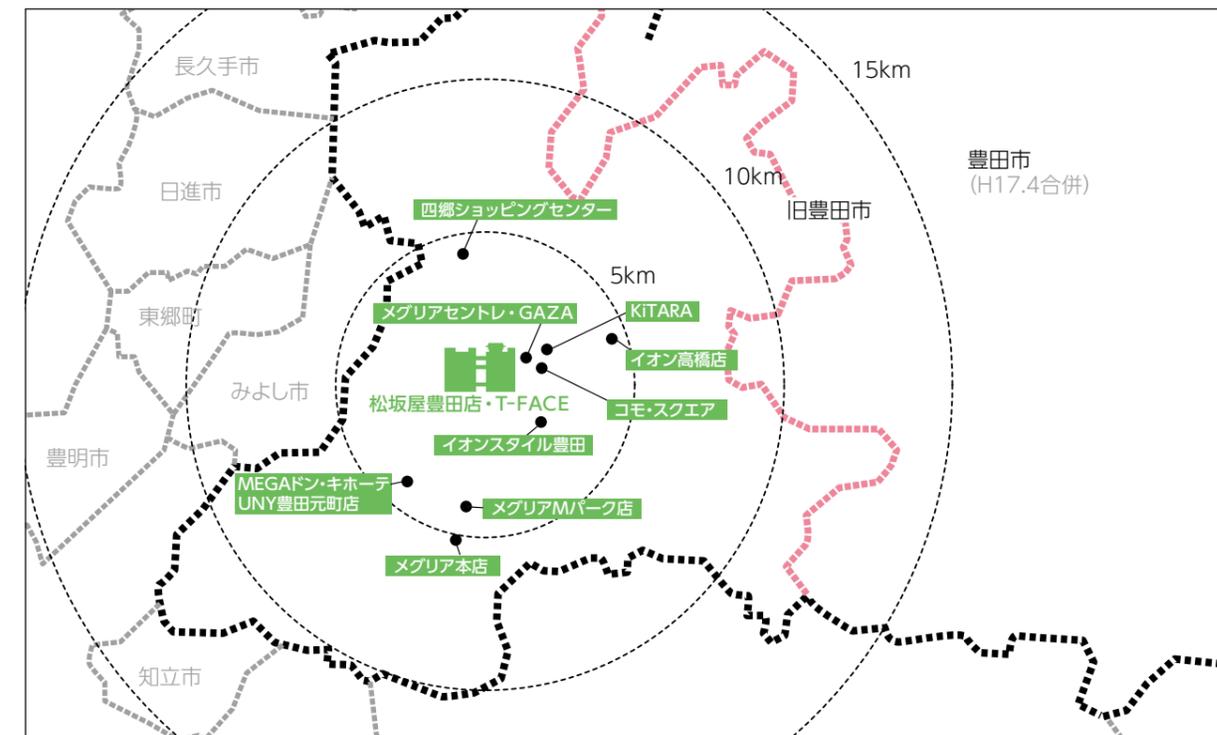
大規模店舗(平成30年現在)

豊田市の近郊は、15～64才の生産年齢人口比率が全国平均より高く、1人あたりの平均所得が高いことなどを理由に、優良マーケットと考えられている。そのため中小店と大型店、中心部と郊外がそれぞれの役割を担い、すみわけを進めている。

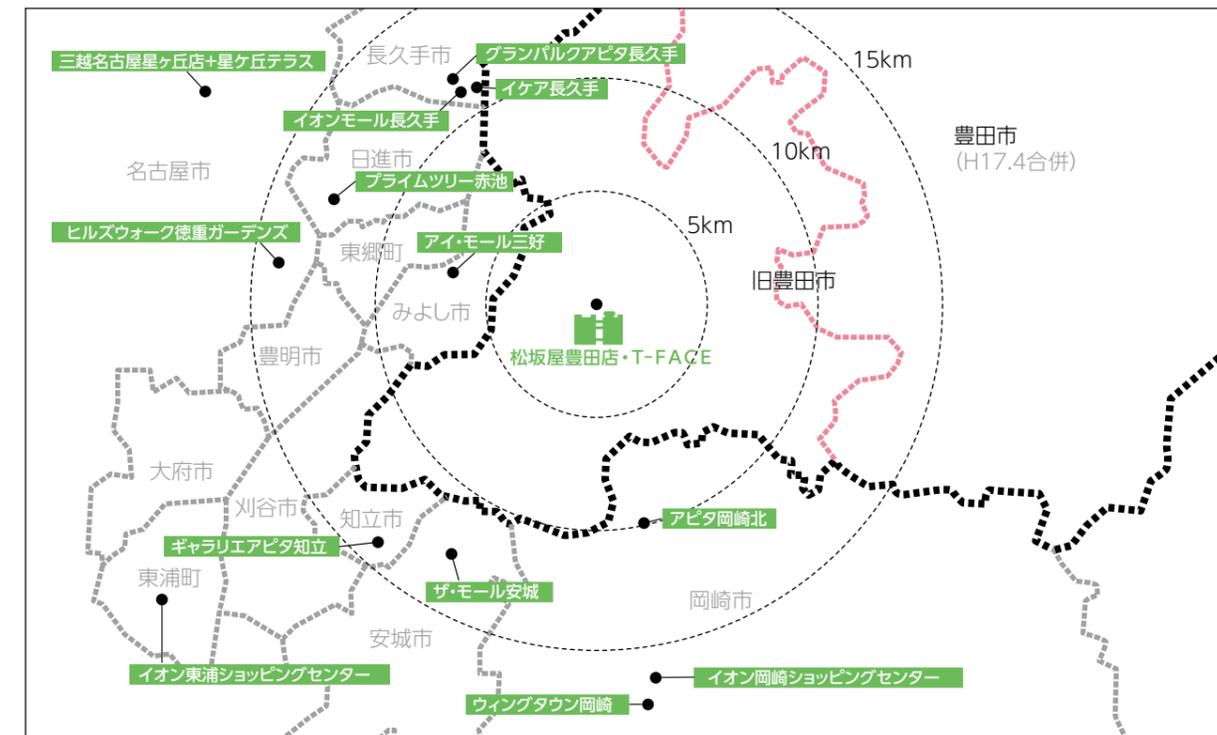
大規模店舗施設概要

- KitARA**..... 豊田市喜多町/建築延床面積約60,000㎡/駐車場286台
2017年秋オープン。3棟のビルで構成され、アミューズメント(イオンシネマ豊田)、オフィス、高齢者施設、住宅ほか飲食店が並ぶ。中心市街地の新たな機能付加により昼間人口の増が期待されている。
 - コモ・スクエア**..... 豊田市喜多町/建築延床面積約60,200㎡/駐車場250台
2棟のビルで構成され、1棟は豊田キャッスルホテル、大型スポーツ施設、オフィスで構成。もう1棟は飲食店、美容サービスを中心とした店舗で構成されている。平成20年には住居棟も完成した。
 - メグリアセントレ+GAZA**... NSC/豊田市喜多町/売り場面積約15,000㎡/駐車場1,544台
1階はトヨタ生協食品売り場で足元商圈を獲得し、2階には「ファッションセンターしまむら」「シュララー」などが出店。3階には「ユニクロ」「くまざわ書店」などが出店し、駐車場が隣接している。
 - イオンスタイル豊田**..... NSC/豊田市広路町/店舗面積23,630㎡
2017年秋建替リニューアルオープン。「NEWわたし LIFE STYLE」をコンセプトに3世代をターゲットとし、モノ、コトを提案している。
 - イオン高橋店**..... NSC/豊田市東山町/店舗面積14,688㎡/駐車場2,300台
豊田市東部の住宅地に立地するCSC。豊田店と同様に隣接地に広大な2棟の駐車スペースを有している。商品構成はデイリー性の高い品揃えであり、商圈顧客のライフスタイルに溶け込んでいる。
 - メグリア本店**..... NSC(生協)/豊田市山之手/店舗面積13,310㎡/駐車場2,000台
トヨタ自動車系の企業生協。商品構成はファッション、リビング、食料品ともデイリーな商品を中心に展開し、とりわけ、食料品が強く賑わいがある。イオンと同様、店舗地下・隣接地に広大な駐車場がある。
 - MEGAドン・キホーテUNY豊田元町店**... CSC/豊田市土橋町/店舗面積9,675㎡/駐車場1,050台
アピタ豊田元町店からMEGAドン・キホーテUNY豊田元町店へ2018年春リニューアルオープンした。隣接駐車場には「スターバックス」「マクドナルド」のドライブスルーが設置されている。
 - メグリアMパーク店**..... NSC/豊田市前山町/店舗面積24,128㎡/駐車場652台
ワンフロアで構成され「豊田自動車学校」「スーパーマーケット」「専門店街」と3つのゾーンが共存する複合施設。
 - 四郷ショッピングセンター**... NSC/豊田市上原町/店舗面積4,200㎡/駐車場214台
食品スーパー「やまのぶ」を中心に「ケーズデンキ」他、飲食店が出店する複合施設。
-
- 三越名古屋星ヶ丘店** 百貨店/名古屋市千種区/店舗面積21,798㎡/駐車場1,000台
 - 星ヶ丘テラス** SC/名古屋市千種区/店舗面積9,541㎡/駐車場1,474台
 - イオン岡崎ショッピングセンター** (西武・イオン) SC/岡崎市戸崎町/店舗面積95,000㎡/駐車場4,300台
 - アピタ岡崎北** SC/岡崎市日名北町/店舗面積19,849㎡/駐車場1,800台
 - アイ・モール三好** SC/みよし市三好町/店舗面積40,793㎡/駐車場2,500台
 - ザ・モール安城** SC/安城市大東町/店舗面積22,818㎡/駐車場1,500台
 - ギャラリーエアピタ知立** SC/知立市長篠町/店舗面積27,157㎡/駐車場3,000台
 - グランパルクアピタ長久手** SC/長久手市/店舗面積27,845㎡/駐車場2,100台
 - イオン東浦ショッピングセンター** SC/東浦町/店舗面積45,512㎡/駐車場4,000台
 - ウィングタウン岡崎** SC/岡崎市羽根町/店舗面積13,330㎡/駐車場1,350台
 - ヒルズウォーク徳重ガーデンズ** SC/名古屋市長区/店舗面積25,554㎡/駐車場1,100台
 - イオンモール長久手** SC/長久手市/店舗面積59,000㎡/駐車場2,600台
 - イケア長久手** 長久手市/店舗面積31,192㎡/駐車場1,450台
 - プライムツリー赤池** SC/日進市赤池/店舗面積43,600㎡/駐車場2,253台

豊田市周辺大規模店舗位置図



広域大規模店舗位置図(半径約15km圏内)



商圏内(半径5km) 大規模店舗

商圏内(半径15km)

会社について

豊田市のまちづくり(街)の事業

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市の取組み

その他

資料



豊田市中心市街地の通行量調査

平成29年度豊田市中心市街地の歩行者通行量の状況

(1) 通行量データの引用について

豊田市中心市街地に設置(平成20年4月設置)された歩行者通行量を自動で計測する装置「豊田市歩行者通行量自動計測装置」よりデータを引用。

[計測地点] 18地点 ※地点名・場所省略。北地区再開発工事のため1地点の装置を仮撤去(H27.2.3)

[計測時間] 毎日5時～24時(19時間)を自動計測および集計

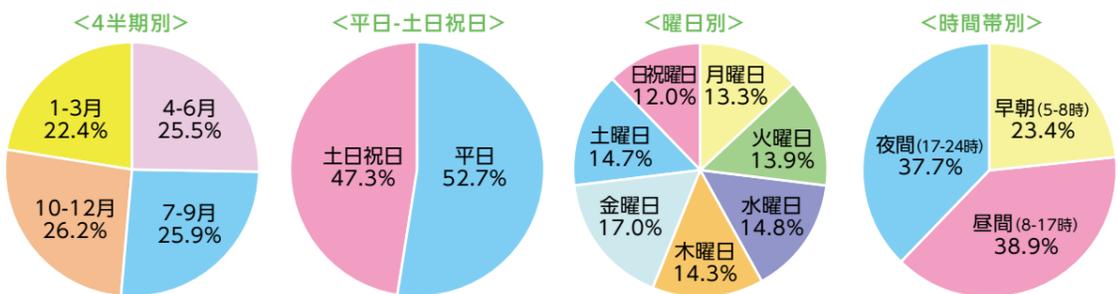
[装置設置者] 豊田市産業部商業観光課

(2) 豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置における年間集計結果

●年度別 全18地点合計通行量(5-24時)推移 (単位:人)

項目	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	H29/5ヶ年平均	
年間計	33,210,318	32,935,708	31,743,111	31,325,544	29,896,851	104.4%	
四月半 月平均	4-6月	2,827,317	2,825,957	2,702,249	2,657,381	2,471,635	104.8%
	7-9月	2,861,439	2,877,591	2,720,142	2,684,036	2,621,812	103.9%
	10-12月	2,901,490	2,757,263	2,644,549	2,681,640	2,534,384	107.3%
	1-3月	2,479,860	2,517,758	2,514,097	2,418,791	2,337,787	101.1%
月平均	2,767,527	2,744,642	2,645,259	2,610,462	2,491,404	104.4%	
曜日別 1日平均	月曜日	85,045	84,747	82,199	80,518	78,803	103.4%
	火曜日	89,260	87,675	85,454	83,066	78,467	105.3%
	水曜日	95,040	93,885	89,218	87,950	83,502	105.7%
	木曜日	91,696	89,734	86,877	85,678	82,722	105.0%
	金曜日	109,223	106,222	101,548	101,496	95,455	106.3%
	土曜日	94,295	95,119	90,607	90,805	87,597	102.8%
	日曜日	77,251	77,883	74,663	74,014	70,373	103.2%
	平日	94,098	92,637	89,246	88,010	83,879	105.1%
	土日祝日	84,473	85,270	81,572	81,189	77,733	103.0%
	1日平均	90,987	90,235	86,730	85,823	81,909	104.4%
時間帯 1時間平均	早朝(5-8時)	3,108	2,947	2,734	2,763	2,638	109.5%
	昼間(8-17時)	5,173	5,163	4,958	4,916	4,737	103.7%
	夜間(17-24時)	5,015	4,990	4,844	4,756	4,480	104.1%
1時間平均	4,789	4,749	4,565	4,517	4,311	104.4%	

●平成29年度 全18地点合計1日平均通行量(5-24時)対比グラフ



<過去5ヶ年の通行量平均との比較>

- ・年間合計の通行量>>4.4ポイントのプラス。
- ・4半期毎の比較>>全シーズンでプラス。第3四半期(10月～12月期)は、7.3ポイントの大幅な増加。
- ・曜日別の比較>>全曜日でプラス。特に、金曜日は6.3ポイント以上の大幅な増加。
- ・時間帯別の比較>>全時間帯でプラス。早朝の時間帯が9.5ポイントの大幅な増加。

●平成29年度 地点別1日平均通行量(5-24時)平日と休日(土日祝)の通行量上位5地点 (単位:人)

順位	平日		休日(土日祝)	
	地点名	1日平均通行量	地点名	1日平均通行量
1位	名鉄豊田市駅西口	26,697	名鉄豊田市駅西口	21,523
2位	名鉄豊田市駅東口	19,501	名鉄豊田市駅東口	19,534
3位	新豊田駅東口	16,535	新豊田駅東口	9,500
4位	名鉄豊田市駅東口デッキ北(駅⇄GAZA間)	7,192	名鉄豊田市駅東口デッキ北(駅⇄GAZA間)	8,312
5位	名鉄豊田市駅東口デッキ南(駅⇄参合館間)	3,233	名鉄豊田市駅東口デッキ南(駅⇄参合館間)	3,966

※通行量データは、年間の1日平均通行量のデータ。

豊田市の通行量の多い地点は、平日休日共に駅周辺のペDESTリアンデッキの地点がランクイン。

●平成29年度 全18地点合計通行量(5-24時) 日別通行量『年間ベスト10』 (単位:人)

順位	日にち	曜日	天気	通行量	与件
1位	7月30日	日曜日	曇	269,866	第49回豊田おいでんまつり花火大会(観客数350,000人)
2位	7月29日	土曜日	曇	191,709	第49回豊田おいでんまつりファイナル(観客数100,000人)
3位	10月6日	金曜日	雨	140,549	キリンチャレンジカップサッカー日本代表VSニュージーランド(観客数38,461人)
4位	12月3日	日曜日	晴	138,190	Jリーグ グランパスVS福岡(観客数37,959人) ※J1昇格戦
5位	3月3日	土曜日	曇	127,545	Jリーグ グランパスVS磐田(観客数38,916人)
6位	12月9日	土曜日	晴	123,983	ラグビートップリーグトヨタ自動車ヴェルブリッツ VS NTT/豊田国際体操
7位	12月22日	金曜日	晴	122,780	
8位	11月11日	土曜日	晴	122,370	Jリーグ グランパスVS千葉(観客数28,697人)
9位	5月28日	日曜日	晴	122,117	橋の下世界音楽祭/豊田JAZZスクエア/ふれ愛フェスタ2017
10位	5月19日	金曜日	晴	121,215	

全18地点合計日別通行量の多い順位は、豊田おいでんまつりや挙母まつりの開催日、豊田スタジアムでのサッカーの試合日がランクインした。

【参考】 豊田市中心市街地活性化基本計画 目標指標地点における通行量状況



(単位:人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
平日の歩行者通行量	72,230	72,541	74,771	78,232	78,584	82,183	83,673
H23年度比	-	100.4%	103.5%	108.3%	108.8%	113.8%	115.8%
休日の歩行者通行量	63,094	63,308	66,312	69,252	68,931	72,369	72,195
H23年度比	-	100.3%	105.1%	109.8%	109.3%	114.7%	114.4%

第2期豊田市中心市街地活性化基本計画では、目標指標に豊田市中心市街地の歩行者通行量の平日と休日の1日平均通行量を設定。平成23年度を基準として平成29年度までの増加を目標としており、平日、休日共に目標値を達成している。



豊田市中心市街地商業現況調査

平成24年度豊田市中心市街地商業現況調査概要

調査主体 豊田市産業部商業観光課

- 調査概要
- 調査内容 営業店舗の業態と業種及び空き店舗の現状を調査
 - 調査方法 調査員の目視による確認調査
 - 調査区域 豊田市中心市街地基本計画196ha
 - 調査期間 現地調査：平成24年12月10日～26日

調査結果

基本計画196haの営業店舗及び空き店舗の数と推移

●基本計画196ha全体の店舗数1,198件のうち営業店舗数は1,081件、空き店舗数は117件であった。

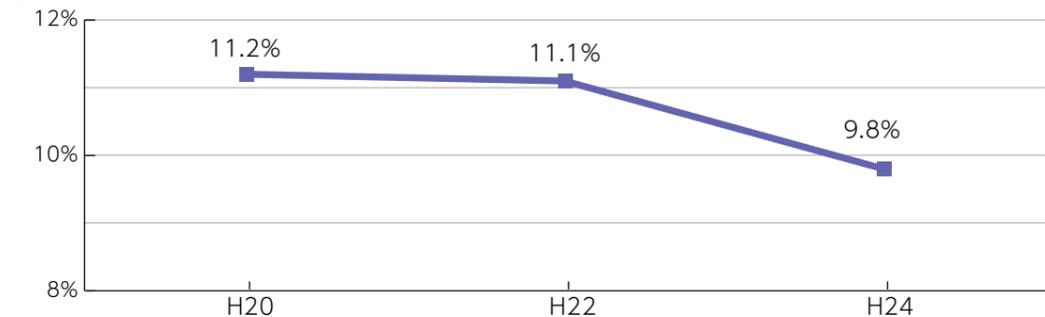
- ・営業店舗数は、これまでの調査のうち、最も多い数となった。
- ・空き店舗率が9.8%となり、これまでの調査のうちで最も低い数値となり、H22年度から1.3ポイント改善した。

	H20		H22		H24	
	店舗数	構成比	店舗数	構成比	店舗数	構成比
営業店舗	1,053	88.8%	1,051	88.9%	1,081	90.2%
空き店舗	133	11.2%	131	11.1%	117	9.8%
総店舗数 (営業店舗+空き店舗)	1,186	100.0%	1,182	100.0%	1,198	100.0%

◆グラフ 営業店舗の業態別構成比及び経年比較



◆グラフ 空き店舗率経年比較



営業店舗の現状と推移

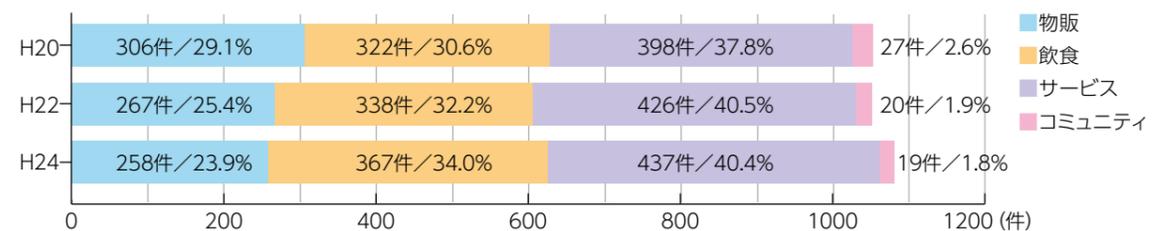
●最も多い業態は「サービス」。次いで、「飲食」、「物販」の順である。

- ・最も多い業態は「サービス」437件(40.4%)であった。次いで、「飲食」367件(34.0%)、「物販」258件(23.9%)である。順位は、これまでの調査と変化はない。
- ・業態ごとの店舗数を過去の調査と比較すると、「飲食」と「サービス」が増加し、「物販」は減少している。

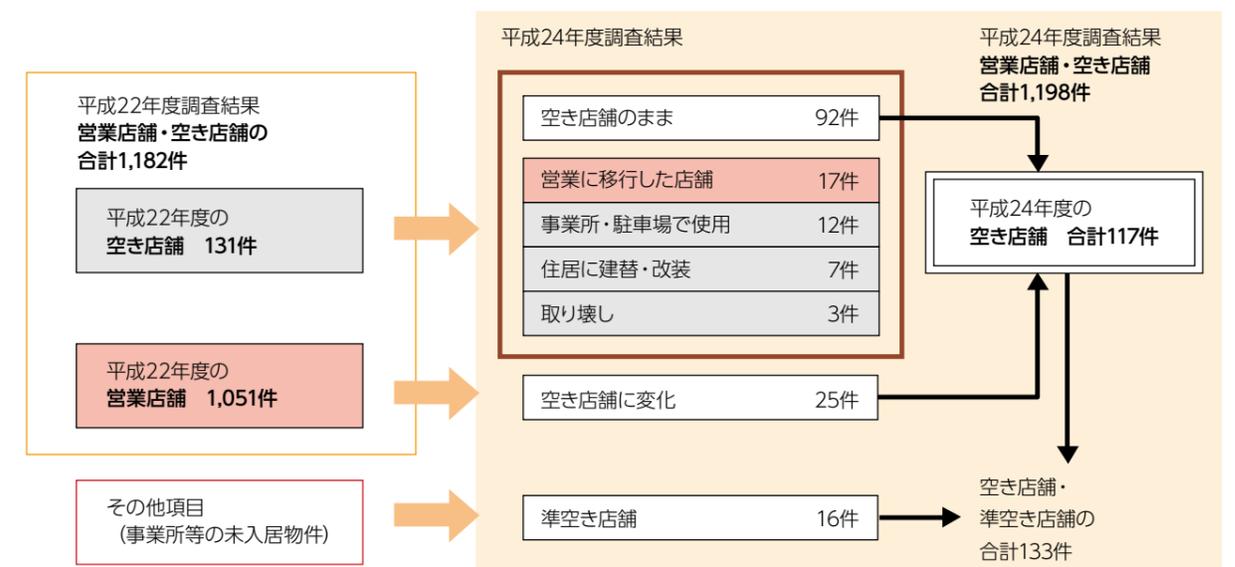
	物販			飲食				サービス	コミュニティ			総計
	大型店	物販	計	昼夜営業	昼のみ	夜のみ	計		文化施設	メント アミューズ	計	
H20	7	299	306	61	19	242	322	398	14	13	27	1,053
H22	7	260	267	85	19	234	338	426	9	11	20	1,051
H24	6	252	258	95	17	255	367	437	9	10	19	1,081

注)「参合館」は、これまでの調査では、「大型店」に分類していたが、今年度の調査で、物販が0件であったため、「サービス」に分類した。H24年度、「大型店」が1件減となったのは、参合館を「サービス」に分類したためである。

◆グラフ 営業店舗の業態別構成比及び比較



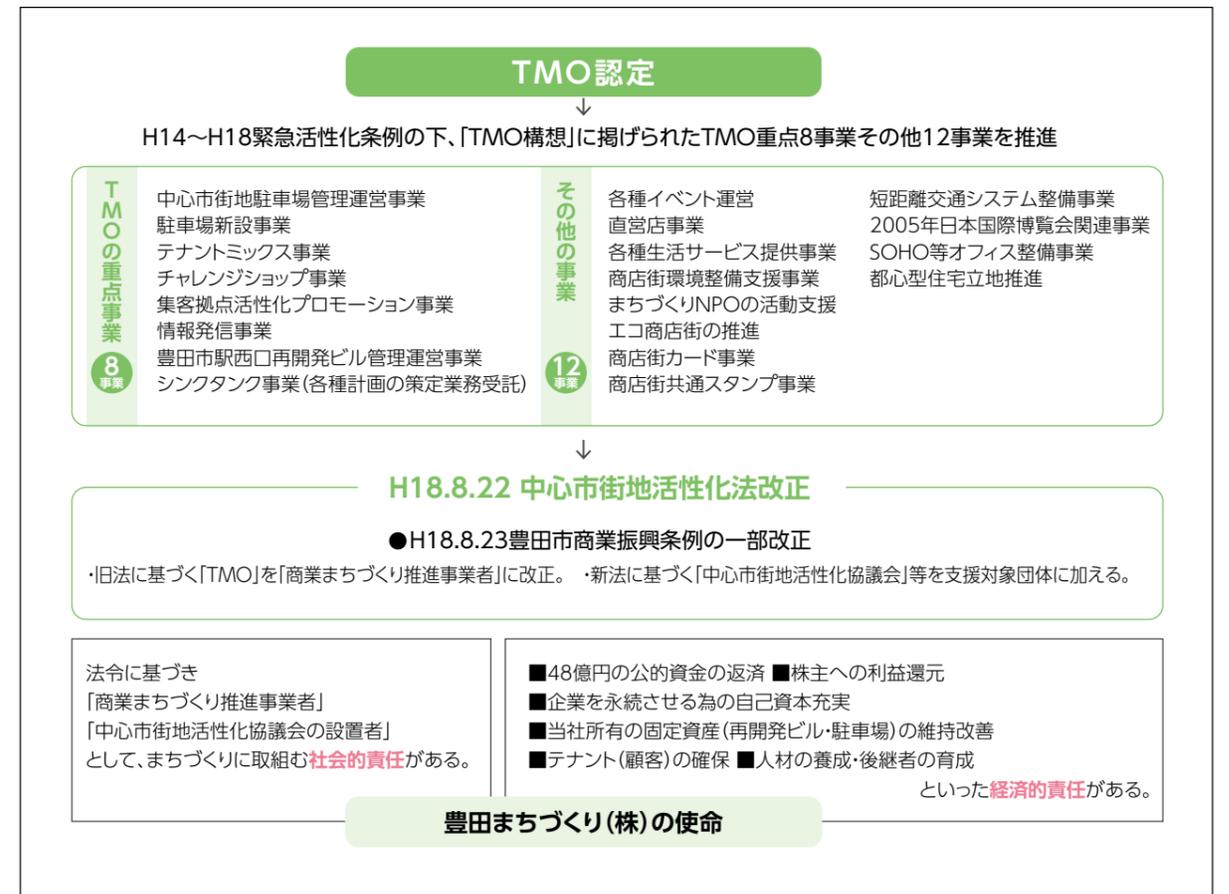
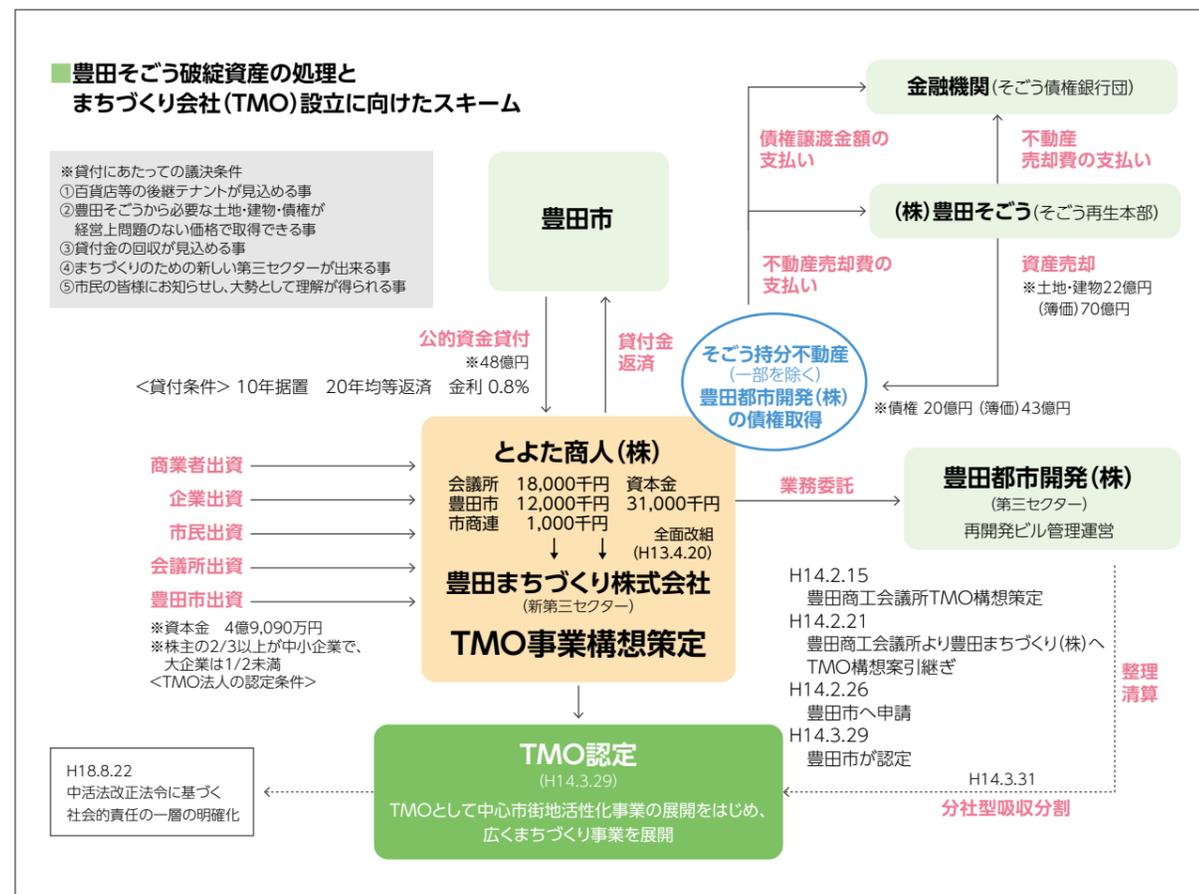
空き店舗の変化、及び営業店舗から空き店舗への変化



注) その他項目(事業所等)に区分した物件のうち、未入居と確認した物件は、店舗用と事業所用の区分が明確でないで、「準空き店舗」と表現した。

豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過 及びまちの変遷 1

平成12年	<p>7月12日 (株)豊田そごう民事再生手続き開始の申立て</p> <p>9月1日 豊田市がA館9階に子育て支援センターを開業</p> <p>10月25日 豊田そごう閉店発表</p> <p>10月30日 中心市街地まちづくり会議、(協)豊田市商店街連盟が豊田市長へ要望書提出</p> <p>11月2日 市議会思政クラブが豊田市長へ要望書提出</p> <p>11月27日 豊田商工会議所が「中心市街地の活性化・再生に関する提案・要望書」(再生スキーム案)を豊田市長に提出</p> <p>12月13日 豊田市が中心市街地を考えるまちづくり意識調査(アンケート)実施</p> <p>12月25日 豊田そごう閉店</p>	平成14年	<p>4月12日 豊田市より、とよた商人(株)に48億円の貸付実行</p> <p>4月13日 とよた商人(株)が(株)豊田そごうの土地、建物、債権を取得</p> <p>4月16日 (株)松坂屋との出店に関する基本合意書調印(株)松坂屋が出店表明</p> <p>4月18日 東京地方裁判所にて(株)豊田そごう破産決定</p> <p>4月20日 臨時株主総会、とよた商人(株)を改組、豊田まちづくり(株)に商号変更、新役員選任</p> <p>6月27日 平成12年度・第7期 定時株主総会</p> <p>9月29日 資本金確定(4億9,090万円)</p> <p>10月25日 松坂屋豊田店開店、とよた市民活動センター開業</p>
平成13年	<p>3月9日 そごう再生本部との交渉妥結</p> <p>3月16日 そごう債権銀行団との交渉妥結</p> <p>3月21日 3月定例会市議会が緊急活性化条例、貸付金の予算可決</p>	平成15年	<p>3月31日 豊田まちづくり(株)が分社型吸収分割により、豊田都市開発(株)を統合</p> <p>4月1日 会社分割登記、TMO法人豊田まちづくり株式会社の発足</p> <p>4月10日 豊田都市開発(株)が会社解散決議</p> <p>4月16日 臨時株主総会</p> <p>4月26日 トヨタ生協が豊田サティ後継店としてギャザビルへの出店方針を発表</p> <p>5月31日 豊田サティ閉店</p> <p>6月28日 平成13年度・第8期 定時株主総会</p> <p>7月15日 メグリアセントレ(トヨタ生協)1階(食品)オープン</p> <p>10月19日 メグリアセントレ(トヨタ生協)2階(衣料・雑貨)オープン</p> <p>11月1日 まちなかクリーンアップ活動開始</p> <p>11月2日 チャレンジショップ「TM SEED」開業</p>
		平成16年	<p>4月1日 中心市街地フリーパーキング事業の開始</p> <p>5月30日 豊田まちづくり(株)が大型空き店舗活用支援事業補助金を活用してギャザビル3階にテナント誘致、オープン</p> <p>6月30日 平成14年度・第9期 定時株主総会</p> <p>8月22日 まちなか宣伝会議立ち上げ</p> <p>9月6日 ヤンチャタウン実行委員会が「まちなかレンタサイクル」事業開始</p> <p>3月5日 B館T-FACE3階リニューアルオープン</p> <p>3月20日 TM若宮パーキング竣工</p> <p>6月30日 平成15年度・第10期 定時株主総会</p> <p>8月30日 TM若宮パーキング1階 豊田市ITS情報センター「みちなびとよた」開業</p> <p>8月31日 多目的広場(シティプラザ)整備事業改修完了</p> <p>11月6日 チャレンジショップ「TM SEED」リニューアルオープン</p>



豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過 及びまちの変遷 2

平成17年	3月19日	東海環状自動車道鞍ヶ池公園ハイウェイオアシスにコンビニエンスストア開業
	3月31日	平成16年度決算で過去の累損を解消
	
	4月1日	1市・4町・2村合併による「新・豊田市」誕生
	5月25日	平成17年度第2回取締役会 借入金48億(豊田市)の早期返済開始を決議
	6月8日	豊田市より、商業活性化推進3ヶ年計画(H17年度～H19年度)の認定
	6月29日	平成16年度・第11期 定時株主総会
	7月29日	豊田市からの借入金の繰上げ返済開始
	10月1日	ショッピングカート共同利用事業化(オリジナルカート導入)
	10月25日	桜町本通り商店街振興組合ファサード整備事業がTMO計画認定
平成18年	1月5日	産業文化センター駐車場がフリーパーキング事業に加盟開始
	3月15日	豊田商工会議所会館竣工
	
	4月1日	エコステーション21豊田駅西(ビル外周駐輪場有料化事業)開業
	4月30日	「桜町本通り商店街ファサード事業」 「市道中町線・桜町1号線道路整備事業」完成式典
	6月28日	平成17年度・第12期 定時株主総会
	7月8日	「桜町本通り商店街八日朝市」初開催
	8月7日	豊田市がまちなかレンタルサイクル社会実験開始
	8月22日	中心市街地活性化法改正
	10月7日	T-FACE飲食店街リニューアルオープン
平成19年	10月10日	豊田市中心市街地活性化協議会設立
	11月16日	コモパーキングオープン
	11月17日	ホテルトヨタキャッスルオープン
	12月1日	まちなかワンナイトパーキング事業(実験)開始
	
	4月27日	コモ・スクエアオープン
	6月1日	桜町ほうだら会、豊田市等と共に 都市景観大賞・「美しいまちなみ優秀賞」受賞 電波の日にTM若宮パーキングでのDSRC活用が 東海総合通信局より表彰
	6月27日	平成18年度・第13期 定時株主総会 剰余金の配当を決議

平成20年	7月1日	豊田まちづくり(株)がまちなかレンタルサイクル事業開始
	3月4日	第8回中心市街地活性化協議会にて TCCM設置の決議
	
	4月15日	第1回TCCM定例会議、TCCM活動スタート
	5月26日	豊田市より商業活性化推進3ヶ年計画(H20年度～H22年度)の認定
	6月25日	平成19年度・第14期定時株主総会
	7月9日	国が「豊田市中心市街地活性化基本計画 第1期計画」(H20年7月～H25年3月)を認定
	10月1日	豊田市がA館T-FACE9階に 「とよた子どもの権利相談室」開業
	10月8日	T-FACE開業20周年
	1月23日	国が豊田市を「環境モデル都市」として選定
平成21年	2月26日	愛知県公安委員会が豊田まちづくり(株)を 警備業認定
	3月6日	とよた元気プロジェクト「WE LOVE とよた」発足
	3月31日	豊田市より「まちづくり構想(商業まちづくり 推進事業者)」の認定
	
	4月4日	行政・商店街・地域住民共働で進めてきた 竹生線道路・街路灯完成記念式典
	4月24日	愛知県が豊田市中心市街地を 第一種大規模小売店舗立地法特別区域に指定 ①国道155号線並びに豊田西第2号線、 櫛通り線及び駅西5号線で囲まれた区域 ②豊田市道大洞長生線、蔵前陣中線、西町若宮線 及び豊田市駅東歩行者道線で囲まれた区域
	6月2日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第3回総会にて鈴木社長が会長就任
	6月26日	平成20年度・第15期定時株主総会
	7月25日	第41回豊田おいでんまつり開催 (豊田おいでんまつりをこの年より当社が受託)
	9月14日	豊田市緊急雇用創出事業として まちなかおもてなしパトロール事業開始
平成22年	9月26日	中心市街地まちづくり活動センター 「パブリカ」オープン
	10月1日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第5回勉強会(in高松市丸亀町)
	10月28日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業 「西町はしご酒No.1」開催

平成22年	11月7日	新チャレンジショップ「TM SEED」移転オープン
	12月16日	豊田市初ビジネスフェア開催(受託事業)
	2月18日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第6回勉強会(in豊田市)
	2月24日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業 「西町はしご酒No.2」開催
	3月31日	経済情勢の変動により第三期3ヶ年計画は 平成22年3月末にて終了
	
	4月9日	豊田市が経産省の次世代送電網 「スマートグリッド」実証実験都市に選定
	5月19日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第4回総会
	6月25日	平成21年度・第16期定時株主総会
	7月24日	第42回豊田おいでんまつり開催(受託事業)
平成23年	8月2日	「打ち水大作戦2010 inとよた竹生線」開催
	9月1日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業 「西町はしご酒No.3」開催
	10月1日	B館T-FACE1階リニューアルオープン
	10月6日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第7回勉強会(in松山市)
	10月13日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業・経産省認定 「西町商店街協同組合商店街活性化事業計画」事業 「豆腐」開業
	2月17日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第8回勉強会(in宮崎市)
	3月2日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業 「西町はしご酒No.4」開催
	3月4日	「西桜町通り花灯り(第1回)」開催
	3月25日	鞍ヶ池スマートIC竣工
	
4月1日	豊田市より商業活性化推進3ヶ年計画 (H23年度～H25年度)の認定	
5月18日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第5回総会 (株)まちづくり松山へ会長をパトタッチ	
6月29日	平成22年度・第17期定期株主総会	
7月1日	とよた元気プロジェクト震災復興支援 「ひまわり商品券」販売	
7月25日	「とよたまちなか打ち水大作戦2011」開催 (運営協力)	

平成24年	7月30日	第43回豊田おいでんまつりの開催(受託事業)
	8月6日	重要伝統的建造物群保存地区選定記念 シンポジウム「足助の町並みの挑戦」開催 (運営受託)
	9月11日	JAあいち豊田わくわく元気まつりin鞍ヶ池 (受託事業)
	9月12日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業 「西町はしご酒No.5」開催
	10月13日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第9回勉強会(in長浜市)
	10月19日	松坂屋豊田店開店10周年大誕生祭
	10月21日	豊田市商業活性化交付金事業 「青空ひろば」開催(屋上緑化検討事業)
	11月25日	「西桜町通り花灯り(第2回)」開催
	3月2日	B館T-FACE3階、4階リニューアルオープン
	
4月1日	市有4駐車場(喜多町、GAZA、参合館、コモ)を 豊田市から借受けての管理運営開始 T-FACE新売上管理システム運用開始、電子マネー決済導入	
4月21日	A館T-FACE7階リニューアルオープン	
5月10日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第6回総会・第10回勉強会(in川越市)	
5月15日	防火優良事業所として豊田市防火危険物 安全協会会長より表彰	
5月18日	豊田市低炭素社会モデル地区 「とよたエコフルタウン」オープン	
6月27日	平成23年度・第18期定時株主総会	
7月28日	第44回豊田おいでんまつり開催(受託事業) 「とよたまちなか打ち水大作戦2012」開催 (運営協力)	
10月25日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第11回勉強会(in柏市)	
11月1日	平成24年度普通充電インフラ普及に関する実証実験参加、 TM若宮パーキングに「PHV・EV車用普通充電器」設置	
11月23日	「西桜町通り花灯り(第3回)」開催	
11月30日	消防法令遵守が認められ豊田市消防長より 防火防災特例認定を取得	
平成25年	1月9日	「飲むならパーキング事業」が防犯活動の 評価を受け豊田警察より表彰
	3月19日	T-FACEが(社)日本ショッピングセンター協会より 「地域貢献賞」受賞

豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過 及びまちの変遷 3

変革への始動期(第五期3ヶ年計画)

- 平成25年
- 3月29日 国が「第2期豊田市中心市街地活性化基本計画」(H25年4月～H29年3月)を認定
 - 4月1日 豊田市より「まちづくり構想」の認定
新豊田駅地下駐車場が愛知県道路公社から豊田市に帰属、豊田市から借受けての管理運営開始
 - 5月23日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第7回総会・第12回勉強会(in長岡市)
 - 5月31日 TM若宮ビル ITS情報センター(みちなびとよた)閉館
 - 6月3日 豊田市防犯設備整備補助金交付を受け防犯カメラ3台をA館T-FACE外周駐輪場に設置
 - 6月26日 平成24年度・第19期定期時株主総会
 - 6月28日 ワークライフバランスへの取組みについてとよた男女共同参画センターより「キラ☆とよた賞」を受賞
 - 6月30日 TM若宮ビルテナントが豊田市、トヨタ自動車(株)、豊田都市交通研究所との賃貸借契約終了
 - 7月13日 B館T-FACE7階ナナのへや(T-FACE CLUB会員専用サロン)オープン
 - 7月27日 第45回豊田おいでんまつり開催(受託事業)
「とよたまちなか打ち水大作戦2013」開催(運営協力)
 - 9月20日 おいでん・さんそんセンター開所
 - 10月1日 まちなかレンタサイクル事業を豊田市「Ha:mo RIDE」事業へ移管
TM若宮パーキング、喜多町駐車場、新豊田駅地下駐車場にカーシェアリング「Ha:mo RIDE」のステーション設置
 - 10月3日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第13回勉強会(in飯塚市)
 - 10月4日 B館T-FACE5階リニューアルオープン
 - 10月8日 T-FACE開業25周年
 - 11月1日 平成25年度普通充電インフラ普及に関する実証実験参加、喜多町駐車場に「PHV・EV車用 普通充電器」設置
- 平成26年
- 1月8日 「飲むならパーキング」が防犯活動の評価を受け豊田警察署長より感謝状表彰
 - 3月20日 豊田市より商業活性化推進3ヶ年計画(H26年度～H28年度)の認定
 - 3月21日 「西桜町通り花灯り(第4回)」開催
 - 4月1日 「新・豊田市」誕生10周年

- 平成27年
- 4月26日 豊田市低炭素社会モデル地区「とよたエコフルタウン」全面グランドオープン
 - 5月7日 豊田市防犯設備整備補助金交付を受け防犯カメラ3台をB館T-FACE外周駐輪場に設置
 - 5月23日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第8回総会・第14回勉強会(in東京)
 - 6月25日 平成25年度・第20期定期時株主総会
 - 7月26日 第46回豊田おいでんまつり開催(受託事業)
 - 11月4日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第15回勉強会(in飯田市)
 - 1月7日 「飲むならパーキング」が防犯活動の評価を受け豊田警察署長より感謝状表彰
 - 1月15日 国連経済社会局(UNDESA)と豊田市共催による「環境先進都市会議」開催
 - 3月6日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
第一期「豊田市駅西口市街地再開発ビルB館2階フロア整備事業」によるB館T-FACE2階リニューアルオープン
①まちなかインフォメーションの設置
②フロア内環境整備
③ファサードエントランス改修
 - 3月13日 まちなかコミュニティ施設整備事業「MAMATOCO(ママトコ)」グランドオープン
公共空間活用実験事業「STREET&PARK MARKET」初開催
 - 3月21日 「西桜町通り花灯り(第5回)」開催
 - 6月11日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第9回総会・第16回勉強会(in金沢)
 - 6月24日 平成26年度・第21期定期時株主総会
 - 7月25日 第47回豊田おいでんまつり開催(受託事業)
 - 9月1日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルトイレの安心安全機能向上に関する改修事業」によるA館T-FACE8階、B館T-FACE6階のトイレ改修完了
 - 10月1日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルトイレの安心安全機能向上に関する改修事業」によるA館T-FACE9階、B館T-FACE1階ティラザのトイレ改修完了
 - 10月9日 「あそべるとよたDAYS」開催(受託事業)
 - 10月10日 MUSEUM PICNIC(STREET&PARK MARKET)を豊田市美術館リニューアルオープンに合わせて開催

守勢行動の期(第六期3ヶ年計画)

- 平成28年
- 10月13日 豊田市リノベーションまちづくり事業開始(第1回シンポジウム)
 - 10月22日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第17回勉強会(in岩手県紫波町)
 - 11月30日 消防法令遵守が認められ、豊田市消防長より防火防災特例認定を取得
 - 1月11日 「飲むならパーキング」が防犯活動の評価を受け豊田警察署長より4年連続感謝状表彰
 - 3月24日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルA館2階客用トイレ改修事業」によるA館2階松坂屋のトイレ改修完了
 - 4月24日 リノベーションまちづくり事業「まちのトレジャーハンティング@豊田」開催
 - 6月12日 リノベーションまちづくり事業「リノベーションスクール@豊田」開催
 - 6月22日 平成27年度・第22期定期時株主総会
 - 6月29日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第10回総会・第18回勉強会(in東京)
 - 7月16日 B館T-FACE屋上で採蜜した蜂蜜「ころもはに」販売開始
 - 7月25日 A館T-FACE屋上「豊田コミュニティスペース ザ・プレミアムビアガーデン豊田」オープン
豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルA館1階客用トイレ改修事業」によるA館1階松坂屋のトイレ改修完了
 - 7月30日 第48回豊田おいでんまつり開催(受託事業)
 - 10月9日 MAMATOCOに「喫茶ゆらり」オープン
 - 10月30日 松坂屋豊田店15周年記念セレモニー
 - 11月28日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第19回勉強会(in東京)
 - 2月28日 (一社)TCCM設立
 - 3月8日 「とよたアニメシネマフェスティバル」開催
 - 3月10日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口再開発ビルB館休憩スペース(喫煙室)設置事業」によるB館T-FACE8階スモークルーム設置
 - 3月24日 駐車場(若宮、第1、昭和町、喜多町)のサイン、トイレ、まねき灯、緑化、休憩場所整備等の改修完了
- 平成29年
- 2月28日 (一社)TCCM設立
 - 3月8日 「とよたアニメシネマフェスティバル」開催
 - 3月10日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口再開発ビルB館休憩スペース(喫煙室)設置事業」によるB館T-FACE8階スモークルーム設置
 - 3月24日 駐車場(若宮、第1、昭和町、喜多町)のサイン、トイレ、まねき灯、緑化、休憩場所整備等の改修完了

- 平成30年
- 4月20日 B館T-FACE8階飲食店フロア改修、第1弾オープン
 - 6月28日 平成28年度・第23期定期時株主総会
 - 6月29日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第11回総会・第20回勉強会(in東京)
 - 7月29日 第49回豊田おいでんまつり開催(受託事業)
 - 9月23日 駐車場(TM若宮、若宮)車番認証システム運用開始
 - 11月1日 「フリーパーキング・プラス」サービス開始
 - 11月3日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
大型店の連携・共同事業による社会実験「とよたまちなかこどもタウン」開催
 - 11月20日 キタラパーキングオープン
キタラパーキングを豊田市から借受けての管理運営開始
 - 11月22日 ウェルカムセンター「THE CONTAINER N6」オープン
 - 11月23日 豊田市駅東口バス待合所「レストえきまえ」オープン
 - 11月25日 KITARAオープン
 - 12月14日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第21回勉強会(in八戸市)
 - 2月23日 (一社)TCCMが豊田市より「都市再生推進法人」の指定を受ける
 - 3月2日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルB館6階フロア整備事業」によるB館T-FACE6階リニューアルオープン
B館T-FACE8階飲食店フロア改修、第2弾オープン
 - 3月26日 駐車場(若宮、第1、昭和町)場内監視カメラ運用開始